

豊中市健康づくり計画 年次報告書

平成 25 年度(2013 年度)版

豊中市

Toyonaka City

■ 本報告書について

平成 25 年(2013 年)3 月、豊中市健康づくり計画が策定されました。「健やか親子 21 とよなか〜豊中市母子保健計画Ⅱ」を「健康」の視点から整理し、「健康とよなか 21」と統合して、あらゆる世代を通じた健康づくりを推進します。

健康は、市民一人ひとりが生活する環境に影響を受けることから、市民生活に関連する様々な部局の取り組みの一つ一つが「健康づくり」につながると考えています。そこで、保健分野だけでなく、福祉・保育・教育・経済など、様々な分野の機関が連携し効果的に取り組みを推進し、市民の健康づくりを支援します。

本書は、健康づくりに関する平成 25 年度（2013 年度）の取り組みをまとめたものです。取り組み目標や数値目標の達成に向け、進捗状況を把握・点検し、評価・見直しを行います。

目次

目次

第1章 健康づくり 取り組みレポート	1
事業① はじめよう健康づくり・進めよう食育	2
事業② 市立図書館の取り組み	11
事業③ こんにちは赤ちゃん事業	18
第2章 各事業の進行状況	28
I. 栄養・食生活	30
II. 運動・身体活動	36
III. こころの健康づくり	44
IV. たばこ	51
V. アルコール等	52
VI. 歯や口の健康	52
VII. 健康管理	53
VIII. 子育て・子育て	73
その他	76

第1章

健康づくり 取り組みレポート

第1章では、平成25年度に市内で実施された、健康づくりに関する取り組みの一部をご紹介します。

写真や資料なども多く掲載し、取り組み内容について楽しく読み進めていただけます。



マチカネくん

事業① 食の育みフォーラム・健康づくり計画講演会合同企画

はじめよう健康づくり・進めよう食育

事業名称：食の育みフォーラム

担当課：保健企画課

内容：食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。

実績：「はじめよう健康づくり・進めよう食育」と題して、7月25日（木）～31日（水）に市役所第2庁舎市民ロビーでパネル展・体験コーナー・ミニ講座を実施しました。体験コーナーでは、防災用品の展示や、食育クイズによる食習慣のチェックを実施したほか、ミニ講座では、SATシステムを使用し、献立の選び方や第2期食育推進計画について啓発しました。

評価：SATシステムを用いた献立選びの体験は、食品を選んだ結果がシートに印刷できることもあり大変好評でした。

掲載箇所：P.31 事業No.7

事業名称：豊中市健康づくり計画の推進

担当課：保健企画課

内容：計画の周知及び計画に基づく取り組みの推進・進行管理。

豊中市健康づくり計画推進会議の開催、講演会・出前講座等での計画の周知等を行います。

実績：「はじめよう健康づくり・進めよう食育」と題して、7月25日（木）～31日（水）に市役所第2庁舎市民ロビーでパネル展・体験コーナー・ミニ講座を実施しました。体験コーナーでは、アルコールパッチテストや握力・身体測定等を実施したほか、ミニ講座では、健康づくり計画や薬物乱用防止などについて啓発しました。

評価：保健所各課や庁内他部局等と連携し、様々な面から健康づくりについて啓発できました。

掲載箇所：P.55 事業No.171

食の育みフォーラム・健康づくり計画講演会合同企画

「はじめよう健康づくり・進めよう食育」

1. 目的

保健企画課では、平成25年3月に豊中市健康づくり計画と第2期豊中市食育推進計画を策定し、市民の健康づくりと食育の推進を図っています。今回の取り組みは、両計画の周知啓発事業ある「食の育みフォーラム」および「健康づくり計画講演会」の合同企画であり、市民に2つの計画の内容を周知し、健康づくり計画と食育推進計画の基本理念である「市民一人ひとりが、生涯を通じて健康で心豊かに生活できる社会の実現」をめざして実施しました。

2. 日時 平成25年(2013年)7月25日(木)～31日(水) ※閉庁日除く。

3. 場所 豊中市役所 第2庁舎市民ロビー

4. 対象 市民、来庁者

5. 費用 無料

6. 内容

- (1) パネル展示および資料配布・・・4ページ参照
- (2) ミニ講座・・・5ページ参照
- (3) 展示・体験コーナー・・・7～9ページ参照

7. まとめ

来庁者へ積極的な声掛けを行ったこともあり、期間中700人以上の人に来場いただくなど、健康づくり計画・第2期食育推進計画について周知・啓発ができたのではないかと考えます。企画実施にあたっては保健所所属の4課で連携し、薬物乱用防止や害虫に関すること、感染症予防、各種検診の啓発など、計画の周知だけでなく、広く「健康づくり」に関わる情報を提供したことで、保健所の事業について改めて周知する機会にもなりました。また、他部局へは庁内会議を通して協力を呼びかけ、ポスター等によるイベント周知への協力を得たほか、イベントにコーナーを設置していただいた部局もあり、各部局とも連携して事業を実施できました。

また、体験・展示コーナーや日替わりのミニ講座をイベントに盛り込むことで、楽しみながら主体的に健康づくりについて学んでいただく機会となったと考えます。中でも、コンピューターによる食事診断は、診断結果がその場でわかり、結果はカラー用紙に印刷されるという仕様から、他の参加者との意見交換や自宅での振り返りが可能で、多くの参加者の方に好評をいただきました。その様子から、自らの行動が形に残ることが、取り組みをするうえでの楽しみや次の行動へつなげる一つのきっかけになることを感じました。

今後も「市民による自主的な健康づくり」「市民主体の食育の推進」の支援につながるよう工夫することを意識しながら、健康づくり推進・食育推進の取り組みを続けていきます。

(1) パネル展示および資料配布

※ロビー北側(期間中常設)

保健所4課の事業に関するパネルを展示。パネルの内容が分かりやすいように、それぞれの見出しも作成し掲示しました。保健所各課で実施している事業の周知のほか、資料や啓発媒体の配布による情報提供を行いました。

■ パネル展示

保健企画課・・・企画調整G)健康づくり計画、第2期食育推進計画、安心安全ハンドブックⅡ

医事薬事G)薬物乱用防止啓発

衛生管理課・・・環境衛生G)セアカゴケグモに注意

保健予防課・・・感染症G)風疹予防啓発

母子保健G)妊婦の喫煙防止、マタニティマーク周知啓発、乳幼児揺さぶられ症候群
防止啓発、睡眠リズム

地域保健課・・・健康支援G)がん検診周知啓発

パネル見出し(一部)



■ 資料配布

計画概要版、各種ちらし・リーフレット、ティッシュ、風船、うちわ(ほか)

(2) ミニ講座

※ロビー南側(各回 12時05分～12時35分、内容は日替わり)

期間中、様々なテーマで30分程度のミニ講座を実施。保健所の職員が、それぞれの担当分野について分かりやすくお話をしました。

■ 25日(木)：第2期食育推進計画について



ロビー展では、防災関連備蓄品の展示コーナーも設けました。

➤ 講師：管理栄養士（保健企画課）

「とよなか食育プラスワン」という取り組みを中心に、第2期食育推進計画についてお話をしました。「とよなか食育プラスワン」とは、今の自分が無理なくできる範囲で、「食べること」にほんの少しの工夫をすることで、より健康で心豊かな生活を実感してもらおうというものです。

また、「プラスワン」に取り組むためのツールの1つとして、「とよなか食育プラスワンシート」を作成しており、そのなかの1つ「災害時の食」に焦点を当てたシートでは、備蓄品や携帯するとよいものなどをリストアップしています。防災以外にも、ごみの減量に関するものや、子どもの歯や口の健康に関するものなどがあるので、興味のある分野や、家庭に合ったものを見つけていただき、「プラスワン」に役立てていただければ、とお伝えしました。

■ 26日(金)：親子で学ぼう歯にいいおやつ選び



講座終了後は、マチカネくんによる風船配りや写真撮影が行われました。

➤ 講師：歯科衛生士（保健予防課）

お子さんにも興味を持っていただけるよう、音響効果も活用して、ストーリー仕立ての講座を実施しました。また、子ども達にも見やすいように、前方には座って劇を楽しむスペースを設けました。

講座の中では、むし歯になりやすいおやつ、なりにくいおやつについて、時折子ども達への質問も混ぜつつお話をしました。「この中で一番むし歯になりやすいのはどれだと思う？」などと質問すると、子ども達から積極的に手が上がる様子も見られ、楽しく学ぶことのできたひとときになりました。

劇仕立ての講座は、お子さんにも大変好評でした。

保健予防課の職員がキャストを務めました。



■ 29日(月)：正しいお薬の使い方



➤ 講師：薬剤師（保健企画課）

薬の飲み方について、用法や用量をきちんと守ってほしいこと、処方された薬は自己判断で飲むのをやめたりせず、飲みきってほしいことなどをお伝えしました。

併せて、お薬手帳の大切さについてもお話ししました。お薬手帳に今までの服用歴を記録することで、複数の医療機関を受診した時や転居した時などでも、薬の重複を避けることができるほか、飲み合わせの悪い薬が処方されるのを未然に防ぐのに役立つこと、また、薬を服用してからの体調変化や、ドラッグストア等で購入した薬の名前を、持ち主自身がお薬手帳に記録することも大変有用であることをお話ししました。

■ 30日(火)：上手な献立の立て方



➤ 講師：管理栄養士（保健企画課）

家庭で手作りの料理を楽しむことは、食育上とても大切なことですが、必ずしも「家庭での手作りだけがよい食事」というわけではなく、それぞれの事情に合わせて、日々の食事に外食や中食^{＊1}を上手に取り入れることも、また賢く食事をするコツであることをお伝えしました。

大切なのは、「バランスのよい食生活」を「無理なく続けること」であり、外食であれば『健康づくり応援団』のお店や食事バランスガイドを活用する、中食であれば、不足しがちなものを自覚し、一品でも気をつけて加えてみるなど、少しの工夫が充実した食生活につながります。

※この日は、ミニ講座に合わせて食育 SAT システムを体験コーナーに設置しました。（詳細は P.9 参照）

*1 中食…惣菜を購入したり、調理済み食品を使って家庭で食事すること。

■ 31日(水)：健康づくり計画について



➤ 講師：保健師（保健企画課）

健康づくり計画では、「健康をつくろう！みんなでつくろう！」という基本理念のもと、これまで行ってきた直接的な働きかけ(健診や健康教育など)に加えて、市民の方の健康づくりへの取組みを、地域や社会全体で支援するための環境づくり(簡単に取り組めるツールの普及啓発や、健康を主目的としている部局以外との連携など)も行います。

一見関わりがないように思える要素でも、それが社会をイメージした時「健康」が害されるものは健康づくりに関わっています。健康づくりへの直接的支援と環境づくりを通じた間接的支援を一体的に推進することで、市民の方一人ひとりが自身の健康を主体的に守り、生涯を通して健やかでこころ豊かに生活できるよう取組みを進めます。

■ ②防災・減災関連備蓄品の展示

防災関連備蓄品の展示を中心に、食から考える健康危機管理について啓発を行いました。「もしも」の時に役立つ備品をリストにした「自分の身は自分で守るプラスワン」も配布し、日頃から災害や感染症に備える意識を高めていただきました。



自分の身は自分で守るプラスワン

【展示した備蓄品】

1. いつも持ち歩きと安心。就寝時は枕元に置きたいもの
飲料水 / 笛や鈴 / 常用薬 / 救急用品(ばんそうこうなど) / ポリ袋 / 大判ハンカチ
2. 一時持ち出し袋に入りたいもの
携帯の充電器 / 乾電池 / 懐中電灯 / 新聞紙 / ラップ / エマージェンシーブランケット
3. 家庭で常備しておきたい生活用品
水(1人3ℓ×3日分) / 缶詰・レトルト食品 / カセットコンロ / 使い捨て食器 (ほか)

■ ③食育, 衛生(環境・食品)コーナー

はてなボックス、そのまんま料理カードを使った食育、手洗いチェッカーによる手洗い体験のほか、食品害虫等の昆虫標本展示を行い、食の安全・安全等に関する啓発を実施しました。



↑ そのまんま料理カード
実物大の料理カード。裏面には、その料理に使われている主な食材や調理方法、自給率等が記載されています。



← はてなボックス
クイズ形式で食について学べるグッズ。箱の中にカードを入れると、カードが裏返って、裏面の正解を見ることができる仕組みになっています。



食品害虫等の昆虫標本



手洗いチェッカー

専用のローションを手に塗り込み、通常の手洗いを行います。洗った手をブラックライトにかざすと、洗い残しが白く浮かび上がります。

◆ コンピューターを使った食事診断 (30 日のみ)



食育 SAT(サツと)システム

ミニ講座「上手な献立の立て方」と併せて実施。

保健予防課が「食育 SAT(サツと)システム」を使い、食事診断を行いました。ICチップ内蔵のフードモデル(実物大)の中から、1食分を選んで機械に乗せると、コンピューターが栄養価を計算。結果は、栄養バランスなどを総合評価し、星の数(1~5個)で「名人度」として表示されます。ほかにも、選んだ1食分で摂取できる栄養素がグラフで表示され、年齢や1食分の目標摂取量に応じて、それぞれの栄養素の摂取量について評価・解説をします。これらの診断結果は、専用用紙にカラーで印刷できるので、自宅に持ち帰り、日々の食事にも役立てることができます。

イベント当日は、他の参加者と見比べ合い、結果について楽しそうに話している様子も多く見受けられました。

◆ ニュースポーツ貸出品展示、スポーツなんでも相談 (31 日のみ)

ボランティアの方にお越しいただき、スポーツに関する周知啓発や相談コーナーを設置しました。

ニュースポーツ(レクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主な目的とするスポーツ)の周知や、展示されている貸出品に関する解説のほか、イベントお知らせチラシの配布、スポーツ啓発キャラバン隊の周知などを行いました。



イベント当日の様子。後ろに見える大きなボールは、ニュースポーツの1つ「キンボール」で使用するもの。

スポーツ啓発キャラバン隊
 …豊中市スポーツ推進委員会を中心に結成。スポーツに関心のない方にもスポーツに親んでもらえるよう啓発活動やスポーツイベントを実施しており、公民分館や地域での行事、中央公民館まつり、健康展など様々なイベントに出向き、ニュースポーツ体験会や体力測定等を実施しているほか、地域でスポーツイベントを行う際には企画・立案・実施もお手伝いします。



イベント周知ちらし



4月から「第2期食育推進計画」と
「健康づくり計画」がスタートしました！

《日程》平成25年7月
25・26・29・30・31日

《場所》市役所第2庁舎ロビー

《内容》

●パネル展示

計画や健康づくり・食育に関するパネルを掲示しています

●ミニ講座〔12:05～12:35〕

期間中、様々なテーマで栄養士や薬剤師、保健師などが
お話しします

25日(木)	第2期食育推進計画について
26日(金)	親子で学ぼう 歯にいいおやつ選び
29日(月)	お薬の正しい使い方
30日(火)	上手な献立の選び方
31日(水)	健康づくり計画について

●体験コーナー〔10:30～15:00〕

- ◆ 防災用品(携行品チェック)の展示
- ◆ 食育クイズ、食習慣チェック
- ◆ 手洗いチェッカーによる手洗い診断
- ◆ 簡易測定(身長体重・体脂肪)
- ◆ コンピューターを使った食事診断(30日のみ)
- ◆ アルコールパッチテスト(先着50名) など

しっかり洗ったはず...
でもその手ホントにきれい
になっていますか？

「ぜんぜん飲めない族」
「ホントは飲めない族」
「危ない族」
さてあなたの体質は？



コンピューターで食事診断に挑戦！



はじめよう健康づくり。
進めよう食育

【お問合せ】

豊中市保健所保健企画課

6152-7309

事業②

市立図書館の取り組み

事業名称：図書館活動・すべての人への資料提供事業

担当課：読書振興課

内容：暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、健康に関する情報提供を行っています。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やパスファインダーによる情報等を提供しています。

実績：健康カレッジ(地域保健課主催事業)等への資料提供
医療健康情報レクチャー 4回 (岡町 2回・服部 1回・蛍池 1回)
* 市立豊中病院と共催
医療情報コーナーの充実 (岡町図書館)

評価：カレッジへの関連図書の展示や貸出、岡町以外でレクチャーを実施することができました。また資料購入し、蔵書の充実を図りました。

掲載箇所：P59 事業No.195

内容

(1) 暮らしの課題解決サービス

- テーマ展示
- 医療健康情報レクチャー

(2) 情報提供

- 関連講座等での資料貸出
- パスファインダー「検索なび」

(1) 暮らしの課題解決サービス

■ テーマ展示

市内の4図書館では、それぞれの図書館ごとにテーマを設定し、「暮らしの課題解決サービス」として情報コーナーを設置しています。地域の特性や課題に合わせた資料を充実させ、地域や市民の課題解決を積極的に支援しています。また、講演会などにあわせた展示用の資料及びリストを作成したりすることで、テーマ展示を行っている図書館利用者だけでなく、より多くの市民に情報提供を行っています。



「医療・健康情報」(岡町図書館)

中央のテーブルには、がん検診周知ちらしなど保健所所属課が作成した啓発媒体も置いていただいています。



「多文化共生」(庄内図書館)



「ビジネス・就業」(千里図書館)



「子育て・DV (ドメスティック・バイオレンス)」(野畑図書館)

■ 医療健康情報レクチャー

「暮らしの課題解決サービス」のひとつとして、市立豊中病院の認定看護師^{*1}を招き、「医療健康情報レクチャー」を実施しています。岡町図書館での「医療・健康情報」支援の取組みの1つで、開始当初は岡町図書館のみでの開催でしたが、好評を受けて、現在は他の図書館でも開催されています。(平成25年度は、服部図書館および蛭池図書館でも開催。)



講演会の様子

「がんとうまくつきあう方法」「みんなで防ごう脳卒中」「もの忘れなんてこわくない」「誤嚥性肺炎の症状と予防」といった病気に関する内容や、「介護に役立つ皮膚・排泄ケア」「高齢者の心のケア」などの高齢者の家族のための内容、「おうちでできる救急対応」といったいざという時のために役立つ内容など、医療・健康に関する幅広いテーマで開催しており、健康に関心の高い高齢者の方々を中心に毎回多くの参加があり、参加者からは、「図書館という身近な場所で講演会が聞け、気軽に質問もできるのがよい」などの声をいただいています。

医療健康情報レクチャーちらし

◆◆◆◆ まちの保健室 ◆◆◆◆◆

医療健康情報
レクチャー
第8回

みんなで防ごう脳卒中

10月17日(木) 午後2時~3時30分

岡町図書館 3階 集会室

豊中市岡町北3-4-2 06-6843-4553
(岡町駅西 150メートル 駐車場はありません)

講師:市立豊中病院 脳卒中看護認定看護師 仁井谷 さとみさん

脳卒中は脳の血管が詰まったり破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなり、細胞が死んでしまう病気のことをい大きく分けると、脳出血と脳梗塞があります。生活習慣病のひとつともいわれ、発症する前の予防についてどんなことがあるか、お話しいたします。

◆ 入場 無 料 ◆

◆ お問い合わせ:豊中市立岡町図書館 06-6843-4553 ◆

◆◆◆◆◆ 図書館では、さまざまな調べもの(レファレンス)のお手伝いをします。◆◆◆◆◆

豊中市立図書館では、「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、暮らしに密接な分野として、「医療・健康情報」(岡町)「多文化共生」(庄内)「ビジネス・就業」(千里)「子育て・DV(ドメスティックバイオレンス)」(野畑)の資料を、充実させる取組みをすすめています。 図書館の資料やインターネット上の情報を効果的に探せる「検索ナビ」も順次作成しています。 資料とあわせてご利用ください。

◆◆◆◆◆ まちの保健室 ◆◆◆◆◆

医療健康情報
レクチャー
第2回

認知症の早期発見について。 介護について。

認知症の方を理解するために…

だれもが知っておきたい認知症についてお話をうかがいます。

もの忘れなんてこわくない

3月15日(木) 午後2時~3時30分

岡町図書館 3階 集会室2

豊中市岡町北3-4-2 06-6843-4553
(岡町駅西 150メートル 駐車場はありません)

講師: 大久保 和美さん

市立豊中病院 認知症看護認定看護師
認知症や生活リズム障害を起している高齢者の方へのケアの実践、院内各部署のコンサルテーション活動を行っています。認知症の方は、自身の状態を的確に説明することができないことがあります。態度や身体か表情の変化などに注目し、思いを正確にすること、病状の変化を察知することが必要です。(市立豊中病院2Fより)

◆ お問い合わせ:豊中市立岡町図書館 06-6843-4553 ◆

◆◆◆◆◆ 図書館では、さまざまな調べもの(レファレンス)のお手伝いをします。◆◆◆◆◆

豊中市立図書館では、「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し、暮らしに密接な分野として、「医療・健康情報」(岡町)「多文化共生」(庄内)「ビジネス・就業」(千里)「子育て・DV(ドメスティックバイオレンス)」(野畑)の資料を、充実させる取組みをすすめています。 図書館の資料やインターネット上の情報を効果的に探せる「検索ナビ」も順次作成しています。 資料とあわせてご利用ください。

^{*1}認定看護師 …ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者のこと。救急看護、糖尿病看護、認知症看護など、現在 21 分野が認められています。

(2) 情報提供

■ 関連講座等での資料貸出

図書館での情報提供はもちろん、図書館の外でも、広く市民に情報提供を行っています。関連講座やイベント等において資料の貸出や出張展示を行っているほか、各部署等からの相談や依頼に応じ、情報の提供、必要な資料の取り寄せ等も行っています。出張展示の際には、当該イベントや関連講座等に図書館職員を派遣することで、会場に展示された資料をその場で貸し出すことも可能で、このサービスに対して利用者からは「その場ですぐに借りられて助かる」などの声をいただいております。より満足度の高い事業の実施につながっています。

また、他部局が作成したチラシやパンフレットなども積極的に入手し、図書館利用者に提供しています。

【出張展示の様子】



左：健康増進事業普及月間口ビー展、右：健康カレッジ（いずれも地域保健課）

出張展示で提供された資料は、生活習慣病やメタボリックシンドローム、介護予防のための体操、健康的な食事に関するものなどで、講座やイベントの内容に合わせたものを図書館職員が選書しました。



食の育みフォーラム（保健企画課）※平成24年度に実施

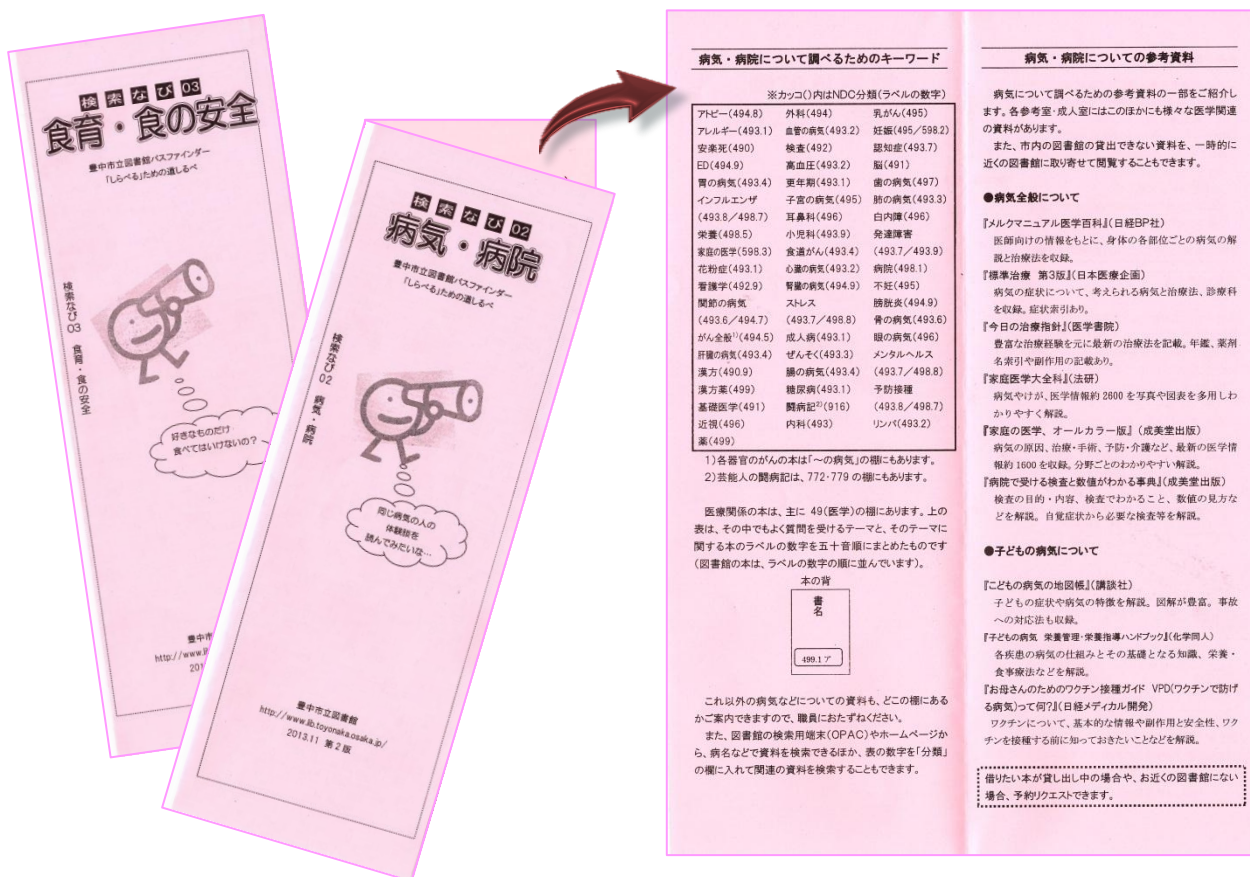
「食から考える防災」をテーマに開催した事業の際には、講師の著書を中心に、防災食や備蓄品、災害時の対応について書かれた図書資料を展示しました。

■ パスファインダー『検索なび』

情報提供手段の一つとして、パスファインダー^{*1}『検索なび』も作成しています。

「調べ物は図書館で」「病気・病院」「食育・食の安全」「防災」といった生活に身近な分野から、「判例・法令」といった専門的な分野まで様々なテーマを取り上げており、それぞれが必要な情報メディアへアクセスするための支援をしています。また、『検索なび』には、各テーマに関する入門の情報もまとめられているため、自分とは縁遠いと思っていたテーマでも、手に取り中を見えることで、新しい知識を広げるきっかけにもなります。

『検索なび』は紙媒体だけでなく、市図書館ホームページでも閲覧することができます。さらに、ホームページでは、リンク集のページから有用な関連サイトへ直接アクセスできるほか、気になったキーワードをクリックすることで、蔵書一覧の確認等ができ、知りたい情報へのより素早いアクセスが可能となっています。



^{*1}パスファインダー …「道 (path)」を「見つける人 (finder)」＝「道しるべ」といった意味で、あるテーマについて知りたいことがある時、そのテーマに関する資料や情報をどのように探せばよいか簡単にまとめた手引き・検索用ツールのこと。レファレンスサービス^{*2}の1つ。

^{*2}レファレンスサービス …何か調べものがある時、図書館職員がその情報等を検索し提供するサービスのこと。資料や情報の探し方について援助したり、資料や情報そのものを紹介・提供する場合と、よくある質問や興味関心の高い話題について、あらかじめ、資料を準備したり文献リストなどの情報ツールを作成したりする場合があります。

(3) まとめ

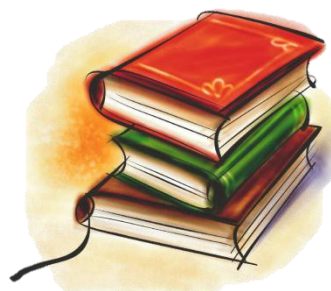
従来、「図書館」＝「資料の貸出により情報提供を行う施設」といった、一部のサービスのみの印象が先行しがちでしたが、蔵書の収集・保存・貸出はもちろんのこと、それ以外にも図書資料の活用を軸に様々な手法で利用者へ情報提供を行っています。中でも、レファレンスサービスは資料貸出と並ぶ図書館の中核業務であり、『検索ナビ』の作成・改訂、図書館窓口やホームページでの調査依頼等のサービスを通して、図書館利用者と利用者が必要とする情報資源の間の橋渡しをしており、身近にある「情報拠点」としての役割を果たしています。

さらに、来館者に対する情報提供・相談業務を発展させ、地域がそれぞれ抱える課題に対する解決支援を行う「暮らしの課題解決」サービスも実施しています。地域の特色や特性に応じて図書館ごとにテーマを設け、関連蔵書の充実・講演会の実施等を行うことで、市民の課題解決に向けた積極的な情報提供・支援を行っています。

また、関係機関と連携した事業の実施や、他部局が作成した関連のチラシ・パンフレットなどの配布等による情報提供にも積極的に取り組んでいます。保健所とも連携・協働して事業を実施しており、例えば、ブックスタート事業「えほんはじめまして」では、心の健やかな成長を願って、赤ちゃんと一緒に絵本を開く楽しさを伝えようと、4か月児健康診査の場を活用し、保健予防課・ボランティアスタッフ・図書館の三者が連携して事業を実施しているほか、図書館職員による絵本の読み聞かせと一緒に実施している事業として「すくすくあかちゃんタイム」（保健師による子どもの身体・健康に関する講座や育児相談を併せて実施）や「食育コラボ～みんなでは・は・は」（歯科衛生士による歯の健康に関する講座を併せて実施）などがあります。これらの事業の際には、内容に沿った関連資料の紹介・展示も併せて実施しており、連携・協働して事業を行うことで、参加者に、講座内容についてより興味を持っていただいたり、より理解を深めていただいたりするきっかけとなっています。

図書館では、市民だけでなく、庁内向けにも資料調査・情報提供サービスを実施しています。庁内仕事応援サイトなどを通して、図書館の資料や情報が各部署に活用されるよう働きかけを行い、各部署が実施する事業がより満足度の高いものになるように、また、市民サービスのさらなる向上につながるよう支援をしています。

今後も、講座への出張展示やレファレンスサービス等を活用しながら、市民主体の健康づくりにつなげていけるよう情報提供に努めていきたいと考えています。



■ 市立図書館ホームページ

検索ナビ は市立図書館ホームページからも閲覧が可能です。

検索ナビ

- 00 調べものは図書館で(PDF・158KB)
- 01 新聞記事(PDF・139KB)
- 02 病気・病院(PDF・350KB)
- 03 食育・食の安全(PDF・274KB)
- 04 薬(PDF・298KB)
- 05 子育て(PDF・129KB)
- 06 DV(ドメスティック・バイオレンス)(PDF・143KB)
- 07 国際交流(PDF・200KB)
- 08 業界動向(PDF・175KB)
- 09 法令・判例(PDF・156KB)
- 10 事業をはじめめる・起業(PDF・151KB)
- 11 メタボリックシンドローム(PDF・256KB)
- 12 特許・知的財産(PDF・117KB)
- 13 就職・転職(PDF・180KB)
- 14 外国人のための生活ガイド(PDF・160KB)
- 15 防災(PDF・178KB)
- 16 事業承継(PDF・175KB)

「暮らしの課題解決」ページは、市立図書館ホームページ（トップページ中段）から入ることができます。

・ 各図書館のテーマ紹介
 ・ テーマ別資料リスト
 などのページがあります。

タイトル	著者	出版社	出版年月
ケアする人も楽になる認知行動療法入門 BOOK 1	伊藤 絵美/著	医学書院	2011.2
ケアする人も楽になる認知行動療法入門 BOOK 2	伊藤 絵美/著	医学書院	2011.2
図解介護保険のサービス内容・料金早わかりガイド 2009～2011年度版	中村 聡樹/著	日本実業出版社	2009.5
がんと一緒に働こう	CSRプロジェクト/編	合同出版	2010.5
座位が変われば暮らしが変わる (おはよう21 ブックス 基礎から学ぶ介護シリーズ)	大淵 哲也/著	中央法規出版	2009.9
中途障害者の心理と支援	柏倉 秀克/著	久美	2011.2
折れぬ葦	京都新聞社/編	京都新聞出版センター	2007.3
知っているとな楽になる高齢者の介護30	巽岩 恭子/著	日本放送出版協会	2010.11
親の入院・介護が必要になったときに読む本	豊田 真弓/編著	日本実業出版社	2010.6
親の入院・介護に直面したら読む本	長岡 美代/著	実務教育出版	2009.9

事業③

こんにちは赤ちゃん事業

事業名称：育児支援家庭訪問事業*1・こんにちは赤ちゃん事業

担当課：保育幼稚園室

内容：児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭を訪問して育児に関する相談や助言等の支援を行います。
生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握に努め相談や助言等の支援を行います。

実績：育児支援家庭訪問 43件 85回
こんにちは赤ちゃん訪問 対象家庭数 3,775件

評価：こんにちは赤ちゃん訪問時において、子育て支援の情報提供を行い、子育て支援センター、子育てサロン等への利用につなげました。
保健センターと連携を図りながら、保護者の子育て不安の軽減に努めました。

掲載箇所：P74 事業No.298

内容

(1) こんにちは赤ちゃん事業について

(2) 事業内容

- 事業の流れ
- 配布資料
- 現場の声 —訪問活動の実際—

*1 育児支援家庭訪問事業 …対象：就学前の子どものいる家庭 根拠法：児童福祉法
養育支援が必要な家庭（子育てに対して不安・悩み等がある家庭、ひきこもり又は児童虐待のおそれがある家庭など）に対して、地域支援保育士などが家庭を訪問し、育児に関する相談や子育てサービスに関する情報提供などを行っています。こんにちは赤ちゃん訪問時に、当事業に関する情報提供も行っています。

(1) こんにちは赤ちゃん事業について

■ 目的

乳児家庭の孤立化を防ぐため、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、親子の心身の状況や養育環境等の把握し助言を行うこと、育児における様々な不安や悩みに耳を傾けること、子育て支援に関する情報提供等を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供につなげるなどを通して、地域における乳児の健全な育成環境の確保をめざします。

■ 概要

厚生労働省により、平成19年4月に「生後4か月までの全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)」として創設されたのち、平成21年4月からは、児童福祉法に位置づけられ、現在の「乳児家庭全戸訪問事業」として実施されています。実施主体は特別区を含む各市町村。豊中市では、子育て支援センターが中核機関となって事業を実施しています。

■ 乳幼児期における家庭訪問事業について

生後4か月までの子育て家庭へのアプローチとしては、こんにちは赤ちゃん事業の実施前から、母子保健法に基づく新生児訪問指導等が実施されてきました。こんにちは赤ちゃん事業は、上述のとおり、生後4か月までの乳児がいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握、支援の必要な家庭に必要なサービスの提供に結び付けることを目的としている一方、母子保健法に基づく訪問指導事業は、生後28日までの乳児がいる家庭を対象として、新生児の発育・栄養・疾病予防などについて、個々の状態に応じた保健指導や援助等を行い、育児不安の軽減等を図ることを目的としています。

【 こんにちは赤ちゃん訪問 】

根拠法： 児童福祉法

対象： 生後4か月までの乳児がいる家庭全て

訪問者： 主に地域支援保育士、主任児童委員（※豊中市の場合。市町村によって異なる）

目的： 育児不安や悩みの傾聴・相談、地域のネットワークづくり

…地域における子育て支援に関する情報提供を通して、子育て家庭と地域のつながりを形成し、子どもの成長を地域で見守る環境をつくる

参考)

【産婦・新生児訪問】(母子保健訪問指導の一部)

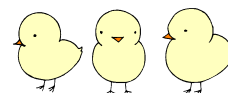
根拠法： 母子保健法

対象： 新生児(生後28日を経過しない乳児)と産婦(※豊中市は28日を越えても受付)

訪問者： 保健師、助産師(※豊中市の場合。市町村によって異なる)

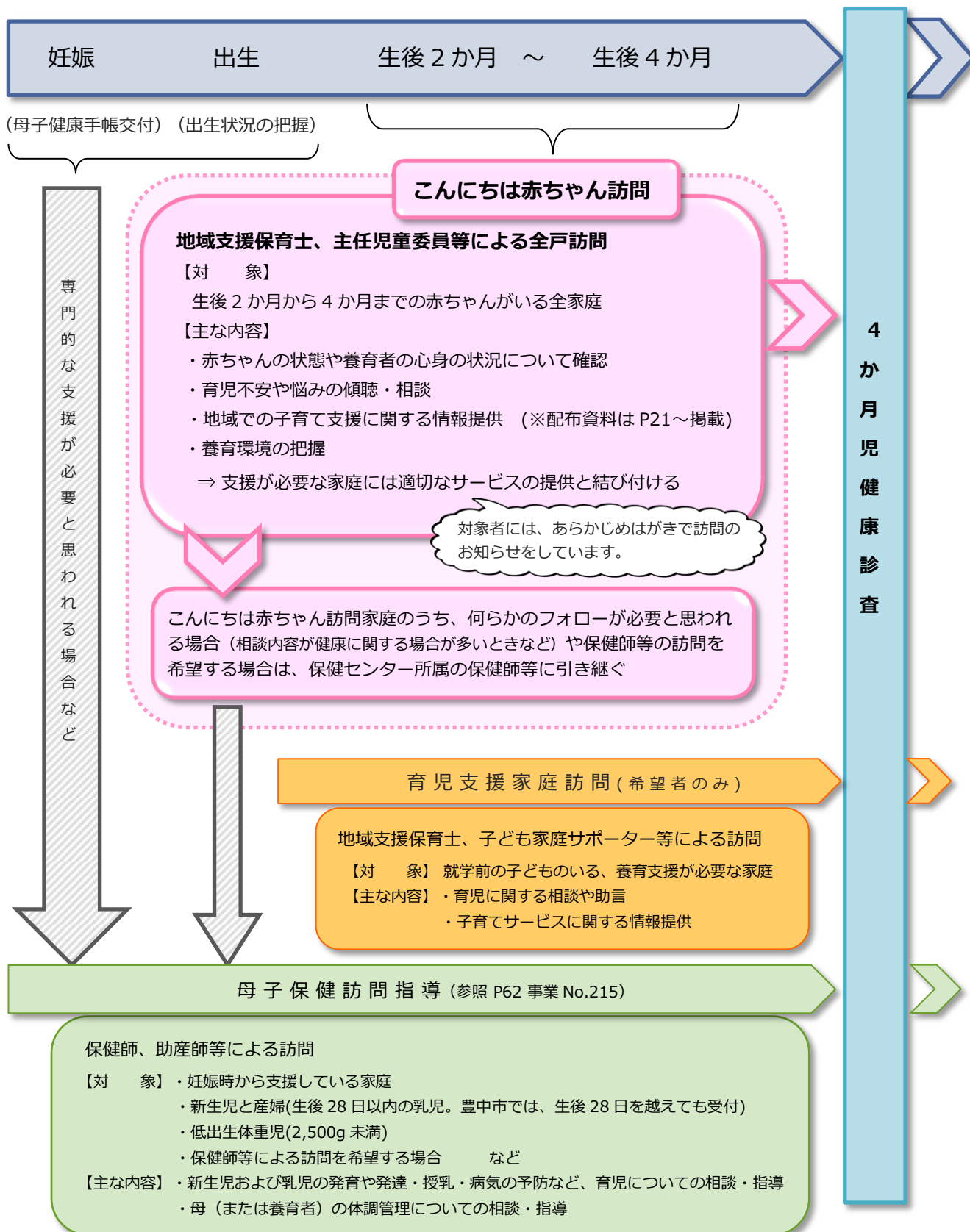
目的： 母子の健康状態の把握と確認、育児環境の確認と支援

…新生児および乳児の発育・発達等育児上重要な事項について助言・指導することで、育児不安の軽減や母体の回復を図る



(2) 事業内容


■ 事業の流れ



■ 配布資料（一部抜粋） ※2014 年度配布分

子育てのワンポイント

こんにちは赤ちゃん




市立子育て支援センターほっぺ
TEL6852-5526
FAX6852-5422

はじめに…

赤ちゃんのお誕生おめでとうございます。生まれたばかりの赤ちゃんは顔を真っ赤にしながら、大きなあくびをしたり、顔をくしゃくしゃにして泣いたり、いろんな表情をみせてくれます。おっぱいを飲んだり、オシメをかえてもらったり、抱っこして語りかけてもらえると、とても満足そうな顔になりますね。そんな大人の関わりが赤ちゃんには心地よく心の育ちにつながっていきます。


大人は時には戸惑いながらも赤ちゃんに寄り添うことで、しあわせを感じ、ほんのひとときでも「子育てが楽しいな」と思えるように、この冊子が役立つことを願っています。



泣く


泣いたらどうしたらいいの？

赤ちゃんは、泣くことで気持ちを表しています。どうして泣いているのかな？と原因を探してみてください。「おなかすいた」「オムツがぬれた」「ねむい」といったことや「さみしい」「かまってほしい」といったことで泣いたりすることもありますね。抱っこしたり、身体をさすってあげたり、声かけしたり歌をうたったりしてみましょう。抱き癖を気にしないで、抱っこしてあげましょう。



何をしても泣きやまない…どうしよう

泣きやませようと大人があせってしまうと、かえって赤ちゃんがそれを感じて泣き続けることもあります。大人がしんどくなると逆効果になるので、そんな時は外に出て散歩してみたり、お家の中にかわってもらえる人がいたら、抱っこを代わってもらいましょう。少しお部屋の空気を入れかえをするなど環境に変化をつけて気分を変えることで、ほっとできることもあります。自分なりの気分転換の方法をみつけましょう。



眠る

上手に寝られるまでまってね…

生まれたばかりの赤ちゃんは授乳以外は一日のほとんどを寝て過ごしています。生後一か月を過ぎると、だんだん起きている時間が長くなります。眠りの時間が短くて、心配になることもありますが、赤ちゃんが元気ならそれで大丈夫。

ねむくてねむくて

なのに、うまく寝れなくてぐずぐず…
 赤ちゃんは、はじめから上手に寝つけませんでも…
 お母さんやお父さんがそばにいてくれたら赤ちゃんも安心。好きな歌をうたったり、からだをトントンしたり、眠りのお手伝いをしてあげてください

それでも眠れなかったら…

抱っこでお部屋を歩いたり、静かな音楽をかけたり、昼間だったら、ちょっぴりお外の風にあたりたりするのもいいですね。

「子育てワンポイント」

0 歳児の子育ての中で大切なことなどを簡単にまとめた冊子

気軽に話ませんか?

豊中市子育て支援センター ほっぺ TEL: 6852-5526

保育士(市職員)が訪問します。一緒に考えましょう。(無料)
個人の秘密は堅く守ります。

子育て相談(育児支援家庭訪問事業)の周知ちらし

赤ちゃんを揺さぶらないで
泣き止まないのはあなたのせいではありません

あやしても泣き止まない
きっかけは何なのか分からない
生後2〜3ヶ月がピークで数ヶ月泣く
痛そう(苦しそう)
長く泣く(5時間以上泣くことも)
夕方〜夜に泣くことが多い

乳幼児揺さぶられ症候群
乳幼児を激しく揺さぶると重度の脳損傷になるおそれがあります
特に6ヶ月未満に多く起こっています
寝たきりになるといった後遺症や死亡してしまうこともあります

※抱っこしたり、おんぶしてリズムを取りながら揺らしたり、ヒザの上で赤ちゃんを揺らすような通常のあやし行為では揺さぶられ症候群は起こりません。

赤ちゃんが泣いたら・・・

- ・授乳する
- ・おむつを替える
- ・発熱や発疹などいつもと変わった様子がないか見る
- ・穏やかな音楽をかけたり歌を歌う
- ・柔らかくて肌触りのよい布で包む
- ・外気に当てる

それでも泣き続けるなら・・・
赤ちゃんを安全な場所に置いて周囲の安全を確認し数分間赤ちゃんから離れて気持ちを切り替えてみる

生後2〜3ヶ月はどんなにがんばっても泣き止まない時もあります
あまりに泣き止まない時は周りの人や専門機関に協力を求めましょう

豊中市健康福祉部 保健所 保健予防課

- 中部保健センター 母子保健グループ 06-6858-2293
- 千里保健センター 母子保健グループ 06-6873-2721
- 庄内保健センター 母子保健グループ 06-6332-8555

乳幼児揺さぶられ症候群 防止啓発ちらし

平成26年(2014年)4月

四種混合ワクチンの定期接種について

☆四種混合ワクチン(不活化ポリオ、破傷風、ジフテリア、百日咳)の予防接種です。
☆平成24年(2012年)11月1日(木)から定期接種として開始されました。

●<ワクチンの種類>: 四種混合ワクチン 皮下注射

●<対象年齢>: 生後3か月から90か月未満

●<接種方法>: 個別接種方式

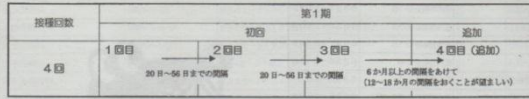
【 裏面の取扱医療機関で予約して接種してください。予約票のない人は、取扱医療機関および各保健センターに設置しています。ご希望の方は市担当までご連絡ください。】

●<接種料金>: 対象年齢内であれば無料

●<接種回数>: 初回接種3回 + 追加接種1回 = 合計4回接種

三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチン(単独)を、途中から四種混合に変更する場合は、いずれも累計で不活化ポリオ4回(生ポリオを1回接種済みの人は3回)、三種混合4回を超えての接種を行うことはできません。生ポリオを2回接種済みの人は、四種混合の対象外です。

☆四種混合ワクチンの接種回数と標準的なスケジュール



ポリオ(急性灰白髄炎)による感染症について

ポリオは「小児まひ」とも呼ばれ、ポリオウイルスによって主に手足に麻痺(まひ)を起すことがある病気です。便中に排泄されたポリオウイルスは、口から生体に侵入します。口から入ったポリオウイルスは、のどや小腸の細胞で増殖します。小腸の細胞ではウイルスは4~35日間(平均7~14日間)増殖すると考えられています。増殖したウイルスは便中に排泄され、再びヒトの口に入り抵抗力(免疫)を持っていないヒトの腸内で増殖し、ヒトからヒトへ感染します。ポリオウイルスに感染すると、100人中5~10人はかばれ症状があり、発熱を認め、続いて頭痛、嘔吐があらわれます。また、1000~2000人に1人の割合で、手足の麻痺(まひ)を起します。

破傷風による感染症について

破傷風菌は、ヒトからヒトに感染するのではなく、土の中にいる菌が傷口から人の体内に入ることによって感染します。菌の出す毒素のために口が固くなったり、けいれんを起したり、治療が遅れると死に至ることもある病気です。患者の半数は本人や周りの人では気がつかない程度に軽いけいれんが原因です。土中に菌がいるため、感染する機会には常にあります。

ジフテリアによる感染症について

ジフテリア菌の飛沫感染で起ります。現在患者発生数は年間0~1名程度です。しかし、ジフテリアは感染しても10%程度のみに症状が出るだけで、残りの人は症状が出ない保菌者となり、その人を通じて感染することもあります。症状としては高熱・のどの痛み、犬吠様のせき・嘔吐などで、扁桃に偽膜を形成して窒息死することがある病気です。発病2~3週間後には、菌の出す毒素によって心筋障害や、神経麻痺(まひ)を起すことがあります。

百日咳による感染症について

百日咳菌の飛沫感染で起ります。百日咳は、普通のかぜのような症状で始まります。続いてせきがひどくなり、顔を真っ赤にして連続的にせき込むようになります。せきあとも急に息を吸い込むので、音を吹くような音が出ます。熱は通常出ません。乳幼児はせきで呼吸ができず、くちびるが青くなったり(チアノーゼ)けいれんを起すことがあります。また、肺炎や脳症などの重い合併症を起すことがあります。このひどいせきの回数は次第に減少してきますが、多くは2か月ほど続きます。

副反応等について

四種混合ワクチン接種後に、他のワクチン接種でもみられるものと同様の副反応が見られることがあります。通常は一時的なもので数日で消失します。接種部位の反応として、最も多くみられるのは、紅斑(赤み)、硬結、腫脹(腫れ)などです。全身反応としては、発熱、発疹、下痢、食欲不振、咳嗽などがみられます。また、重大な副反応としてはまれですが、ショック、アナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難、顔面浮腫、血管浮腫等)、けいれん発作などがみられることがありとされています。

接種不適当者(予防接種を受けることができない人)

- 明らかに発熱している人。(通常は37.5℃を超える場合)
- 重い急性疾患にかかっている人。
- 四種混合ワクチンの成分によってアナフィラキシー(接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応)をおこしたことがある人。
- 医師が接種不適当な状態と判断した場合。

接種後の注意

- 接種後30分は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- 接種後1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- このワクチンの接種後、異なる種類のワクチンを接種する場合には、接種した日の翌日から起算して6日間の間隔を空ける必要があります。他のワクチンと同時に接種を希望する場合は医師にご相談ください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は可能ですが、接種部位をこすことはやめましょう。
- 接種当日は、激しい運動はさけてください。

予防接種による健康被害救済制度について

この予防接種により、健康被害(入院が必要な程度の疾病や障害など)が生じた場合、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものと認定されると、予防接種法に基づく補償を受けることができます。予防接種後身体に腫瘍の悪いところがあれば医療機関で受診し、市担当までご連絡ください。

▼市担当 豊中市 地域保健課(予防接種グループ) ☎ 6858-2287
〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15 豊中市すこやかプラザ1階 中部保健センター内

平成26年(2014年)4月

保護者の皆様へ

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種について

○平成25年(2013年)4月1日(月)から定期接種となりました。この説明書をよく読み接種してください。

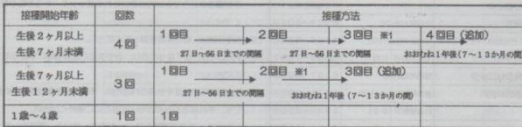
○裏面の取扱医療機関に予約のうえ接種してください。接種の際は、母子健康手帳をお持ちください。

○予約票のない人は、中部・千里・庄内保健センターまたは取扱医療機関に設置しています。

	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
対象	生後2ヶ月以上60ヶ月に至るまでの人	
接種費用		無料
接種回数	接種開始年齢によって異なります。下記のスケジュールをご確認ください	

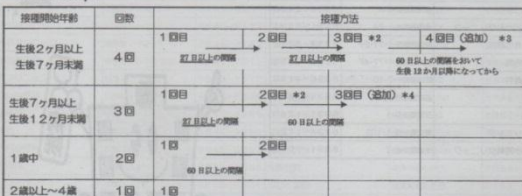
接種開始年齢と標準的な接種スケジュール

<ヒブ(Hib)>



※1 1歳になるまで完了。生後2~7ヶ月未満で開始し、初回2回目または3回目をする前に1歳を過ぎた場合は、初回接種は行わないこと。最後の接種接種後27日以上おいて追加接種は可能。生後7~12ヶ月未満で開始し、初回2回目をする前に1歳を過ぎた場合は、初回接種は行わないこと。最後の接種接種後27日以上おいて追加接種可能。

<小児用肺炎球菌>



☆平成25年(2013年)11月1日より、小児用肺炎球菌ワクチンが従来の7価肺炎球菌結合型ワクチンから、沈降13価肺炎球菌結合型ワクチンとなりました。

※2 2歳になるまで完了。ただし、生後2~7ヶ月未満で開始し、初回2回目をする前に1歳を過ぎた場合は、初回2回目をし、初回3回目をしないこと。最後の接種接種後60日以上おいて追加接種は可能。生後7~12ヶ月未満で開始し、初回2回目をする前に1歳を過ぎた場合は、初回2回目をしないこと。最後の接種接種後60日以上おいて追加接種は可能。

※3 標準として生後12ヶ月~15ヶ月で接種 ※4 生後12ヶ月頃に接種

ヒブ(インフルエンザ菌b型)・小児用肺炎球菌による感染症について

乳幼児の細菌性髄膜炎は、年約550人に発症しています。この細菌性髄膜炎を起す原因の約6割をヒブ、約2割を肺炎球菌が占めています。細菌性髄膜炎にかかると、命にかかわる重いや重い後遺症を残すこともあります。初期症状は、発熱や嘔吐、不機嫌、けいれんなどで風邪などの他の病気の症状と似ているため、早期に診断することは難しい病気です。また、2歳未満まで、特に0歳児からかきやすいため、できるだけ早いうちに予防接種を受けることが効果的とされています。

副反応等について

ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン接種後に、他のワクチン接種でもみられるものと同様の副反応が見られることがあります。通常は一時的なもので数日で消失します。接種部位の反応として、発赤(赤み)腫脹(腫れ)硬結(しこり)疼痛などが最も多くみられます。全身反応として、発熱、硬結、硬膜、食欲不振、下痢、不機嫌などがみられます。また、重大な副反応としてはまれですが、ショック、アナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難、顔面浮腫、喉頭浮腫等)、けいれん、血小板減少症などがみられることがありとされています。なお、ヒブワクチンは製造の過程でワシ成分が使用されていますが、一定の安全性が確保されていると評価されています。

接種不適当者(予防接種を受けることができない人)

- 明らかに発熱している人。(通常は37.5℃を超える場合)
- 重い急性疾患にかかっている人。
- ヒブワクチンはヒブワクチンの成分または破傷風トキソイドによってアナフィラキシー(接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応)をおこしたことがある人。肺炎球菌ワクチンは肺炎球菌ワクチンの成分またはジフテリアトキソイドに対して、アナフィラキシーを起したことがある人。
- 医師が接種不適当な状態と判断した場合。

接種後の注意

- 接種後30分は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- 接種後1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- このワクチンの接種後、違うワクチンを接種する場合には、接種した日の翌日から起算して6日間以上の間隔を空ける必要があります。他のワクチンと同時に接種を希望する場合は医師にご相談ください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は可能ですが、接種部位をこすことはやめましょう。
- 接種当日は、激しい運動はさけてください。

予防接種による健康被害救済制度について

この予防接種により、健康被害(入院が必要な程度の疾病や障害など)が生じた場合、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものと認定されると、予防接種法に基づく補償を受けることができます。予防接種後身体に腫瘍の悪いところがあれば医療機関で受診し、ご相談ください。

(市担当) 豊中市 健康福祉部 地域保健課(予防接種グループ) ☎ 6858-2287
〒560-0023 豊中市岡上の町2丁目1番15号 豊中市すこやかプラザ1階 中部保健センター内



「子育てサービスガイド」

妊娠中から就学前までの子育てに関する情報をまとめた冊子。フルカラーで全71ページ。届出や手続き、各種相談窓口や講座の案内、医療機関情報、公的支援に関する情報などが掲載されているほか、必要な手続きや受けられるサービスが子どもの年齢ごとまとめられた「子育てカレンダー」や、市内エリアごとに施設・公園などの所在地がまとめられた「おでかけマップ」なども掲載されています。

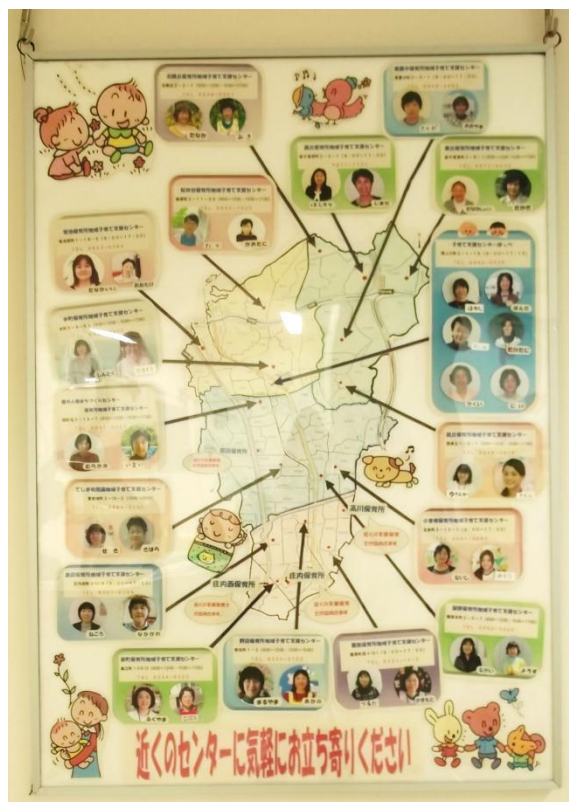
■ 現場の声 — 訪問活動の実際 —

「こんにちは赤ちゃん」事業で、実際に各家庭を訪問している地域支援保育士に、訪問活動の現場の様子や取り組みにあたっての工夫、これまでの活動の中で感じたことや印象に残っている出来事などについてお話を伺いました。

お話を伺った地域支援保育士の皆さん

さくた
佐久田地域支援保育士
(東豊中保育所 地域子育て支援センター)
まるやま
丸山地域支援保育士
(野田保育所 地域子育て支援センター)
つるた
鶴田地域支援保育士
(豊南保育所 地域子育て支援センター)

子育て支援センターの所在地と、各センターに所属している地域支援保育士の顔写真を掲載したマップ



訪問活動の実際の様子について

◆ こんにちは赤ちゃん訪問とは？

こんにちは赤ちゃん事業では、生後2か月から4か月の赤ちゃんがいるご家庭を、地域支援保育士と校区の主任児童委員と一緒に訪問します。基本的には生後2か月の時に訪問しますが、お会いできなかった場合などは、生後3か月、4か月の時に訪問する時もあります。訪問のお知らせはがきを事前に送付してから訪問していますが、訪問事業の存在が浸透していることもあり、おおむね保護者の方には好意的に受け入れていただいています。

訪問先では、育児について悩んでいることや困っていることについてお話を伺いし、必要であれば担当地区の保健師等につないでいます。また、地域の子育て支援サービス情報についてお知らせしたりもしています。訪問の際、「地域の中で仲間作りが出来るようお手伝いしている」こと、「何か困ったことがあればいつでも遠慮なく相談してほしい」ことは特にお伝えするようにしています。

◆ 訪問先では、どのような相談や質問をよく受けますか？

よく聞かれるのは、授乳に関することや赤ちゃんの体重について、肌のトラブルについてのご相談です。例えば、「母乳ってどのくらいまでなら飲ませてもいいのですか？1か月健診では体重が増えすぎだと言われたのですが、医師には母乳は飲みたがるだけ与えも大丈夫ですと言われて・・・どうしたらいいのでしょうか？」などですね。赤ちゃんの場合は特に個人差が大きいので、専門的なことを尋ねられた場合は、あいまいな回答はせず、相談できる窓口をお知らせするようにしています。

転勤で来られる人の多い地域では、周りに相談できる友達や親戚が少ないことが多く、保育所入所に関する事など、豊中市の子育て支援サービスに関する情報が喜ばれる傾向があるように思います。医療機関や保健センターの場所についてもよく質問されます。

また、訪問する赤ちゃんが第1子とは限らないので、赤ちゃんについてではなく、上の子について相談されることもあります。上の子の赤ちゃん返りについての相談はしばしばあり、そのような時は「きょうだいで子育て支援センターを利用している人もいますよ」とご案内し、子育て支援センター利用につながった時には、保護者と上のこどもさんがスキンシップをはかる時間を取れるようサポートしています。

◆訪問の中で、嬉しかったことや印象深い出来事などがあれば教えてください。

訪問した後、「子育て支援センターを利用してみたいのですが」と連絡があった時や、実際にセンターを利用してくださった時は、案内が利用につながったことが感じられてとても嬉しいです。訪問時には悩みが出なくても、子育て支援センター利用時に「こどもが寝てくれなくて実は大変なんです」とぼろっとこぼしてくださったり、4か月ごろになると「離乳食はいつスタートしたらいいのかしら」と新しく悩みごとが出てきたり…。色々な出来事を経験して、お母さんたちやこどもたちが成長していく姿が見られることも、とても嬉しいです。

取り組み上の工夫や心掛けについて

◆訪問の際、どんなことを心がけていますか？

あいまいなことは絶対に言わず、自分たちが持っている情報を正確にお伝えすることを常に心がけています。また、抱っこ仕方など、具体的なやり方について「こうしたらやりやすいよ」とアドバイスはしますが、「このやり方がベストで、あなたのやり方はよくないよ」というふうに感じられることがないように注意しています。子育てについて気軽に相談できる相手となれるよう、日々子育てをがんばっているお母さんたちの気持ちに寄り添うようにしています。

子育てに関する情報を得ると、「その通りにやらなくちゃだめなんだ！」と思ってしまうお母さんも多く、特に初めての子育てではその傾向が強いように思います。最近は、インターネットを通して莫大な量の子育て情報に触れることができるので、便利な一方、逆に情報が多すぎて迷ってしまうお母さんにもよく出会います。訪問してそんなお母さんたちに会ったら、数ある情報の中からそのご家庭に合った情報を選ぶ。これは、経験ある生身の人間だからこそできる事ではないかなと思っています。

◆取り組みにおいて工夫していることがあれば教えてください。

びよびよ^{*1}の開催が近い日にご家庭を訪問するようにしています。訪問の日とサークルの開催日が近いほど、お知らせしたサークルに来て下さるお母さんたちが増える傾向があるように思います。対象は主に0歳児の赤ちゃんとその保護者ですが、赤ちゃんと一緒に上のきょうだいもに遊びに来ることがあります。「ちょっと疲れたな」と感じた時には、気軽にいつでも来てくださるようご案内しています。

^{*1}びよびよ …0歳児とその保護者を対象とした子育てサークル。市内の各保育所や子育て支援センターなどで開催。身長測定や体重測定、おしゃべりタイムなどを行っており、親子のふれあいや、地域における仲間作り、子育ての不安解消などを図ります。

また、地域子育て支援センターは保育所の一室にあるので、0歳児クラスがあるところは、クラス担任と連携した取り組みもしています。保育所の赤ちゃんが離乳食を食べている様子を見てもらい、自分の子どもの少し未来の姿に思いを馳せてもらったり、赤ちゃんによって成長には個人差があることを肌で感じてもらったりしています。

◆ネットワークづくりに向けた取り組みについて教えてください。

お母さんたちの悩み・不安解消には、新米ママや先輩ママたちとの交流も大きな助けとなっていると思います。ぴよぴよなどの子育てサークルには、今まさに同じことで悩んでいるお母さんや、少し前に同じ経験をしたお母さんたちが参加しており、新米ママ同士なら悩みや不安に思う気持ちを分かち合ったり、先輩ママに「私もそうだったなあ」「大丈夫、最初はそんなものだよ」と言ってもらえたりすることで、初めてのことだらけで不安がいっぱいのお母さんたちも、「悩んでいるのは自分だけじゃないんだ」と安心したり、「もう少し時間が経てば解消するんだ」と少しほっとすることができています。逆に、誰かのお世話をすること、これまでの経験をお話しして新米ママが安心してくれることは、先輩ママの自信を高めることにもつながっていて、子育てサークルで知り合った人たちが、交流を通してお互いにいい影響を与えているのではないかと思います。

仲間作りをしてもらいやすくなるように、子育て支援センターでは、お母さんたち同士が交流できるようサポートに努めています。お母さんが質問してこられた時、もちろん職員がアドバイスすることもあります。答えられそうな先輩ママや同じ経験をしていそうなお母さんにできるだけ話をしてもらって、お互いの中で解決してもらおうようにしています。また、初めて利用されたお母さんなどはしゃべりづらそうにしていることもあるので、先輩ママに「あなたの時はどうだったか教えてくれない？」と声掛けをして、話をしやすい雰囲気作りをしています。

最後に、今後の抱負など一言お願いします

訪問活動を続けていて思うのは、孤独を感じる人が多いということです。傍に手助けしてくれる人がいない人は不安そうな表情をしていらっしやることが多いように思います。子育ての早いうちから、いつでも自由に来られる子育て支援センターの存在や子育て支援サービスの存在を知ってもらい、また、地域の中で身近な相談相手や仲間を作ることで、孤独感を抱えながら子育てをする人が少しでも少なくなるように、支援を続けていきたいと思います。保健師や助産師とともに、悩んだり困ったりしている保護者の方が、ちょっとでも気持ちを楽に、楽しく育児ができるようにお手伝いしていければと思います。子育て支援センターには、保育士や、同じような悩みを抱えていた先輩ママがいること、いつでも気軽に頼ってきていいんですよ、と伝えていきたいです。

地域子育て支援センターに一人でも多くの方が来てくれるよう、保護者の方の心に寄り添うことを大切にしながら、これからも他機関と連携を深め、情報提供に努めていきたいと思います。



第2章

各事業の進行状況

第2章には、市内で実施された健康づくり関連事業を掲載しています。
各事業を健康づくりの視点から考察し、
取り組み分野ごとに一覧にしています。



取り組み分野一覧

分野		めざす市民の姿	取り組み	頁
I	栄養・食生活	自分の体にあったバランス良い食事を心がけ、正しい食習慣を身につけている	A 栄養・食生活に関する知識の普及啓発	30
			B 適切な食を提供するための環境整備	32
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した食に関する取り組みの推進	35
II	運動・身体活動	日常的に体を動かす習慣をもち、様々な運動・身体活動の機会が地域活動等のなかで提供され、必要な時に気軽に利用できる	A 運動・身体活動に関する知識の普及啓発	36
			B 楽しく気軽に安全に運動や身体活動ができる環境づくり	37
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した運動・身体活動に関する取り組みの推進	42
III	こころの健康づくり	自分のこころの状態を理解し、ストレスのコントロールや相談・受診など適切な健康管理を行うことで、こころの健康を保つ	A こころの健康に関する情報提供や知識の普及啓発	44
			B こころの悩みや不調を抱える人が気軽に相談・受診できる体制整備	45
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携したこころの健康づくりに関する取り組みの推進	48
IV	たばこ	未成年者や妊婦の喫煙を防止するとともに、喫煙による健康影響について正しい知識をもって、禁煙（受動喫煙の防止）をめざしている	A たばこの害に関する情報提供や知識の普及啓発	51
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した子どもの防煙と受動喫煙防止への取り組みの推進	
V	アルコール等	飲酒や薬物による健康への影響について正しい知識をもち、過度の飲酒、薬物乱用をしない	A 酒害と節度ある適度な飲酒及び薬物乱用に関する情報提供と知識の普及啓発	52
			B 酒害等に関する相談体制の整備	
			C 保育所（園）・学校園・家庭・地域などと連携した酒害等に関する取り組みの推進	
VI	歯や口の健康	歯や口の健康に関する知識をもち、適切な口腔ケアを実践し、定期的に歯科検診を受けている	A 歯や口の健康づくりに関する情報提供と知識の普及啓発	52
			B 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した歯や口の健康づくりへの取り組みの推進	
VII	健康管理	自分の体や健康状態を把握し、適切な健康管理ができることで、生涯を通じいきいきとした生活をおくる	A 健康に関する情報提供と知識の普及啓発	53
			B 健康診査・事後指導に関する情報提供と受診勧奨及び健診体制の整備	59
			C 妊娠期の健康と安全な出産への支援	60
			D 子どもの健やかな育ちへの支援	60
			E 感染症についての情報提供と予防接種の普及啓発	67
			F 保育所（園）・学校園・家庭・地域などが連携した健康づくり等に関する取り組みの推進	68
VIII	子育て・子育て	親子が直面する様々な悩みについて、身近で相談や必要な支援を受けることができ、安心して子育て（子育て）ができる	A 育児上の問題発生の予防・支援体制の充実	73
			B 虐待の予防と早期発見・早期援助のための体制の充実	74
			C 親自身の悩みを受け止める場や専門的な相談機関の情報提供と相談の場の充実	75

平成25年度 健康づくり関連事業一覧

I. 栄養・食生活

【方向性】	拡充：さらに積極的に取り組む予定	完了：単年度事業、期間満了とな
	継続：同様に取り組む予定	った取り組み
	縮小：規模などを縮小して取り組む予定	廃止：終了する取り組み

【対象世代】	幼：幼年期（0～5歳）	壮：壮年期（25～39歳）
	少：少年期（6～14歳）	中：中年期（40～64歳）
	青：青年期（15～24歳）	高：高年期（65歳～）

ページ30

I. 栄養・食生活

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
1 暮らしのノート事業	暮らしセンター 消費生活課	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「暮らしのノート」を作成し、学校現場で活用してもらい、消費者教育を推進しています。 小学生用には豊中市食育推進計画等を掲載し、健康な食生活について啓発しています。	消費者教育資料集(技術・家庭科副読本)「暮らしのノート」を作成(小学校4,100冊、中学校4,300冊)しました。	学校現場で活用し、消費者教育の推進、食生活と健康づくりについて情報提供をすることができました。	継続			●						I-A	
2 消費者活動支援業務	暮らしセンター 消費生活課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業(リユースバザー・くらしかん祭り・講座等)を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ11団体ありました。	登録グループ活動のうち、ひろば事業での食に関する講座を行い食生活や健康への啓発を行うことができました。	継続				●	●	●	●		I-A	
3 生活情報ひろば事業	暮らしセンター 消費生活課	(とよなか消費者協会に委託) くらしかん1Fの「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。 食に関するパネル展示や講座を実施し、健康な食生活を啓発しています。	ひろば事業(うち食に関するもの) パネル展:4回 地産地消:12回 講座:26回	食に関するパネル展示や講座を実施し、食生活や健康への啓発をすることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	
4 生活関連物資課題調査	暮らしセンター 消費生活課	(とよなか消費者協会に委託) 食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め市場調査を行っています。 食料品等を含む生活関連物資課題調査の結果を市民へ情報提供することは、適切な商品選択に資することから、健康づくりのための商品選択の一助となっています。	食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め調査を行いました。 調査内容:みその品質表示などの調査、量目調査	調査結果を配信し、食に関する情報を提供し、健康への推進を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	
5 消費者啓発講座・セミナー	暮らしセンター 消費生活課	①消費生活セミナー:消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事:消費者月間の5月に内閣府の統一テーマに沿って行う啓発事業として食に関する講座を開催しています。 ③学校における啓発講座: 食品表示や食に関する講座を実施し、健康な食生活の啓発をしています。	①消費生活セミナー:2回(うち食に関するもの0回) ②消費者月間行事:1回(うち食に関するもの0回) ③学校における啓発事業:85回 3,191人(うち食育関係:34回、1,025人)	学校での啓発事業では、食品表示や食に関する講座を実施し、食生活と健康づくりの啓発を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-A	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
6 とよなか食育プラス ワン	保健所 保健企画課	第2期食育推進計画を市民の方に実践していただけるよう、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めて食育プラスワンシートを作成・配布しています。	【プラスワンシート】 ○食育プラスワンシート…大本になるシート。「基礎編」と呼んでいます。 ○防災用シート…備蓄品一覧などを掲載。調査粗品(防災グッズ)に同封して配布したほか、感染症の流行時にも使用できるように内容を工夫しました。 ○3～5歳のこどもの歯の健康に関するシート…保育施設を通じて各家庭に配布。また保育施設職員向けの研修等でも配布しました。(協力:保健予防課、私幼連、民保連、市歯科医師会) 【他部局・団体等のチラシの裏に印刷】 ○サプリメントについてのQ&A ちらしの裏(協力:市薬剤師会) ○幼児のための手洗いリーフレットの裏(協力:市薬剤師会) ○農業祭のチラシの裏(協力:農業委員会事務局) ※プラスワンシートには大根のレシピも掲載	シートの内容について他の部局と検討したり、食育や健康づくりに関するシートをチラシの裏に印刷させていただくことで、複数の部署や関連団体と協働して食育事業を実施する環境の整備につながっているほか、関心の薄かった層にも食育という単語を知っていただく機会になっていると感じています。食育を実践していただくためのツールとして、今後も広く活用していきます。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	I-A	I-C
7 食の育みフォーラム	保健所 保健企画課	食育推進計画の周知のため、市民に身近なテーマでフォーラムを開催しています。	「はじめよう健康づくり・進めよう食育」と題して、7月25日(木)～31日(水)に市役所第2庁舎市民ロビーでパネル展・体験コーナー・ミニ講座を実施しました。体験コーナーでは、防災用品の展示や、食育クイズによる食習慣のチェックを実施したほか、ミニ講座では、SATシステムを使用し、献立の選び方や第2期食育推進計画について啓発しました。	SATシステムを用いた献立選びの体験は、食品を選んだ結果がシートに印刷できることもあり大変好評でした。	継続				●			●	I-A	
8 食品衛生事業	保健所 衛生管理課	市民に対し、食品衛生に関する知識を広め、食中毒予防に取組むなど、安全な食生活の確保を図ります。	市民に対し、食中毒予防や異物混入防止に関する講習会を20回開催し、1,059名が受講した。また、食中毒予防街頭キャンペーン等のイベントを実施し、広く食品衛生に関する知識の普及を図りました。	講習会の受講者らは、概ね熱心に受講しており、食品衛生に関する知識の普及としては有効であったと考えられる。今後も継続していくにあたり、講習会の周知方法や会場の確保が課題です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	
9 食育関連事業	保健所 保健予防課	豊中市食育推進計画の実現に向け、食育講座、歯や口の健康づくり、食育スタディーなどの事業を実施します。	食育スタディー 1回 69人 食育講座 31回 289人 幼児の食育を支える歯や口の健康づくりの取り組み(啓発ポスター・啓発リーフレット・指導者用資料作成。研修会の開催。)	あらゆる世代にアプローチすることにより、健康づくりの基礎である食についての知識の普及等ができたと考えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-A	VI-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
10 消費生活情報の広報	くらしセンター 消費生活課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。食品表示や食に関する記事を掲載し、健康な食生活の啓発をしています。	A4判 8頁 3,000部/回 発行 点字版 B5判 11部/回 発行 各年4回	食品表示や食に関する記事を掲載し、食生活や健康づくりへの情報提供を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
11 くらしかん祭り	くらしセンター 消費生活課	①消費者問題等に取り組むくらしかん登録グループの実践活動の発表の場としてくらしかん祭りを実施しており、グループ間交流や市民との情報交流を図っています。 ②平成10年度からくらしかん登録グループとともに実行委員会体制で企画運営をしています。食や栄養に関するブースを設置し、健康な食生活の啓発をしています。	協力団体 22団体(くらしかん登録グループを除く) 参加者数:973人	食に関するブースを設け、健康づくりを推進することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
12 啓発事業	くらしセンター 消費生活課	JAS法の遵守を確保するために市内事業者を対象に指導点検等による品質表示制度の普及・啓発等を行います。	・事業者への巡回点検等を行い、啓発を実施しました。 ・くらしかん祭りでは「みそ」の品質表示をパネル展示しました。	食品表示の大切さを市民に普及啓発することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
13 地域産業の活性化	くらしセンター 地域経済課	地域社会を支えてきた産業のさらなる振興を図るとともに、大阪国際空港や道路などの交通利便性の高さ、大学の立地といった地域特性を活かして新たな産業の立地を進めます。	とよなか産業フェアにおいて、保健所・保健企画課から食育推進ブースを出展し、食育推進計画や「うちのお店も健康づくり応援団の店」などをPRしました。また、経営レポートにおいて、「うちのお店も健康づくり応援団の店」や、ヘルシーメニューコンテストを周知しました。	市内産業をPRする場やツールを活かし、市内事業者による健康づくりの取り組みを紹介する機会を設けることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	I-A
14 新産業・起業の促進	くらしセンター 地域経済課	事業者間の出会いの場づくりやPRの場づくりを通じて、新たなビジネスの創出に取り組む企業を支援することにより、市内産業の活力向上を図ります。 また、さまざまな分野で創業・起業をめざす人材や第二創業に取り組む市内事業所を支援し、市内産業の新たな担い手の育成を図ります。	中小企業チャレンジ促進プランにもとづき、中小企業チャレンジ支援事業やとよなか起業・チャレンジセンター事業など自立と発展をめざす企業を支援する事業を展開しました。	さまざまな企業が新たなビジネスにチャレンジできるよう、幅広い支援を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
15 在宅給食サービス 事業	いきいきセンター 障害福祉課	単身障害者または障害者のみの世帯に対し、安否確認のため居宅を訪問し、食事を手渡します。栄養バランスのとれた食事を定期的に提供することで健康維持にもつながります。	利用者数：延べ 607 人 配食数：延べ 13,694 食	食事作りが困難な在宅の障害者に対して栄養バランスの取れた食事を定期的に提供し、健康維持や疾病予防を図るとともに配食時に安否確認を実施し、地域で安心して暮らせるよう食の自立を支援しました。	継続	●			●	●	●			I-B	
16 市立障害児者施設 給食関係業務	いきいきセンター 障害福祉課	市立2園(生活介護事業所みのり園、生活介護事業所たちばな園)の給食献立作成、材料発注、給食検討会議、施設管理を行います。食事の介助や食事形態の工夫等が必要なそれぞれの利用者に対して、安全で満足できる食事の機会を提供します。	延べ提供人数 13,322 人	一人暮らし、食事の介助が必要等、様々な事情を抱える利用者に対し、仲間と楽しく、季節感のある食事を安全に提供することができました。	継続				● 18 歳 以上	●	●			I-B	I-A I-C
17 在宅給食サービス 事業	いきいきセンター 高齢者支援課	食事づくりが困難な高齢者に栄養バランスのとれた食事を定期的に配達することにより、介護予防及び要介護状態重度化の予防を図るとともに、安否確認を実施し、高齢者が地域で安心して暮らせるように食の自立支援を図ります。	年度末利用者数：609 人 配食数 109,731 食	バランスのとれた食事提供と安否確認を行うことで、独居高齢者等が在宅生活を継続できるよう支援しました。	継続							●		I-B	
18 ホームページ 「栄養・食生活」	保健所 保健企画課	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、生活習慣病予防のためのメニューの提供、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	従来のページに加えて、25年度からは「とよなかの自慢料理」ページを立ち上げ、市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設で提供されている給食の中から、各施設のおすすめメニューをお知らせしています。また、給食を作っている人の思いや様子もお伝えしています。	「とよなかの自慢料理」はFacebookでも紹介されているなど、広く情報提供ができています。今後も積極的に活用していきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-B	
19 食育推進のための 安全安心ハンドブックⅡの発行	保健所 保健企画課	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店するとき、調理実習をする時などに活用できます。衛生管理課と合同で作成しました。	庁内関係各課を中心に、市民の方にも配布しました。	食中毒予防及び継続的な食育活動に向けて、今後も必要に応じて配布します。	継続	●	●	●	●	●	●	●		I-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
20 特定給食講演会	保健所 保健企画課	大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ(管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者)や、大阪府栄養士会会員等約1000名を対象に、年2回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。 主催:大阪府・大阪市・堺市・豊中市・高槻市・東大阪市・大阪府立大学 21世紀化学研究機構「公衆栄養実践研究センター」・大阪府栄養士会会場:大阪府立大学 学術情報センターUホール白鷺(大ホール)	◆特定給食講演会Ⅰ平成26年2月17日(月)開催。豊中市からは28施設30名が参加しました。講演「がん患者の栄養管理」(大阪府立成人病センター 濱医師)・事例発表「最期まで口に出来る食事(終末期におけるスープ食提供の取り組みについて)」(刀根山病院 竹内管理栄養士)「リクエスト食の取り組みについて」(淀川キリスト教病院 大谷栄養管理課長) ◆特定給食講演会Ⅱ平成25年10月22日(火)開催。豊中市からは16施設19人が参加しました。テーマ:「身体データに合わせた栄養管理“肥満とやせから見えるもの”」・1部 事例発表「事業所におけるヘルシーメニュー提供の取組」(阪急電鉄株式会社)「事業所給食を活用した健康づくりの取組」(芦森工業(株)大阪工場)「保育所での咀嚼やアレルギーの取組」(若葉福祉会めだか保育園)・2部 講演「小児期からの肥満とその対策」(大阪府立母子保健総合医療センター 位田主任部長)	特定給食施設における給食は、給食利用者の健康づくりに大きく影響を及ぼすことから、適正な給食の提供と栄養管理が行えるよう給食担当者の資質の向上等を図ることは重要と考えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
21 特定給食施設研修会	保健所 保健企画課	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ(施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等)を対象に、年2回研修会を実施しています。	◆食中毒予防に関する講演…給食の安全な提供とそれによる食育の推進を目的として、平成25年5月31日(金)に実施しました。 ①講演「食中毒予防 ～異物混入の事例を通して～」(市保健所衛生管理課 食品衛生グループ 食品衛生監視員) ②第2期食育推進計画、「とよなか食育プラスワン」の周知 保育所・老健・特養を中心に、91施設103名の参加がありました。 ◆災害時の食に関する講演 テーマ「地震!あなたはその時、無事でいられますか?」…災害時でも施設での給食サービスが維持できるよう、非常食の備蓄等だけでなく職員やその家族の安全確保ができるための意識を身につけることを目的とし、平成26年3月3日(月)に実施しました。 ①講演「災害時に職責が果たせるか…」(危機管理室 下村室長) ②配布物…地震に備えた防災メモ / とよなか食育プラスワンシート(防災編) / 特定給食施設等レシピ紹介コーナー(とよなか自慢料理) / 手洗いコーナー掲示用のリーフレット 76施設96人の参加がありました。	食品衛生担当部局や危機管理部局と連携することで、「健康危機管理から考える食育」という、新たな視点から食育を考えるきっかけとなりました。参加者アンケートでは、よくわかった・早速やってみようと思った、という意見が多く見られたことから、参加者にとっても満足度の高い研修会になったのではないかと思います。今後も各部局と連携しつつ、様々な情報を広く発信します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
22 栄養表示基準に関する指導等	保健所 保健企画課	栄養に関する表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	特別用途食品の許可申請にかかる相談及び申請関係事務 3件 栄養表示基準等に関する相談・指導・助言 8件 虚偽誇大広告等に関する相談・指導 1件	わかりやすく正確な栄養表示などを行うことで市民の健康づくりを推進します。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
23 「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及啓発	保健所 保健企画課	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施を推進しています。	広報とよやかに「うちのお店も健康づくり応援団の店」のコラムを掲載することなどにより普及を呼びかけました。	市保健所の設置により、これまでより広く市内の飲食店に啓発を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-B	
24 給食(児童発達支援センター)	保育幼稚園室	子どもたちがおいしく安全に、楽しく食事をすることで心身両面の発育を促します。子どもの摂食機能にあった給食を提供します。	ミキサー食、クッカー食、軟食、普通食の4種類の形態で給食を提供しています。どの形態でも素材の味を生かしておいしく安全に調理しています。保護者にも調理の工夫について伝えています。	口からの摂食が難しい子どももいますが、食育につながる取り組みができたと思います。	継続		●						I-B	
25 小学生メニューコンテスト	保健所 保健企画課 教育推進室	保健企画課と教育推進室が共催で、小学5・6年生からメニューを募集してコンテストを行い、入賞作品メニューを市の小学校給食献立のメニューとして活用しています。	夏休みに実施。3,087人から「栄養バランスがよい」「おいしい」「作りやすい」などの工夫がされたメニューの応募がありました。(入賞6人、入選6人)	夏休みに実施するため、多くの応募があります。 また、入賞作品の学校給食採用、給食だより等での紹介により、学校関係者・保護者に認知されるようになってきており、学校、家庭における食育の推進が可能と考えています。	継続			●					I-C	
26 中学校夜間学級補食提供事業	学校給食室	中学校夜間学級生の補食給食(パンと牛乳)を実施しています。	平均21人の生徒に対し、191回の補食給食を実施しました。	中学過程の修得をめざす中学校夜間学級の生徒の健康保持に努めました。	継続					●	●	●	I-C	
27 小学校給食運営	学校給食室	市内の小学校に学校給食を提供します。	約21,000人の児童に189日給食を実施しました。	給食の提供を通じて、児童に適切な栄養の摂取による健康の保持増進に努めました。	継続			●					I-C	
28 食育推進	教育推進室	望ましい食習慣を身につけるとともに、学校と家庭が連携し食育を推進するため、体験型料理教室を開催します。	「わくわく食育プロジェクト事業」として、幼稚園2園、小学校6校、中学校3校において、専門家講師による親子料理教室や、お弁当作り教室を実施しました。	体験型料理教室により、食材の栄養や調理方法等、食に関する多くの内容を学べ、身近な食育の推進につなげることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	I-C	

II.運動・身体活動

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中			高		
29	ステップアップ教室	いきいきセンター 高齢者支援課	市内の老人福祉センター4会場で、いきいき元気運動教室の修了生を対象にした運動教室を開催します。	実施回数:96回、延参加人数:920人	教室参加中からステップアップ教室の案内をすることで、教室終了後も運動習慣を続ける機会となっています。また、ステップアップ教室終了者の同好会も発足しました。	継続							●	II-A		
30	介護予防体操	いきいきセンター 高齢者支援課	老人福祉センター、老人憩の家等で月2回、1時間程度介護予防体操を行います。	実施回数:317回、延参加人数:7,324人	1か所会場が変更になり、新規参加者が増えました。また、2次予防通所型介護予防教室やステップアップ教室からの参加者も増え、2次予防、1次予防のつながりができてきました。	継続								●	II-A	
31	あたまとからだの体操講座	保健所 地域保健課	活動的に元気に生活ができることを目的とする介護予防の動機づけの場として、運動及び認知機能低下予防に着目して実施しています。	一期6回の講座を五期実施しました。参加実人数64人、参加延人数339人でした。	参加人数前年度より減少しました。(前年度実人員82名)広報誌のみではなく他の手段も検討の必要があります。集団での講座ですが、保健センターの機能を取り入れた個別の対応が出来ました。	継続							●	●	II-A	III-A VI-A
32	介護予防サポーター養成講座	保健所 地域保健課	介護予防体操である「豊中ローズ元気up体操」を広めるべく、介護予防及び体操を理解し、教示していただける方を養成しています。	年一回5回シリーズにて実施。参加実人数13人、参加延人数63人	養成講座修了者の活動の場として、イベント等の補助として参加。また地域での集まりに参加活動しているケースも出てきています。	継続							●	●	II-A	II-B
33	健康教育	保健所 地域保健課	健康に関する各種テーマについて専門職が講演をしています。	実回数105回(内運動器の機能向上に関するもの76回)、参加人数2,242人(内運動器の機能向上に関するもの1,521人)	地域へ介護予防全般から運動、栄養、口腔、閉じこもり、うつ、認知機能について各種専門職による講話や実技などを取り入れた教育を実施できました。	継続							●	●	II-A	I-A III-A VI-A VII-A
34	とよなか百万歩ウォーク	保健所 地域保健課	楽しく歩く習慣を身につけ、生活習慣病予防に役立てていただくため、参加登録から1年以内に百万歩を達成した人に、認定書と記念品を贈呈しています。	登録者数517人 新規登録136人、 (達成者381人)	登録者数が前年度より増加しました。(前年度登録者数151人)	継続							●	●	II-A	II-C IV-A
35	研究・研修	教育推進室	保健、体育における研究・研修の実施を通して、学校園の保健環境や授業力の向上を図るとともに、学校園での保健、体育、環境の調査統計を行い、健康の保持増進を図ります。	教職員を対象に、水泳・なわとび・柔道・体づくり・フラッグフットボール等多様な運動領域の実技研修を実施しました。	正しい知識理解の習得や授業力の向上につながり、今後の日々の授業に生かすことができました。	継続		●	●	●	●				II-A	
36	障害者青年教室	地域教育振興室	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。教室の科目に体育、エアロビクス、リズム体操、体操があります。	障害のある青年に対し、音楽・体育・調理・リズム体操・生花・茶道・陶芸等の学習機会を提供します。教室の科目に体育、エアロビクス、リズム体操、体操があります。	障害のある青年の文化教養の向上と生活に必要な知識、技術の習得に貢献しました。	継続			●	●					II-A	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
37	女性のこころとからだ健康関連の講座	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	からだを動かすことでエンパワーと自己解放をめざします。	①はじめてのフラメンコエクササイズ:参加16人 ②音楽と遊ぼう親子リトミック:参加19組	①健康と個性を引き出す自己表現のための講座として実施できました。 ②育児期の閉塞感や孤立感を解消する場として機能しました。	継続				●	●	●	●	II-B	II-A
38	保健福祉事業	人権政策室 蛍池人権まちづくりセンター	人権意識の高揚と差別や偏見のない人権尊重のまちづくりをめざすとともに、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るとともに、介護予防に努めています。	事業実施回数93回 参加人数1,113人 健康生きがい教室、金曜サロン他の開催	事業を通して、高齢者の生きがいと健康づくりの推進と人権意識の高揚を図りました。	継続						●	●	II-B	
39	保健福祉事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	高齢者等の「介護予防事業」や「ふれあい交流事業」を柱に、地域住民・市民の生きがいのある生活と健康づくりの推進を図っています。	高齢者ふれあい介護予防事業「ほっとス」実施回数47回 延参加人数845人 高齢者ふれあい「会食会」実施回数21回 延参加人数870人 高齢者ふれあい「健康・趣味講座」実施回数5回 延参加人数88人 外出支援事業「トークマインド」実施回数10回 延参加人数171人	新規参加者の働きかけを行うとともに、福祉施設のケアマネジャーやヘルパーからの紹介で参加する高齢者の参加も見込めます。高齢者の福祉及び健康の増進のため、今後ますます必要性が増すと考えています。今後も継続して取り組んでいきます。	継続						●	●	II-B	
40	路上喫煙対策事業	環境センター 美化推進課	周りの人に迷惑となる路上喫煙を防止し、安全・快適な生活環境の確保を推進します。	3/20千里中央駅周辺路上喫煙禁止区域の新指定を行います。 豊中駅・千里中央駅における巡回指導の実施。広報誌、ホームページに掲載し、快適な生活環境づくりを推進します。	禁止区域において、巡回指導等を実施することにより、喫煙者のマナーが向上し、路上での喫煙率が減少、また、ポイ捨ても減少傾向にあります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
41	安全安心対策事業	公園みどり推進課	公園施設のバリアフリー化及び改築・更新を行います。	6公園においてバリアフリーに配慮して、トイレの置換えや段差解消、水飲みの置換えを行うとともに遊具更新も行いました。	誰もが公園を安全に安心して利用できる施設となるよう、バリアフリー化を計画的に進めています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
42	公園施設長寿命化計画策定業務	公園みどり推進課	公園の計画的な改修計画を策定します。	424箇所の公園施設(遊具のみ)長寿命化計画を策定しました。	今後、公園施設長寿命化計画に基づいて維持管理することで、施設の効果的な運営が可能となるため、身近で安全に健康づくりを行える場所が確保されます。	完了	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
43	公園整備・小改良事業	公園みどり推進課	公園施設の小規模な改良を行います。	11箇所の公園の工事を行いました。	公園施設の修繕を行うことで、安全な身体活動の場所を維持しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
44	公園維持管理事業	公園みどり推進課	公園樹木の剪定など公園の維持管理に関する事業を実施します。	公園の除草(約2回/年)、清掃(1回/週)等や公園施設の修繕を行いました。	植栽や施設の維持管理を行うことで、癒しや憩いの空間を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
45	開発許可制度	公園みどり推進課	開発事業者からの帰属公園となりますが、協議によっては、健康遊具の設置も考えられます。	開発許可制度によって、2箇所の公園が設置されました。	公園が設置されることで、身近な身体活動の場所が確保されました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
46	みどりの基本計画 施策推進事業	公園みどり推進課	既存みどりの保全と育成、都市みどりづくり、地域のみどりづくり、市民参加に基づくみどりのまちづくりを行います。 市民協働での草花の育成作業及び人との交流が健康づくりにつながります。	市民協働での緑化活動の取組として、みどりのフォーラムの開催、みどりのつどいを2回開催、豊中みどりの交流会を71回開催しました。 (参加者計683人)	参加者が、前年より減少しているが、継続した取り組みにより、市民の緑化活動への参画を図りました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
47	緑化推進事業	公園みどり推進課	公共施設の緑化事業、自治会・事業者等が取り組む緑化活動への支援などを行います。 樹木の育成作業が健康づくりにつながります。	市民協同緑化樹の配付(6,249本)、生垣緑化(2件・13m・46本)の助成金の交付を行いました。	市民協同緑化樹の配付本数が増加しており、市民協働の緑化を推進しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
48	花いっぱい運動事業	公園みどり推進課	花壇、フラワーポット、バラ園の管理及びイベント等における種子・球根の配付による緑化の啓発を行います。 草花観賞や育成作業を通して、憩いや安らぎを提供します。	花壇、フラワーポット、バラ園の管理を行うとともに、農業祭等における種子・球根の配付(1798袋・1600球)、花いっぱい運動写真展を開催しました。	猛暑の影響から、花いっぱい運動写真展の応募数は減少しましたが、引き続き取組を行い、緑化(草花)に対する意識の向上を図っていきます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
49	花とみどりの相談 所主催事業	公園みどり推進課	花とみどりの相談業務や講習会、緑化リーダーの養成講座、豊中緑化リーダー会への活動支援を行います。 草花鑑賞や人との交流が健康づくりにつながります。	花とみどりの相談件数:932人、1,192件 花とみどりの講習会:70回、1,215人、養成講座:36回、588人	リーダー会との協働での活動や講習会・養成講座を開催し、みどりの啓発を行い、市民に潤いと安らぎを提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
50	協働事業提案	公園みどり推進課	協働事業提案制度に基づき公園の維持管理を協働で行っており、四季折々の花の咲く花壇など、きめの細やかな管理を行っており、ウォーキングのイベント施設(見どころ)としては利用できる可能性があります。	ふれあい緑地フェスティバル(来場者2,000人)、秋のフェスタ等を開催しました。	イベントを開催することにより、余暇を楽しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
51	バードーム管理 事業	公園みどり推進課	建物の中に入り、セキセイインコなどの小鳥と触れ合える施設です。ウォーキングのイベント施設(見どころ)としては利用できる可能性があります。	来場者数:10,392人	気軽に小鳥とふれあう空間を保つことで、癒しの空間を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
52	市民農園	くらしセンター 地域経済課	市民が土に親しみ余暇を楽しむ場を提供します。土に触れ花や野菜を育てることでこころの健康につながります。	30農園、1,228区画	近隣とのトラブル等が増加していますが、市民が余暇を楽しむ場として定着し市民には好評です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
53	レクリエーション講 習会	いきいきセンター 高齢者支援課	レクリエーションを体験し、介護予防の促進を図ります。	実施回数:5回、延参加人数:89人	レクリエーションの考え方を広めることにより、地域の自主的な介護予防活動を支援・育成する目的で実施しました。	完了							●	II-B	
54	レクリエーション大 会	いきいきセンター 高齢者支援課	体操・ゲーム等のレクリエーションを行い、介護予防活動の機会として活用を図ります。	実施回数1回、参加人数:455人	市老連との共催で実施しました。大会に参加し身体を動かすことで、介護予防活動のよい機会となりました。	継続							●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野				
						妊	幼	少	青	壮	中			高			
55 老人福祉センター 主催事業	いきいきセンター 高齢者支援課	趣味教室を卒業した人の同好会等に交流の場を提供し、利用者の交流・生きがいづくりを支援します。利用者の健康管理のため、医師による健康相談を実施します。 千里、原田、庄内、柴原の4センターで実施しています。	千里…登録団体数 19、利用者数延 15,868 人、健康相談 実施回数 49 回、受診者延 442 人 原田…登録団体数 59、延 12,617 人、健康相談 実施回数 49 回、受診者延 333 人 庄内…登録団体数 12、延 4,434 人、健康相談 実施回数 48 回、受診者延 399 人 柴原…登録団体数 16、延 4,371 人、健康相談 実施回数 46 回、受診者延 72 人	高齢者に交流の場を提供し、生きがいづくりと介護予防・健康維持に寄与しました。	継続							●	●	II-B	VII-A		
56 大会開催事業	いきいきセンター 高齢者支援課	ゲートボール大会・囲碁大会・将棋大会・謡曲大会を開催します。	ゲートボール大会は、雨天により中止。囲碁 149 名。将棋 96 名。謡局 111 名。	日頃の練習の成果を発揮する場として大変有効な場となっています。	継続								●	●	II-B		
57 ふれあい入浴	いきいきセンター 高齢者支援課	市内在住の 65 歳以上の高齢者を対象に毎月 15 日に 100 円で公衆浴場に入浴できる「ふれあい入浴券」を発行します。	入浴者数:24,814 人	地域の交流の場として喜ばれています。	継続									●	II-B		
58 老人福祉センター 主催事業(趣味教室)	いきいきセンター 高齢者支援課	教室講座(お茶、お花、新舞踊、謡曲、パソコンなど)を開設し、健康の維持管理や教養の向上等交流の場を提供します。 千里、原田、庄内、柴原の4センターで実施しています。	千里…教室数 :9 教室、受講者数:延 1,324 人 原田…教室数 :14 教室、受講者数:延 1,956 人 庄内…教室数 :5 教室、受講者数:延 685 人 柴原…教室数 :6 教室、受講者数:延 357 人	趣味教室を通じて、高齢者の生きがいづくりと教養の向上、介護予防・健康維持に寄与しました。	継続								●	●	II-B		
59 老人クラブ支援業務	いきいきセンター 高齢者支援課	豊中市老人クラブ連合会を支援する観点から、単位クラブや同連合会への補助事業などを行います。	168 単位クラブ 7,737,890 円。老人クラブ連合会 3,308,980 円	市補助金を活用した多様な活動が行われています。	継続									●	●	II-B	VI-B
60 老人憩の家施設 管理	いきいきセンター 高齢者支援課	指定を受けた老人憩の家(豊中市立老人憩の家以外)の運営にかかる費用を補助します。一老人憩の家あたり、6,000 円/月(年間 72,000 円)	23 老人憩の家に 1,656,000 (72,000 円×23 施設) 円の補助金を交付しました。	趣味の教室や同好会の開催など、地域高齢者の交流により健康づくりが図られています。	継続									●	●	II-B	
61 老人憩の家施設 運営	いきいきセンター 高齢者支援課	受付業務、貸室業務を行います。	10 の老人憩の家において、部屋の貸付を行い、延べ 147,159 人の利用がありました。	施設運営については、憩の家の役員により自主的に運営されています。	継続									●	●	II-B	
62 老人憩の家施設 管理	いきいきセンター 高齢者支援課	豊中市立老人憩の家施設の維持管理業務を行います。	施設の屋根修繕を行いました。	老朽化している施設があることから修繕料が必要です。	継続									●	●	II-B	
63 社会奉仕活動報 償事務	いきいきセンター 高齢者支援課	美化活動、雑巾づくり、友愛訪問の三種の活動に対して助成します。	4 月～6 月…98 団体 7 月～9 月…94 団体 10 月～12 月…93 団体 1 月～3 月…86 団体	社会奉仕活動の登録団体数は、増加傾向にあります。	継続									●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
64	なごやか教室	いきいきセンター 高齢者支援課	囲碁、謡曲の講座を月4回程度開催します。	講座数：囲碁 47回 謡曲 29回 修了者：囲碁 8名 謡曲 3名	高齢者の生きがいを高めることを目的に実施してきましたが、講座数・参加者数の減少により、平成25年度末で廃止となりました。	廃止							●	●	II-B	
65	老人文化祭事業	いきいきセンター 高齢者支援課	市内高齢者より作品を募集し、2日間にわたり文化作品を会場に展示し、文芸作品は作品目録に掲載し配布します。(豊中市老人クラブ連合会との共催)。	入場者 621人、697展の出品がありました。	日常の創作活動の発表の場として定着しています。	継続							●	●	II-B	
66	保健事業(保健衛生普及費)	保険窓口センター 保険給付課	被保険者に医療費をお知らせする医療費通知や、被保険者の健康増進を図るためのプールなどの公的体育施設の利用料を補助する、はつらつ健康事業等を行います。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業です。	はつらつチケット発行対象者数：1,986人 医療費通知：年4回 計 257,331通 ジェネリック希望カード：保険証更新時全世帯配布	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援し、スポーツ施設の利用促進により、被保険者の健康増進に寄与していると考えられます。	継続			●	●	●	●	●	●	II-B	
67	豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針による行政指導	千里ニュータウン 再生推進課	住宅の新築や建替えに際し、豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針に基づく行政指導を行い、千里ニュータウンの良好な住環境の継承を図ります。基本方針でプレイロット(コミュニティスペース)の確保を指導しています。	中高層住宅地域等において、基本方針によるプレイロットの確保を4件の申請物件に対して指導を行い、世代を問わず自由に体を動かすことのできるスペースの確保を行いました。	千里ニュータウンの良好な住環境を確保する一環として、プレイロットが設置されることにより、住民の健康づくりにも寄与しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
68	歩道改良整備	道路センター 道路建設課	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、市内の主要な道路において計画的、効率的に歩道改良整備を実施します。	「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、4路線を整備。	歩道の幅員、段差、勾配を線的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
68	住居地区バリアフリー整備	道路センター 道路建設課	生活道路等のバリアフリー整備を計画的かつ効果的に実施するため、地区単位で市民意見を反映しながら計画、設計、工事を順次進めます。5～6小学校区程度の単位で地区を設定し平成32年度までに全ての地区を完了させます。	「北丘・東丘・西丘・南丘・新田・新田南小学校区住居地区バリアフリー事業計画」に基づき整備を実施。	歩道の段差、勾配を面的に整備することにより、通行しやすい歩行空間を整備しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
70	穂積菰江線	道路センター 道路建設課	都市計画道路神崎刀根山線から府道西宮豊中線までの区間で新設及び拡幅による街路整備を行い、都市機能の向上を図る。平成30年の事業完了を目標としています。	用地買収に向け意向調査を実施。	道路整備に向けて計画通り進捗しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
71	神崎刀根山線	道路センター 道路建設課	府道大阪池田線から市道三国第7号線までの区間の拡幅整備を行い、都市交通の混雑緩和を図ります。	現在整備中で、平成27年7月末完成予定。	完成に向けて、整備を進めました。	完了	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
72	神崎刀根山線(旭ヶ丘橋)	道路センター 道路建設課	通学児童の安全・安心及び高齢者や障害者に配慮したバリアフリー歩行空間の形成のため、現旭ヶ丘橋の北側に3mの歩道橋、南側に1.5mの張出し歩道を設置します。	左記の内容を整備。	歩道を新設し、通行しやすい歩行空間を整備しました。	完了	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
73 桜の町第11号線	道路センター 道路建設課	広域避難所にもなっている近隣小学校へのアクセス向上並びに歩行者の安全性向上のため歩道を設置し、生活環境向上のため道路を新設します。	左記の内容を整備。	歩道を新設し、通行しやすい歩行空間を整備しました。	完了	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
74 スポーツ団体の支援と指導者の育成・確保	スポーツ振興課	スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	スポーツ推進委員研修会・研究会、種目別指導者・審判講習会、スポーツ指導者育成講習会、スポーツ団体へ運営補助金を交付します。	スポーツ団体を支援し、また指導者を育成・確保することにより、市民が幅広く生涯スポーツにふれる機会が確保できました。	継続				●	●	●	●	●	●	II-B	
75 スポーツ施設の整備	スポーツ振興課	老朽化した施設の総合的な整備計画・新規に開設する施設の整備を行います。	各種整備を行いました。	各種整備を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
76 生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民大会・後援事業の支援・豊能地域生涯スポーツ推進事業などを通して生涯スポーツの振興を図ります。	年間を通じて、市民大会講習会、軽スポーツ教室、ニュースポーツデー、豊能地域生涯スポーツ事業等の各種事業を実施しました。	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
77 地域スポーツの振興	スポーツ振興課	小学校区スポーツ振興会・総合型スポーツクラブの支援など、地域における生涯スポーツの振興を図ります。	軽スポーツ教室を実施。 実施回数 23回	地域で催しを開催することにより、市民に気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
78 大阪府総合体育大会派遣事業	スポーツ振興課	大阪府総合体育大会に豊中市の代表選手を派遣することで生涯スポーツの振興に寄与します。	府総合体育大会に選手を派遣しました。	競技者の目標設定ができ、充実したスポーツ活動となった。また、市民のスポーツ振興につながりました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	II-B	
79 国内・国際スポーツ大会の参加奨励事業	スポーツ振興課	国際・国内スポーツ大会に参加奨励することにより、スポーツの振興を図ります。	大会出場者からの申込みにより報奨金を支給します。	報奨金を支給することにより、遠方で開催される全国大会などに出場しやすくなりました。	継続			●	●	●	●	●	●	●	II-B	
80 スポーツに親しめる環境の整備	スポーツ振興課	学校体育施設の開放、障害児チャレンジスポーツなどを実施することにより、生涯スポーツの振興を図ります。	学校開放事業は通年実施。 障害児チャレンジ事業は年9回実施。	スポーツに親しめる環境が身近にあることにより、スポーツに気軽に親しむことができました。また、勤労者のスポーツ活動の場や、障害児が周囲に気兼ねなくスポーツに親しむできる環境を提供できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	II-C
81 スポーツ施設情報システムの運用	スポーツ振興課	スポーツ施設利用の利便性を図るため、システム(インターネット等)を利用して、利用申込みを行います。	述べ利用人数 1,095,178人	市民のスポーツ施設利用の利便性が向上しました。	継続				●	●	●	●	●	●	II-B	
82 体育施設運営管理	スポーツ振興課	屋内・屋外体育施設、温水プールの運営管理を行います。	個人使用、団体使用、各種教室、イベント等を実施しました。 温水プールでは、個人遊泳、水泳教室、各種イベントを実施しました。	市民にスポーツ活動の場を提供しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野				
						妊	幼	少	青	壮	中	高						
83 体育施設管理	スポーツ振興課	利用者が安心・安全に施設を利用できるよう修繕等ハード面での管理を行います。	庄内温水プール休館後の施設利用方針の検討を行ったほか、天然芝の専用グラウンド開設に向けて各種整備を行いました。	天然芝の専用グラウンド開設に向けた準備を行ったほか、突発的な修繕に便宜対応しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B		
84 大阪国際空港周辺緑地2街区整備事業	スポーツ振興課	市民スポーツの推進のため、ふれあい緑地2街区にサッカー等の専用グラウンドを開設します。	開設に向けて各種整備を行いました。	サッカー等の天然芝の専用グラウンド解説に向け準備ができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
85 ふれあい緑地少年野球場改修事業	スポーツ振興課	ふれあい緑地少年野球場で硬式野球ができるように施設を改修します。	整備工事に必要な設計を実施しました。	改修に必要な設計を実施しました。	継続		●	●									II-B	
86 豊島体育館屋根改修事業	スポーツ振興課	豊島体育館の雨漏りや音響設備を改修します。	雨漏り・音響設備・証明設備の改修工事を実施しました。	雨漏り・音響設備・証明設備の改修工事を実施しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
87 螢池北青少年運動広場施設運営	青少年育成課	占有使用の承認・子ども広場交流会を開催します。	地域協力団体との開催日程調整がつかず未実施となりました。	事業実施10年を経過し、事業のねらいの再共有やより効果的なあり方を検討していくこととなりました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-B	
88 とよなか地域ささえ愛ポイント事業	いきいきセンター 高齢者支援課	高齢者の介護施設などにおける高齢者支援活動に対してポイントを付与することで、参加者の介護予防・地域貢献・社会参加活動を促進します。	ボランティア登録人数:777人 受け入れ先登録数:111施設	介護予防の新たな取り組みとして事業展開するなかで、登録者や受入施設も段階的に増加し、当初のねらいの高齢者の生きがいづくりと介護予防に寄与しました。	継続										●		II-C	
89 幼稚園園庭の芝生化推進事業	保育幼稚園室	幼年期における運動能力の向上、及び園児が自然環境に触れる機会の提供を目的としています。	芝生化した園での芝生の維持管理のため予算を計上しました。	運動会などの行事の際に裸足で実施するなど、幼児期の運動能力の向上や、自然環境にじかにふれあう取組ができたと思います。	継続		●										II-C	
90 研修・会議関係事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	公立・民間保育所は共に研修・研究会(看護師交流会、障害児保育交流会等)を行い、保育内容の充実を図りました。心や体の健康について考え、食物アレルギーや児童虐待等をテーマにした研修も開催しました。	アレルギー対応や虐待の予防や早期発見、心のケアについてを学んだり、各施設の情報・意見等を交流したり、充実したものとなりました。	継続		●		●	●	●						II-C	I-C VII-D VIII-B
91 幼稚園教員研修事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。研修では、食育・運動等をテーマとしたものも開催します。	公私立幼・保育所と共に研修・研究会を行い、保育内容の充実を図りました。心や体の健康について考え、運動等をテーマにした研修も開催しました。	運動遊びについて保育の手立てを学んだり、各施設の情報・意見等を交流したり、充実したものとなりました。	継続		●		●	●	●						II-C	I-C
92 幼稚園教育推進事業	保育幼稚園室	豊中市の保育・教育の内容充実・向上のために研修会を行います。子どもを対象に体づくりにつながるプロジェクトも行っていきます。	外部講師を招いての体育での講座“げんキッズ”を行いました。 公立保育所…19か所3回ずつ、公立幼稚園…7園7回ずつ実施しました。	専門外部講師は、子どもたちにとって刺激的で基礎・基本のところからしっかり知ることができました。保育者にとっても資質向上につながっています。	継続		●		●	●	●						II-C	
93 子育て支援センターほっぺ施設運営	保育幼稚園室	貸室利用に関わる受付事務及び貸室の衛生管理を行います。	年間貸室件数 162件	貸室利用者が心地よく安全に使えるように点検等を行い、衛生管理に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	II-C	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
94 体力向上推進事業	教育推進室	親子スポーツフェスタ・豊中市小学校水泳大会の開催、体力づくり研究推進校への支援、体力づくり推進会議の運営などを行い、児童・生徒の体力向上を図ります。	10月19日服部緑地陸上競技場において親子スポーツフェスタ、8月26日・27日豊中市立豊島温水プール・ニノ切温水プールにおいて豊中市小学校水泳大会を開催しました。からだづくり研究推進校に対して、研究を効果的に推進していけるよう物品の支援及び指導助言を行いました。体力づくり推進会議を年間3回開催し、(仮称)子どもの体力向上プランの策定を進めました。	親子スポーツフェスタ、豊中市小学校水泳大会の実施により、それぞれの種目において子どもたちが自己の目標に向けてチャレンジし、運動に親しむ貴重な機会をつくれ、生涯スポーツにつながる取組となりました。	継続			●					II-C	
95 運動部活動指導協力者派遣事業	教育推進室	中学校の運動部活動に専門的技能と指導性を備えた人材を派遣し、部活動の活性化と充実を図ります。	要請のあった中学校17校に対し、44人の協力を得て延べ2,121回の運動部活動指導協力者派遣を行いました。	専門的な指導を受けることで、運動部活動の活性化・競技力向上につながり、また、生徒のスポーツへの関心意欲を高めることができました。	継続			●					II-C	
96 スポーツ推進審議会	スポーツ振興課	豊中市の社会体育の現状と問題点をふまえ、生涯スポーツを実践できる方策について審議を行います。	審議会を2回開催	スポーツの推進に関する重要事項に関して調査審議しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	II-C	
97 とよなか地域子ども教室	地域教育振興室	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子どもプランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。各子ども教室で様々なスポーツ教室が行われています。	全41の小学校区単位で週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行いました。放課後子どもプランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みました。	子どもの居場所づくりの取り組みの中で、子どもと大人がともに、野球、サッカー、テニス、陸上、ダンス、体操、ドッジボールなどさまざまなスポーツを通して交流を深めました。	継続			●		●	●	●	II-C	
98 地域教育協議会(すこやかネット)	地域教育振興室	市内全中学校区に地域教育協議会を設置し、各校区でフェスタや子育て講演会、学校教育への支援など、学校・家庭・地域のネットワークを深める事業展開を行い、地域教育の活性化を図ります。各校区ごとにフェスタが開催され、その中でスポーツイベントが催されることがあり、地域の大人と交わりながらスポーツを気軽に楽しむことができます。	校区ごとに開催したフェスタ等の中で、スポーツイベントが催されました。	各校区ごとに開催したフェスタ等の中で、スポーツイベントが催されることがあり、地域の大人と交わりながらスポーツを気軽に楽しむことができました。また、地域の清掃活動とスポーツを合わせることで、より参加者が楽しめる取り組みもありました。	継続			●		●	●	●	II-C	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
99 小地域福祉ネットワ ーク事業	豊中市 社会福祉協議会	地域住民同士のなかまづくりを目的とし て、ミニデイサービス、ふれあいサロンや子 育て中の親子向けに子育てサロン、また世 代を超えた交流の場として三世交代交流を3 8校区福祉委員会で実施しています。 活動のボランティアスタッフとして協力して いくことで、ボランティア自身の健康増進に もつながります。	・ミニデイサービス…99回開催 延 べ参加者…1,333名 延べ協力者 …1,965名 ・ふれあいサロン… 1,392回開催 延べ参加者… 19,856名 延べ協力者…7,426名 ・子育てサロン…527回開催 延べ 参加者…16,884名 延べ協力者 …4,612名 ・世代間交流…163 回 延べ参加者…31,716名 延べ 協力者…5,532名	多くの参加があり、閉じこもりの予 防、防止に役立っています。また、 悩みの相談や新しい仲間づくりの場 としての面も大きく、サロン外でのつ ながりにもなっています。協力するス タッフも元気で対応できるようにと健 康管理につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-C	VII-F
100 生活支援サービス事 業	豊中市 社会福祉協議会	専門家による職業としての援助ではなく、 互助の精神を基盤とした市民による有償 の社会奉仕活動で、家事援助や話し相手 や見守りなど、個々の要望に応じた活動を 実施しています。	利用件数…631件 利用者数… 631名 利用日数…2,355日 利 用時間…4,436時間 29分 新規 相談件数…81件	介護保険など公的なサービスでは 対応できない援助を行う事で心配ご との解消につながっています。援助 を行う者の体力増進や加齢による 不便さの理解につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	II-C	VII-F

III. こころの健康づくり

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
101 女性のこころとからだ 健康関連の展示	とよなか男女共同参 画推進センターすて っぷ	乳がん、子宮がん、更年期、ストレス等 に関連して女性の健康を維持するに資 する展示をしています。	①乳がん検診啓発ポスター展示 ②資料のテーマ展示：自分らしく生き るための病との向き合い方(貸出率 153%)	ライブラリー利用者に対して、健康づく りのための情報へのアクセスをする機 会として、関連展示資料の提供もでき ました。	継続	●		●	●	●	●	●	●	III-A	VII-A
102 シルバー人材センター 補助金業務	くらしセンター 雇用労働課	シルバー人材センターに対する補助事 業を実施し、高齢者の能力を生かした 活力ある地域社会づくりに寄与します。 対象者の心の健康づくりに寄与するもの と考えます。	シルバー人材センターの財政的な自 主運営を目的として、市の労働政策 と整合を図ったシルバー人材センタ ーの事業運営に対する補助を行いま した。(平成25年度シルバー人 材センター就業延人数 182,325 人、契約件数 4,491件)	就業延人数、契約金額等の増加によ り、高齢者の生きがいの充実、社会 参加、就業機会の確保など福祉の増 進及び高齢者の能力を生かした活 力ある地域社会づくりに効果がありま した。心の健康づくりに寄与しました。	継続							●	III-A	II-B	
103 地産地消推進事業補 助事業	くらしセンター 地域経済課	安心・安全な豊中産農産物の提供によ って地産地消を推進します。 学校給食等への豊中産野菜の出荷、豊 中産野菜の直売会を実施します。	地産地消協力者 52名	地産地消の推進は食育の推進につな がります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	
104 花畑開放	くらしセンター 地域経済課	市内の農地にレンゲの種をまき、開花時 に市民が自然とふれあう場の提供及び 小学校等の体験学習の場としてレンゲ 旗を開放します。	延 18 団体 1,969 人の園児・小学 生等がレンゲ畑に入場	市内の農地にレンゲの花が咲くことで 市民に安らぎを与えます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	
105 農業祭	くらしセンター 地域経済課	市民の農業に対する理解と認識を深め るとともに地産地消を広くPRします。	11月23日(祝)第34回農業祭を 実施 来場者数→4,000人	都市化の進んだ当市における農業をP Rできる絶好の機会です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-A	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
106 啓発活動	いきいきセンター 障害福祉課	市内の障害者団体や障害福祉サービス事業所等で組織する豊中市障害者啓発活動委員会を設置し、共感的・効果的な啓発のあり方検討やパネル展の開催等を企画し、啓発活動の充実に協働して取り組みます。また、障害者並びに障害者福祉に対する理解と啓発を目的に、啓発用のぼりの設置や車体幕の掲示等障害者週間(12月3日から9日)の啓発活動を行います。	実施イベント数3回	障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-A	
107 自殺に関する知識等の普及啓発	保健所 保健企画課	自殺に関する知識や相談窓口等情報の普及を目的に、広報誌・ケーブルテレビ・ホームページ等による情報の発信、講演会・駅頭啓発等々を実施します。	・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)の周知として、広報誌への記事掲載のほか、市内公民館でポスター展示、駅頭啓発(豊中駅・千里中央駅周辺で啓発媒体入りのティッシュ3000個配布)を実施 ・「こころといのちを守る相談窓口一覧」の作成・配布(5000部) ・自殺対策強化月間(3月)に遺族が直面する法的な問題や活動団体紹介などの自死遺族支援講演会を実施(参加者37名)	駅頭啓発や広報周知等は豊中市の自殺者の状況や取り組み等について広く市民に知ってもらう機会になっています。また今年度は遺族を取り巻く問題について、法律の視点でアプローチし、参加者の意識や知識の幅が広がったと感じます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-A	III-B
108 精神保健事業(精神保健福祉講座)	保健所 保健予防課	こころの健康づくり(精神疾患・障害の予防)、ならびに精神疾患の早期発見と回復に必要な正しい知識の普及啓発を行います。	精神疾患の早期発見及び回復を図るため、患者の身近な存在である家族等を対象として、医師等による啓発普及を実施。家族教室等19回、350人	教室での学習効果だけでなく、教室参加をきっかけに個別相談につながる波及効果もみられました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-A	V-A
109 人権ケースワーク事業	人権政策室	地域のセーフティネットとしての身近な相談窓口体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言なたびに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次ぎ、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週 月・水・金 9時～12時、13時～17時 第2・第4木 13時～15時 相談窓口を開設。	相談者の多くがこころの悩みや不調を抱えており、相談員の適切な対応で、他機関への通報・取次ぎ、関係機関との連携がスムーズに行われています。身近な相談窓口として市民のセーフティネットの役割を担い、一定の効果を上げることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
110 女性の生き方総合相談	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	女性の抱える心理的な悩みを女性自身が解決できるよう支援します。	女性の生き方総合相談全件数1455件 (電話:793件、面接:662件)	人間関係のストレスを原因とした心やからだの不調等に対し、心理的サポートを行ったことで、回復への支援となりました。	継続			●	●	●	●	●	III-B	III-A
111 女性のからだと性の相談	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	女性特有の体の悩みについて、専門家が相談を受けます。	電話または面接相談:12件	うつ、体調不良、性の問題等、気軽に相談しやすい窓口として機能しました。	継続			●	●	●	●	●	III-B	III-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
112 労働相談苦情処理	くらしセンター 雇用労働課	個別労働紛争において権利侵害を受け、訴訟等による解決を希望する場合に訴訟等の理由が労働法令・社会通念に照らして合理的であり、かつ資金の貸付が適当であると認められた市民に対して、当該訴訟等の費用の貸付を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	申請があれば審査の上で、労働訴訟に関わる費用貸付を行います。H25年度は申請はありませんでしたので、委員会のみ1回開催いたしました。	貸付はありませんでしたが、問い合わせなどは数件ありました。セーフティネットとして意識していただくことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	III-B	
113 労働相談業務	くらしセンター 雇用労働課	市内の勤労者、事業主などからの労働問題に関する相談に応じ、適切な助言、指導を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	週3回(月水金)の10時～16時に専門員による労働相談を実施し、平成25年度では年間176人・延べ286件の相談を受けました。	労働相談は件数は横ばいですが、解決まで時間のかかるパワハラ等の困難事例が増加しており、解決支援に役立つ労働相談を受けることにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	III-B	
114 地域就労支援事業	くらしセンター 雇用労働課	生活情報センターくらしかん並びに市立労働会館内に地域就労支援センターを設置し、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行います。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	就職困難者に対して相談・就労訓練などを行い、就労へ導きました。(平成25年度相談件数6,555件、就労決定301人)	障害者、母子家庭の母親、中高年齢者などの就労困難者に対する相談をはじめ、各種講座の実施や紹介、求人情報の提供等を行い、就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	III-B	
115 無料職業紹介事業	くらしセンター 雇用労働課	平成15年8月に「地域就労支援センター」を設置し、さまざまな理由により就労が困難な市民を対象に、相談やカウンセリング、教育訓練などの就労支援を行ってきましたが、これらの機能をさらに拡充し、求職者の居住地の近隣での就職を実現するとともに、市内事業所の求人活動等を応援することを目的に、平成18年11月に無料職業紹介所「豊中しごと相談ひろば」を設置しました。平成23年4月からはくらしかんの「無料職業紹介所・豊中」と、労働会館の「無料職業紹介所・庄内」の2拠点で行っています。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	市内外の事業所の求人獲得、地域就労相談者など求職者の求人事業所への紹介、各種(若者、障害者、学生向け等)面接会、面接対策講座等を実施しました。(平成25年度新規求人数613人、就職件数179件)	新たな求人ニーズの把握に努め、求人開拓チームによる新規企業の開拓・効果的なマッチングを積極的に行い、求職者を就職へと導き、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	III-B	
116 住宅支援給付事業	くらしセンター 雇用労働課	「住宅手当」は、離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している方または喪失するおそれのある方を対象として、住宅の確保(住宅喪失の予防)及び就労機会の確保を支援することを目的とした制度であり、就職支援を受けながら賃貸住宅の家賃のための給付金の支給を受けることができます。	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅支援給付金を支給するとともに、就労支援を行いました。(平成25年度支給延人数118人、住宅支援給付金支給額4,772千円)	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者の住宅の確保及び就労機会の確保を行うことにより、心の健康づくりに寄与しました。	継続				●	●	●	●	III-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
117 消費生活相談業務	くらしセンター 消費生活課	契約や販売方法、品質などの消費者トラブルに対する苦情相談及び問合せに対する情報提供をしています。 相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	相談件数 2,954件 苦情 2,454件 問合せ 500件	アドバイスや助言により様々な情報提供を行い、安心して相談できる場所として周知できました。	継続				●	●	●	●	III-B	
118 高齢消費者の見守り体制との連携（地域福祉ネットワーク会議）	くらしセンター 消費生活課	高齢者の消費者被害の未然防止、早期発見に向け、豊中市ライフセーフティネット、地域見守りネットワーク等と連携しています。 高齢者が安心して暮らせることで精神的な安定することにつながります。	地域福祉ネットワーク 年11回	高齢者の消費者被害の未然防止にかかる情報提供をし、身近に相談できる場所の周知を行い、精神的な安定につながりました。	継続							●	III-B	
119 多重債務者生活相談業務	くらしセンター 消費生活課	多重債務者の債務や生計の状況などを聴取し、債務整理のための法律専門家への誘導をするとともに、関係部局が連携して多重債務者の早期発見及び生活再建に向け支援します。 相談する場があることで精神的に安定することにつながります。	相談人数 217人	債務整理や生活再建の支援をすることで、精神的な安定につながりました。	継続				●	●	●	●	III-B	
120 多重債務問題連絡会等による連携	くらしセンター 消費生活課	多重債務者の債務整理や生活再建のため、意見・情報交換等により関係部局が連携して多重債務者生活再建業務に資するものです。	多重債務問題連絡会 1回	債務整理や生活再建のため、意見・情報交換を相談業務にいかし、精神面での安定につながりました。	完了				●	●	●	●	III-B	
121 相談支援事業	いきいきセンター 障害福祉課	・知的障害者相談支援：知的障害者が安心して地域生活を送れるよう、生活協力員（生活アシスタント）が本人の生活を見守り、相談相手となりながら必要な支援を行います。（（社福）豊中親和会に委託） ・精神障害者相談支援事業：精神障害者が安心して地域生活を送れるよう、本人の生活を見守り、相談相手となりながら必要な支援を行います。（（社福）みとい福祉会に委託） 豊中市障害相談支援ネットワークえん（豊中市障害福祉課含む11機関で構成）	・生活アシスタント相談事業：年間相談件数309件 ・精神障害者相談支援事業：家族相談員紹介事業相談件数58件、ピアカウンセリング事業相談件数97件 ・豊中市障害相談支援ネットワークえん：全体会議12回えんコラフェスタ3月開催。えん内部に相談支援体制検討委員会を設置し、基幹相談支援センターの設置に向けた検討や計画相談様式の作成を実施	相談支援事業を実施することにより、障害者が安心して地域生活を送れるよう支援を行うことができました。また、基幹相談支援センターの設置に向けての検討を行い、H26年4月に基幹相談支援センターを障害福祉センターひまわり内に開設することができました。計画相談支援拡充のためにサービス等利用計画の様式の作成検討を行い、様式の概要が確定しました。様式の細部の調整を行い、H26年度より運用開始予定となっています。	拡充	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
122 障害者相談員事業	いきいきセンター 障害福祉課	身体障害者相談員、知的障害者相談員、精神障害者相談員がそれぞれの立場に立って、各手帳の取得や障害者の身近な問題についていろいろな相談に応じます。	相談員数：22名 相談件数：述べ52件	相談件数が少なく、制度の周知が課題ではあるが、当事者や家族といった相談員が身近な問題について相談に応じることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	III-B	
123 成年後見制度利用支援業務	いきいきセンター 高齢者支援課	市長による成年後見事業の申立および成年後見利用支援事業を実施します。	市長申立件数：16件	権利擁護の観点から後見人が必要な市民に対して速やかに利用支援を実施しました。	継続							●	III-B	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
124 自殺予防のための 人材育成事業	保健所 保健企画課	自殺の危険性の高い人の早期発見・ 早期対応を図るため、相談窓口担当 職員や地域で活動するボランティア団 体・一般市民等を対象に、自殺や自 殺関連事象に関する知識を普及する とともに、自殺の危険性を示すサイン への気付きやその対応に関する研修 会などを実施します。	・自殺予防週間(9月)に合わせ、一 般市民、民生児童委員を対象に、自 殺の現状や要因・支援方法、各地の 取組み事例等に関する講演会を実施 (参加者 82人) ・健康づくり推進員・理容組合員等 の関連団体、庁内職員を対象に、自 殺の現状や要因、ゲートキーパーの役割 などに関する人材養成研修を実施(3 回・参加者 131人) ・保健・福祉部門職員・関係者、相談 窓口担当職員等に対し、ロールプレ イ等実技を交えたゲートキーパー養成講 座を実施(2回・参加者 32人)	身近な地域で活動する民生委員や地 域ボランティア等への研修は、日常で の変化に気づき早期に次の支援への つなぐことができることから、自殺予防 対策の裾野を広げることにつながっ ています。また、ゲートキーパー養成研 修は直接相談支援に従事する担当者 のスキル向上にもつながり、どちらも参 加者には好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	III-C		
125 精神保健事業(精神 保健福祉相談)	保健所 保健予防課	こころの健康問題・不調を抱える人 に対して、個別相談を行い、健康の回復 を図るとともに、精神疾患の早期発 見、早期治療に向けてケースワーク等 で支援を行います。	精神疾患の患者・家族等からの相談 に応じ、ケースワーク等による相談・訪 問等を実施。個別相談人員:468人、 相談・訪問延べ人員 2,991人、電話 相談 779人	未受診者のへの医療の導入や、医療 中断者等への治療再開、治療継続支 援等を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-B	V-B		
126 自殺対策事業	人権政策室	自殺対策基本法の理念に基づき、市 民が健康で生きがいを持って暮らすこ のことができる社会の実現をめざし、総合 的かつ効果的な自殺対策について協 議及び推進するため、庁内の自殺対 策に関わる室等で構成される豊中市 自殺対策連絡会議、庁内外の関係機 関・団体で構成する豊中市自殺対策 ネットワーク会議を設置しています。	豊中市自殺対策連絡会議を2回実 施。また、それと同時開催で豊中市自 殺対策ネットワーク会議を2回実施。	2回の会議を通じて、当市の自殺対 策の取り組みについて協議をしました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	III-A III-B		
127 総合生活相談事業	人権政策室 豊中人権まちづくり センター	地域住民の多様な相談に対し、多角 的な観点から最も適切な支援方策を 検討し、長期的・継続的に支援活動 を行っています。	事業実施回数 359回 参加延人数 399人 総合相談事業の充実、ケ ース検討会議、支援方策検討会議等 を実施しました。	事業を継続的に実施することにより、 市民の不安や悩みを解決するととも に、人権尊重のまちづくりに取り組ま しました。	継続							●	●	●	III-C		
128 総合生活相談事業	人権政策室 豊中人権まちづくり センター	社会的援護を要する地域住民・市民 の多様なニーズに対し、福祉、健康、 住宅、教育、保育、子育て、就労、人 権、その他のさまざまな観点から、身 近で相談者の立場に立った最も有効、 適切な支援方策を検討し、相談者自 らが課題等を解決するための長期的、 継続的な支援を行っています。	延べ相談件数 363件 支援方策検討会議 1回 ケース検討会議 4回	高齢化社会が進み、さらにニーズが高 まっていくと考えられるため、今後も継 続して取り組む必要があります。また、 問題の多様化のため、福祉関係部 局、福祉施設、民生委員、福祉委員 等との連携を重ね、相談事業の強化 の取り組みを進めます。	継続								●	●	●	III-C	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
129 生ごみ・剪定枝堆肥 化事業	公園みどり推進課	循環型社会を推進するため、堆肥「とよっぴー」を使った資源循環啓発を行っていますが、その取組みの一つとして、農体験学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	●さつまいも掘りなどが体験できる農体験学習を53回実施 ●チンゲン菜の植付け体験ができる「とよっぴー祭り」を実施	児童を対象とした農体験学習には安定した需要があり、「とよっぴー祭り」や親子を対象としたシリーズとの収穫イベント等は、都市部で農業を学べるという点からも好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
130 ヒメボタル保全事業	公園みどり推進課	ヒメボタルを保全するために、生息地の保全活動及び保全啓発を行っていますが、その取組みの一つとして、ヒメボタル観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	ヒメボタル観察会を1回実施	100人の定員に対して250人の申し込みがあり、急きょ120人に定員を増やしたほどのイベントで、非常に好評を得ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
131 自然環境啓発事業	公園みどり推進課	自然観察会等の自然環境啓発イベントを開催していますが、その取組みの一つとして、自然観察会及び自然体験で学ぶ環境学習を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	自然観察会を4回、自然体験で学ぶ環境学習を6回実施	毎年度、同回数を実施していますが、少しずつ右肩上がり参加者数が増加しており、特に、自然体験で学ぶ環境学習シリーズは、人気が高いイベントです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	II-C
132 自然環境保全事業	公園みどり推進課	里山の保全・再生及び民有地の樹木等の保全を支援していますが、その取組みの一つとして、里山の保全・再生活動及び自然観察会を実施しており、こころの健康づくりに寄与しています。	里山(島熊山緑地)の管理作業を21回、島熊山緑地を活用した自然観察会を2回実施。	毎年度、管理作業及び自然観察会への安定した参加者があり、昨年度においては、ナラ枯れ対策を実施したことで、管理作業の回数が増加しました。	継続	●			●	●	●	●	●	III-C	II-C
133 中小企業勤労者互助会事業	くらしセンター 雇用労働課	市内の中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与します。対象者の心の健康づくりに寄与するものと考えます。	中小企業勤労者互助会の予算のうち、福利厚生事業費や一般事務管理費を補助することにより、市内中小企業に働く勤労者及びその家族の福利厚生の充実を図り、併せて中小企業の振興に寄与しました。(平成25年度末会員事業所159社、1208人)	中小企業で働く従業員の福利厚生の充実を図り、心の健康づくりに寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	
134 福祉なんでも相談・ 審議会運営管理	地域福祉室	健康福祉審議会や福祉なんでも相談窓口など地域福祉計画に基づく事業を推進します。	安心・安全なまちづくりの推進を図るため、福祉なんでも相談窓口の委託を行い、住民の身近な相談窓口への支援を行いました。福祉なんでも相談窓口の設置数:36箇所	福祉なんでも相談窓口は、地域住民が地域の問題を、行政の適切な窓口へ素早くつなぐことができ、地域福祉の向上につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	V-C
135 民生・児童委員協議会	地域福祉室	民生・児童委員大会の開催や民生・児童委員協議会に対して支援を行います。見守り活動や相談に応じ、必要な支援を通じて住民の福祉の増進を図っています。	委嘱された民生委員の活動支援を行いました。相談支援件数:16,550件 委員実数:554人	地域福祉の充実に寄与しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	III-C	VIII-B
136 認知症対策連携強化業務	いきいきセンター 高齢者支援課	認知症連携担当者を中央地域包括支援センターに配置し、認知症対策の体制を整備します。	認知症疾患医療センターとの連携会議:11件	引き続き中央地域包括支援センターに委託し、認知症対策の仕組みづくりを強化しました。	継続								●	III-C	III-A III-B

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
137 認知症サポーター等 養成事業	いきいきセンター 高齢者支援課	キャラバン・メイトを養成し、サポーター養成講座を行い認知症について理解してもらうよう普及啓発を進めます。	認知症サポーター養成数:996人 キャラバン・メイト養成数:42人	地域包括支援センター職員以外の講師役であるキャラバン・メイトを要請し、市内全域に展開を拡大させました。	継続								●	III-C	III-A III-B
138 精神保健事業(研修)	保健所 保健予防課	市民のこころの健康にかかわる関係機関職員に対して、正しい知識の普及啓発等のための研修を行います。	市民のこころの健康にかかわる関係機関職員に対して、精神疾患やその対応についての基礎知識の普及啓発等を行った。関係機関向け専門教育15回513人。	関係機関等のニーズを聞きながら実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		III-C	
139 幼保小連携推進事業	保育幼稚園室	保育所・幼稚園・小学校の円滑な接続を図るための取り組みを行います。また、個々の子どもたちの引き継ぎも行っています。	各幼保小連絡会や協議会などで具体的な地域実態についても意見交換できました。幼保小連絡協議会…年間2回、17校区に分かれての幼保小連絡会…年間2回	子どもの実態や課題について話し合い、より充実した連携活動を進めるとともに、アレルギーや生活習慣、こころの健康等、個々の子どもたちの引き継ぎを行いました。	継続		●	●	●	●	●			III-C	
140 地域子育て・子育て支援ネットワーク事業	保育幼稚園室	子育て関係機関や団体との連携を図り、身近な日常的なかかわりの中で、子育て支援を行います。小学校区ごとに、地域子育て・子育て支援ネットワーク校区連絡会を開催します。	子育て子育て支援ネットワーク校区連絡会 41校区で開催	小学校区ごとに連絡会を開催し、子育て関係機関・団体と情報交換や地域ごとの課題の共有を行いました。	継続	●	●			●	●	●		III-C	
141 創造活動(不登校対応)	教育センター	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰し自立できることを目的とし、個々の児童生徒の興味・関心を行動にうつさせ、自らが活動する過程で成長がはかれるように、必要な援助を組織的・継続的に行うことをねらいとします。クッキング活動、体を動かそう等のプログラムを実施しています。	文化館でのクッキング(20回)、体をうごかさう(26回)等のプログラム活動のほか、ハイキングや宿泊体験活動、乗馬体験なども実施しました。	不登校の児童生徒が、プログラムや体験活動を通して児童生徒相互や指導員との心の交流を深め、安心感や達成感を持つことができ、学校へ復帰したり、学校復帰に近づいたりすることができました。	継続			●						III-C	I-C II-A
142 スクールソーシャルワーカー活用事業(連絡会)	教育センター	虐待など児童生徒のさまざまな課題に対応するため、教育と福祉に関して高度な専門的知識を有し、相談支援活動経験のある人材を、スクールソーシャルワーカー(SSW)等として小中学校に派遣します。	小学校22校、中学校5校に派遣し、ケース会議、教員・保護者等との面、教室訪問(児童生徒の観察)等を行いました。	相談者らとともに適切なアセスメントとプランニングを行い、課題解決に向けたチーム支援の方向づけを行うことができました。	継続			●						III-C	
143 スクールカウンセラー配置事業(連絡協議会)	教育センター	学校における教育相談体制の充実を図るために、学校に児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒のいじめ・不登校・問題行動等の解決につなげます。	市内全18中学校に各1名のスクールカウンセラーを配置し、1回6時間、年間35回の相談活動等を、ほぼ行うことができました。	児童生徒に関わる問題について、児童生徒、保護者、教職員のカウンセリングやケース検討等を行う中で課題解決につなげることができました。	継続			●						III-C	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
144	子ども・若者育成支援事業	青少年育成課	市の関係機関や家庭、地域等との連絡調整、情報の共有、連携をはかることにより青少年が社会的自立を果たすことができるよう支援をつなげるとともに、必要となる支援があれば関係部局と調整を図ります。	・「ひきこもりの若者を支援につなぐための講習会」(8回) ・先進都市視察(4都市) ・若年者就労問題等連絡会議と子ども・若者育成支援推進検討会議の合同会議開催(2回)	・講習会実施により、庁内外の方へ知識習得を促進できました。 ・両会議の統合再編による法定協議会設置及び実務担当者会議の設置と支援の連携について合意形成を図ることができました。	継続					●	●				III-C	
145	ひとり暮らし老人の会の組織化	豊中市 社会福祉協議会	「孤独感の解消」、「一人よりみんなと」をスローガンに小学校区単位にひとり暮らし老人の会を組織化し、会食会などの開催を通じて、会員同士のつながりを構築しています。	組織状況 37校区 1,395名 役員会 3回 連絡会・総会 2回 シングルライフ編集委員会 4回 シングルフェスティバル開催	シングルフェスティバルの出演や作品展への出品で、やりがいや喜びが次回への意欲となっています。会員同士で情報交換をすることで介護保険やサロンの利用につながることもあります。	継続								●		III-C	

IV.たばこ

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
146	受動喫煙に関する普及啓発・禁煙表示の推進	保健所 保健企画課	受動喫煙による健康への悪影響に関する啓発活動や、学校・医療機関・官公庁施設・民間施設等での禁煙化および禁煙表示を推進します。	・市広報誌、ホームページに受動喫煙防止・禁煙表示の協力に関する記事を掲載 ・禁煙表示ステッカー配布ちらしを配布(健康づくり応援店の店などの飲食店、世界禁煙デーイベントなどの各事業・催しの場ほか)	広報誌やちらしを見て禁煙表示に関する問い合わせもあり、市民や民間事業者へ受動喫煙について関心を持ってもらう機会につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●			IV-A	IV-B
147	市内禁煙治療・禁煙サポート実施医療機関調査	保健所 保健企画課	禁煙治療・禁煙サポートを実施する市内の医療機関情報を提供し、喫煙者の減少ひいては禁煙環境の整備を推進します。	市内医療機関に調査を実施し、禁煙治療・禁煙サポートを実施する医療機関一覧リーフレットを作成。市ホームページに掲載しているほか、市薬剤師会会員店舗、世界禁煙デーイベント等の各種催しや健診事業で配布しました。 禁煙治療等実施医療機関数(市内) 51件	禁煙が必要な人がより確実に禁煙し喫煙者が減ることで、個人の健康管理だけでなく、非喫煙者の受動喫煙の機会を減らすことができると考えています。今年度は市薬剤師会の協力もあり情報提供の機会が広がりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●			IV-A	IV-B
148	市有施設受動喫煙防止ガイドラインの推進	保健所 保健企画課	市有施設受動喫煙防止ガイドラインに基づき、市有施設の建物内禁煙の実施状況の確認及び推進に関する検討を行います。	平成25年11月20日(水)市有施設受動喫煙防止ガイドライン推進会議を開催。庁内調査において全ての市有施設での建物内禁煙実施を確認しました。	ガイドラインの設置により、全ての市有施設(個人が所有・管理する区域を除く)で建物内禁煙が実施されています。今後敷地内禁煙を検討する施設もあり、施設管理者の義務として施設利用者(職員含む)の受動喫煙の防止に対する庁内の認識も深まっていると感じています。	継続	●	●	●	●	●	●	●			IV-A	IV-B
149	たばこの健康教育	保健所 地域保健課	たばこの情報提供・防煙教育を実施。 ・地域住民等へのたばこに関する情報提供や健康教育 ・小中学校での喫煙防止教育	市内の中学校において、生徒向けの健康教育を実施。 対象:3校 375人	地域に向けて(特に青少年)、たばこに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●						IV-B	IV-A

V. アルコール等

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
150 薬物乱用防止啓発事業	保健所 保健企画課	麻薬、大麻、覚せい剤など違法薬物が、いかに心身に悪影響を与えるかを市民、特に若年者層へ啓発するため、学校などにおける薬物乱用防止教室や健康展など地域のイベントにおける啓発キャンペーン等を実施します。また、医薬品による十分な治療効果を上げる為、市民を対象としたお薬講座を通じ、医薬品の正しい使い方を普及啓発します。	・豊中市ホームページ内に薬物乱用防止に関する記事を掲載し、薬物乱用防止キャンペーン(小学校～大学生対象、5回、延べ約1,300人参加)、薬物乱用防止関係の講習会(13回、延べ1,888人参加)や各種市民向けイベントにおける展示による啓発活動(3回、延べ900人参加)を実施しました。 ・医薬品の正しい知識関係の講座(豊中市出前講座など、10回、延べ419人参加)、医薬品の適正使用を目的として府民のつどい(延べ2,500人参加)や薬と健康の週間での街頭キャンペーン(延べ2,000人参加)を実施しました。	・学校関係者、学校薬剤師等と連携し、学校内において薬物乱用防止教室を開催することにより、市内の小中学校生に対し、薬物の恐ろしさを知ってもらう事ができました。また、大学生への薬物乱用防止事業では、講義を受けるといった単なる講習会形式だけでなく、保健所と協働で実施した学内イベント等(学園祭他)で、学生自らが啓発する事業も展開できました。学生自身が伝達する側に立つことにより、より深く薬物乱用の怖さを学ぼうとしてくれるきっかけとなりました。 ・医薬品の正しい知識の普及をめざした「市民対象のお薬講座」や「地域での出前講座」等を通じ、市民に薬の正しい知識の普及を図ることができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	V-A	V-C
151 アルコールの健康教育	保健所 地域保健課	アルコールの情報提供・教育を実施。 ・地域住民等へのアルコールに関する情報提供や健康教育 ・小中学校での飲酒防止教育	市内の小中学校において、生徒向けの健康教育を実施。 対象:6校 計870人	地域に向けて(特に青少年)、アルコールに関する正しい知識の普及啓発、情報提供ができました。	継続	●	●	●	●				V-C	V-A
152 アルコール連絡会	保健所 地域保健課	関係機関及び当事者団体等との情報交換等連携した酒害等に関する取り組みを推進します。	・豊中市域アルコール連絡会(課題報告、意見交換):2回 ・実務者研修会(講師講演、体験談):2回	関係機関との連携を図りながら、飲酒による健康への影響について正しい知識の普及啓発ができました。	継続		●	●	●	●	●	●	V-C	

ページ52

VI. 歯や口の健康

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
153 歯科健康診査	保健所 地域保健課	市民への歯科医院での歯科健康診査を実施します。	豊中市歯科医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施した。5,176人	歯周疾患予防のための歯科健診を受診することで、歯及び口腔内の健康への関心を高めることができました。	継続						●	●	●	VI-A	VII-B
154 障害者(児)歯科診療事業	保健所 保健予防課	(一財)豊中市医療保健センターに事業委託し、市立庄内保健センターにおいて一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行います。(毎週水曜日14時から16時。祝日、夏期(8月14日・15日)、年末年始期間除く)	庄内保健センターにおいて、延べ診療日数50日、延べ患者数735人の歯科診療を行いました。	一般医院で治療が困難な障害者(児)の歯科診療を行うことにより、障害者(児)支援の充実に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●		VI-B	

V. アルコール等 / VI. 歯や口の健康

Ⅶ. 健康管理

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
155	環境交流センターにおける情報提供等業務	環境政策室	①3R実践市民講座 ②ESDセミナー(テーマ:料理を通じて、人やモノには多様な見方があるという気付きを促進する)	①実施回数:2回 参加人数:19人 ②実施回数:1回 参加人数:17人	①家庭でのごみ減量の一環として、若い家族世帯を主なターゲットとし、楽しく参加・体験しながら、3Rの推進や、グリーンコンシューマー、食品ロス・ゼロに向けた取り組み(とよなか食べ切り運動)を学んでいただきました。 ②市場に出回らない野菜を選び料理することから、食や命、社会の矛盾、人やモノの多様性などについて学んでいただきました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
156	国連・持続可能な開発のための教育(ESD)の10年の取り組み	環境政策室	ESDリソースセンターWEBにより、豊中市内の、健康づくりに寄与する店舗などを紹介しています。	掲載内容を随時更新。	市民のみなさんに、食への関心を高めていただくとともに、食材、食事を大切にすることを学んでいただいています。	縮小	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	I-A
157	生活保護受給者等健康管理支援事業	福祉事務所	生活保護受給者で日常生活において健康管理が困難な者への助言・指導、病状把握、受診勧奨や医療扶助・介護扶助の適正化を行い、自立した生活が営めるよう支援をします。受給者の健康上の問題について対応します。	受給者等への家庭訪問・面談等303件、医療機関への同行受診・病状照会等230件、自立支援医療の適用72件(平成26年4月現在)、重複受診・処方の改善42件(平成26年4月現在)を行いました。	地区担当者と連携して健康上の問題の解決及び医療扶助等の適正化に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
158	自立訓練	いきいきセンター 障害福祉課	地域生活を希望する障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を行います。	利用者数:延べ448人	障害者が自立した地域生活を営むことができるよう、必要な訓練やそのほかの便宜の提供を行うことができました。	継続				●	18歳以上	●	●	VII-A	I-A II-A II-B
159	介護保険制度等の啓発	いきいきセンター 高齢施策課	介護保険制度パンフレット等の作成・配布、地域説明会の開催などにより、介護保険制度等の啓発を行います。パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業を掲載しています。	・パンフレット「介護と予防」に市民健診など、健康に関する事業を掲載。発行部数:20,000冊 設置・配布先:市役所及び出張所、地域包括支援センター、市立豊中病院、校区福祉委員会など。 ・地域説明会の開催数:5回。	高齢者も受けることができる各種サービスについて情報提供の機会が広がりました。	継続				●	●	●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A VII-B
160	ぬくもりサロンとよなか事業	いきいきセンター 高齢者支援課	営業開始前の公衆浴場を開放し、健康体操やレクリエーションなどのプログラムを行い、参加者は100円で入浴できます。	実施回数:69回 延参加人数:1,609人	健康体操やレクリエーションなどのプログラムの実施により、健康の保持や介護予防につながりました。	継続							●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
161 街かどデイハウス介護予防教室	いきいきセンター 高齢者支援課	街かどデイハウスを運営する住民参加型非営利団体等に委託し、介護予防体操、健口体操をはじめとした介護予防のプログラムを実施します。	実施回数:30クール、360回 延参加人数:1,576人	各街かどデイハウスで工夫を凝らして介護予防教室を実施しています。	継続								●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
162 二次予防事業の対象者把握事業	いきいきセンター 高齢者支援課	基本チェックリストの配布・回収および他部局からの情報提供等により、要支援・要介護状態になるおそれの高い状態にあると認められる二次予防事業の対象者の把握を行います。	基本チェックリストの配布数 30,558人 返信数 25,566人	基本チェックリストの配布・回収により、二次予防事業の対象者の把握し、介護予防につなげています。	継続								●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
163 通所型介護予防事業	いきいきセンター 高齢者支援課	自立した生活の確立と自己実現の支援のため、二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施します。	運動:14クール、延参加人数:1,485人 口腔:8クール、延参加人数:270人 脳力:6クール、延参加人数:524人	二次予防事業の対象者に対して、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症予防などのプログラムを実施し、介護予防につながっています。	継続								●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
164 訪問型介護予防事業	いきいきセンター 高齢者支援課	二次予防事業対象者であり、特に閉じこもり、うつ、認知症の傾向がある等、心身の状況等により通所形態による事業への参加が困難な人へ、自宅を訪問して必要な相談・支援等を行います。	訪問型介護予防事業実施人数:1名	訪問型介護予防事業を実施した方が、通所型介護予防教室への参加につながりました。	継続								●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
165 介護予防地域教室事業	いきいきセンター 高齢者支援課	地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために、必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援します。	地域教室開催回数:63回	介護予防等に関する知識や情報を地域住民に普及・啓発することで、「予防のまちづくり」の構築につなげることができました。	継続								●	VII-A	
166 地域包括支援センター運営支援・管理業務	いきいきセンター 高齢者支援課	地域包括支援センターの運営に関与し、各センターの連絡調整や情報共有、必要な支援を行い「地域包括ケア体制」の構築を図ります。	「地域ネットワーク部会(高齢部会)」を通じた圏域におけるネットワークづくりや、「医療関係者とケアマネとの意見交換会(虹ねつと)」を通じた医療と介護の連携など、地域包括ケアシステムを構築します。	第5期介護保険事業計画に基づき、事業を展開しました。	継続								●	VII-A	III-A III-B
167 家族介護者教室	いきいきセンター 高齢者支援課	介護方法や介護予防などについて、デイサービスセンター等で開催。	デイサービスセンター2カ所、参加者21人	家族介護者の負担軽減につながり、高齢者の在宅生活を支えることができました。	継続								● ●	VII-A	
168 認知症高齢者家族交流会・教室	いきいきセンター 高齢者支援課	認知症高齢者等を介護している家族介護者に対し、その介護疲れやストレスを軽減することを目的に介護に関する教室の開催や家族間の情報交換等の交流会を開催し、家族介護者の負担の軽減を図ります。	参加者数:305人	認知症高齢者を抱える家族介護者の交流の場や、情報交換の場としての役割を果たしました。	継続								● ●	VII-A	III-A III-B III-C

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
169 家族介護者交流事業	いきいきセンター 高齢者支援課	家族介護者を一時的に介護から解放するため、宿泊旅行などを通じ介護者相互が交流しながら元気回復を図ります。	参加者数：24人	要介護高齢者等を抱える家族介護者に交流・情報交換の場を提供し、家族介護者の心身のリフレッシュを図ることに役立ちました。	継続							●	●	VII-A	
170 在宅高齢者虐待防止事業	いきいきセンター 高齢者支援課	市が実施する高齢者虐待防止関連事務において、社会福祉士及び弁護士から情報提供、助言を受けます。	高齢者虐待個別ケース会議開催数：3回	高齢者虐待の速やかな対応を行いました。	継続								●	VII-A	
171 豊中市健康づくり計画の推進	保健所 保健企画課	計画の周知及び計画に基づく取り組みの推進・進行管理。 豊中市健康づくり計画推進会議の開催、講演会・出前講座等での計画の周知等を行います。	「はじめよう健康づくり・進めよう食育」と題して、7月25日(木)～31日(水)に市役所第2庁舎市民ロビーでパネル展・体験コーナー・ミニ講座を実施しました。体験コーナーでは、アルコールパッチテストや握力・身体測定等を実施したほか、ミニ講座では、健康づくり計画や薬物乱用防止などについて啓発しました。	保健所各課や庁内他部局等と連携し、様々な面から健康づくりについて啓発できました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A		
172 医療保健センター関係事務	保健所保健企画課	(一財)豊中市医療保健センターの円滑な運営管理を行っています。 【休日急病診療(北部)】 多くの市内医療機関の休診時に、市民の急病に対応します。 【健康教育センター】 健康に関する正しい知識の普及を図るため、関係機関・団体と協同で健康相談等を実施します。 【障害者歯科診療(北部)】 一般の医療機関で診療が困難な方を対象に実施。 【在宅ねたきり者等歯科診療】 市内にお住まいの40歳以上の方で、家庭でねたきり(または、その状況にある方)の方に歯科の訪問診療を実施します。 【介護老人保健施設かがやき・在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター】 介護保険法等に該当する方に、施設及び居宅で機能訓練その他必要な医療などのサービスを提供します。	(一財)豊中市医療保健センターの円滑な運営管理を行いました。 【休日急病診療(北部)】 祝日休日夏(8/14、15)および年末年始の急病診療を実施しました。 【健康教育センター】 関係機関・団体と協同で、電話や面接等による健康相談、健康教育等を実施しました。 【障害者歯科診療(北部)】 一般の医療機関で診療が困難な方を対象に実施。 【在宅ねたきり者等歯科診療】 市内にお住まいの40歳以上の方で、家庭でねたきり(または、その状況にある方)の方に歯科の訪問診療を実施しました。 【介護老人保健施設かがやき・在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター】 介護保険法等に該当する方に、施設及び居宅で機能訓練その他必要な医療などのサービスを提供しました。	市民の健康保持と増進に寄与するための各種事業を行いました。今後も変化する市民ニーズに対応した事業展開を行っていく必要があります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	VI-B VII-F	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
173 二次救急医療対策事業	保健所 保健企画課	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)における二次救急医療体制の円滑な運営および整備を図ります。	救急告示病院 16 病院による病院群輪番制事業を実施しました。また、救急告示病院のうち小児科を標榜する 5 病院による小児医療支援事業を実施しました。	市民の健康保持に重要な役割であり、今後も安定的な事業運営が必要不可欠です。平成 25 年度中には新規で 2 病院が病院群輪番制事業に参加することとなり、体制の一層の充実が図られました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
174 かがやき施設運営管理	保健所 保健企画課	リハビリテーションやレクリエーション、看護・介護を通じて、居宅における生活への復帰の支援を行います。また、自宅にお住まいの方の短期間の宿泊サービス、在宅でお住まいの方のための通いのリハビリテーションなどを実施することにより、利用者の身体機能の維持・回復を図ります。	リハビリテーションやレクリエーション、看護・介護を通じて、居宅における生活への復帰の支援を行いました。また、リハビリテーションなどを実施することにより、利用者の身体機能の維持・回復を図りました。(通所1日平均 28.1 人/延べ 8,683 人、長期1日平均 92.0 人/延べ 33,569 人、短期1日平均 4.3 人/延べ 1,574 人)	利用者ニーズに応じたサービス提供を行うことに努めています。また、受入れ先がないケースの一時的な受入れなども行っており、市立施設としての役割を果たしています。	継続							●	VII-A	
175 豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス推進事業	保健所 保健企画課	急性脳卒中患者が発症(急性期)からリハビリ(回復期)在宅(維持期)にかけて一貫した途切れのない医療を受けられる体制を推進します。地域連携診療計画書や「脳卒中ノート」など情報共有のツールの普及、広くは患者自身による健康管理・再発の予防、また、発症予防を目的にワーキング会議と検討会議を実施します。	豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス検討会とワーキング会議を開催。維持期における地域連携診療計画書の普及と連携の促進を目的に必要書類等をまとめたフロー図と維持期における登録医療機関をまとめた冊子について、会議での検討をふまえて作成しました。「脳卒中ノート」の適切な活用に向けた啓発と実情の把握を目的に、圏域内の急性期・回復期病院へ活用状況についてのアンケートを実施。その結果をふまえて会議の場で「脳卒中ノート」の活用に関する各病院での役割等について検討しました。脳卒中の早期発見・早期治療に関する啓発媒体「FAST」の活用について、圏域内市町村の健康増進部門と連携する形での働きかけを行うことについて会議の場で検討しました。	課題である維持期における地域連携診療計画書の普及に向けた働きかけを行うことができました。また、「脳卒中ノート」の活用状況に関するアンケート調査の実施により、適切な活用に向けた啓発を行うと共に、急性期・回復期病院での活用における役割を整理することができました。今後、このアンケート結果も参考にしながら、「脳卒中ノート」の改訂を進めていく予定です。地域の高齢者を対象とする脳卒中の早期発見・早期治療に関する取組について、その方策を検討することができたので、実施に移していく予定です。	継続					●	●	●	VII-A	
176 難病事業(個別援助)	保健所 保健予防課	特定疾患治療研究事業対象疾患について、申請受付事務を行うとともに、難病患者等の QOL の向上のために、面接や訪問等で療養生活上の支援を行います。	医療費援助事業申請数は、3,001 件。保健師等の療養相談件数は 3,745 件。	医療費援助事業の申請数は増加しています。また、申請時の面接等を行ったことで、保健師等の相談についても、件数は増加しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	
177 難病事業(集団援助)	保健所 保健予防課	難病患者等が疾病の正しい知識をもち、よりよい療養生活を送るために、講演会の開催や交流会の支援を行います。	北ブロック保健所(池田・吹田・茨木・高槻市・豊中市)で協力し、患者及び家族向け講演会を 9 回開催。患者家族交流会の活動を支援し必要時療養相談を実施しました。	患者及び家族が疾患の正しい知識等を学び、情報交換等を通してよりよい療養生活につながりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-A	VII-F

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中			高		
178 健康カレッジ	保健所 地域保健課	8回シリーズ。講演・実技・グループワークの後に学びノートへ各自記入し、家族・近所・地域に情報発信しています。	・8回(公開講座2回)シリーズの講演や実技を行い、受講者は45人、受講述数は314人、また、公開講座参加者は55人でした。 ・毎回、講座内容をまとめたカレッジ通信を作成し冊子として取りまとめ、ホームページでも公開しています。	申込期間早々に定員に達し、一部キャンセル待ちが発生するなど市民の関心は強く、参加者自らが健康に取り組み、また、家族や地域に健康づくり情報を発信する機会につながっています。	継続						●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A		
179 健康づくり推進事業	保健所 地域保健課	とよなか百万歩ウォーク、健康手帳に関する事業を実施しています。	健康手帳:40歳以上の希望者2,403人に配布しました。	自身の健康管理の指標となり、健康づくりに寄与できました。	継続							●	●	VII-A	II-B	
180 健康教育(成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する講座など、教育事業。出前講座・健康づくり推進員主催講座・老人会・地域のサロンなどに専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が出向き啓発を行います。職種により健康・運動・口腔・栄養などの内容で実施しています。	集団 259回 4,904人 個別 150回 157人	各専門職によって、地域に向けた健康に関する啓発、情報提供ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A III-A VI-A
181 健康相談(成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する相談事業。電話や面接などで専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士・栄養士)が相談に応じます。	パパママ歯科相談 24回 188人 地区健康相談 111回 1,271人 面接相談 92回 151人 電話相談 180回 406人 リハ相談 3回 3人	各専門職により、相談内容、対象者にあわせた相談対応ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A VI-A
182 訪問指導事業(成人保健)	保健所 地域保健課	健康に関する訪問指導事業。専門職(保健師・理学療法士・作業療法士・歯科衛生士)による生活習慣病予防や介護予防などの指導を行います。	寝たきり、閉じこもり等に訪問指導を実施。延べ250人、実59人	各専門職により、対象者の生活の場である家庭等に出向き、対象者にあわせた訪問指導ができました。	継続							●	●	●	VII-A	I-A II-A VI-A VII-B
183 公害健康被害保健福祉事業	保健所 地域保健課	被認定患者に係る知識普及、保健指導等を行います。	インフルエンザ予防接種費用助成 58件 126,852円 家庭療養指導 162件(うち不在71件)	被認定者に対して公害健康被害に係る指定疾患に関する知識普及、療養上の保健指導や支援を行うことができました。	継続							●	●	●	VII-A	
184 公害健康被害補償業務	保健所 地域保健課	公害被認定患者に係る認定の更新及び等級の見直しや、医療費についての診療報酬明細書の審査、また補償給付費の支給事務を行います。	認定審査会 12回 更新審査 78件、等級見直し審査 152件 診療報酬審査会 12回 審査レセプト 2,770件	認定審査会・診療報酬審査委員会を滞りなく行うことにより、患者に対して適切に補償業務を行うことができました。	継続							●	●	●	VII-A	
185 被爆者援護事業	保健所 地域保健課	被爆者援護事業に係る申請受付進達業務を行います。	被爆者健康診断受診者 対象者 333人中、第1回(5月)89人、第2回(10月)80人	被認定者に対して年2回の健康診断と各種給付事業を実施することで、被爆者の健康保持を図るできました。	継続							●	●	●	VII-A	
186 保健事業(健康家庭表彰費)	保険窓口センター 保険給付課	3年間医療機関への受診がなく国民健康保険料を完納された世帯に対し健康をお祝いするため記念品を贈呈します。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業を行います。	表彰世帯:220世帯	国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援しました。	継続	●	●	●	●	●	●			VII-A		

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
187 老人医療費助成事業	保険窓口センター 保険給付課	高齢者に対し医療費の一部を助成します。 高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図ります。	件数:146,632件 助成額:586,442,574円	一部負担金相当額等一部助成事業により、特定疾病等、一定の条件を満たす高齢者について、一部負担金相当額を助成することで医療の受信を容易にし、その健康の保持と福祉の増進に寄与していると考えられます。	継続							●	VII-A	
188 訪問看護基本利用料助成事業	保険窓口センター 保険給付課	身体障害者及び知的障害者で居宅において療養が必要な対象者に対して、指定訪問看護を受けた場合に負担すべき基本利用料の一部を助成します。 在宅医療の推進と福祉の増進を図ります。	日数:2,756日 助成額:5,572,595円	重度障害者(児)に対し基本利用料の助成を行うことにより、訪問看護の利用が促進され在宅療養の推進と福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続	●	●	●	●	●			VII-A	
189 障害者医療費助成事業	保険窓口センター 保険給付課	身体障害者及び知的障害者に対し医療費の一部を助成します。 身体障害者及び知的障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ります。	件数:60,879件 助成額:421,452,481円	身体障害者および知的障害者が必要とする医療を経済的に保障することにより、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。	継続	●	●	●	●	●			VII-A	
190 アスベスト対策事業	土地利用調整センター 建築審査課	吹付けアスベストが施工されているおそれのある建築物において行うアスベスト含有の有無に係る調査の費用及び多数の者が利用する建築物(多数の者が共同で利用する部分(当該建築物に付属する電気室、機械室等を含む。))に限る。)に露出して施工されている吹付けアスベスト除去工事の費用に対して一部を補助します。	吹付けアスベスト含有調査補助3件(補助額334,000円) 吹付けアスベスト除去工事補助1件(補助額1,000,000円)	安心・安全なまちづくりに寄与していると考えられますが、結果を踏まえ、補助制度のあり方について検討を行います。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-A	
191 学校施設安全衛生委員会	教育推進室	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視等の実施により、教職員の健康管理の充実及び職場環境の整備を図ります。	学校施設安全衛生委員会の開催・産業医による面談・職場巡視等の実施により、産業カウンセラー・トレーナーによる健康相談活動、メンタルヘルスケア研修会、ヒヤリハット調査・心の健康調査を実施しました。	各種の健康相談活動についてよりPRすることで対応件数が増えました。また学校施設安全衛生委員会、職場巡視の回数を前年度より増やしました。これらにより教職員の健康の保持増進及び学校施設の安全衛生の推進につながりました。	継続				●	●	●		VII-A	
192 公民館事業	中央公民館	公民館が実施する文化祭・体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行います。	41公民館において体育祭・文化祭・講座等の事業を実施しました。	体育祭や健康に関する分館講座等の事業においては、親・子・孫の世代間交流と地域づくりが図られるとともに、あらゆる世代の方が健康の維持増進を考える機会となりました。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-A	
193 公民館登録グループ支援	中央公民館	公民館登録グループに対して活動場所の確保や、公民館まつり、グループ体験講習会など活動成果の発表の場を提供するとともに、教養の向上、生きがいづくりを支援します。	4公民館で、「太極拳体験講習会」等のグループ体験講習会を74講座110回実施し、609人が参加しました。	健康体操、ヨガ、太極拳、ダンベル体操、フラ、社交ダンス等健康に関するグループ体験講習会においては、「学びの循環」が図られるとともに、参加者が当該登録グループに入会することにより、継続的に健康づくりに取り組む市民が増えました。	継続				●	●	●	●	VII-A	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
194 課題別講座	中央公民館	環境学習事業、食育推進事業、健康づくり推進事業、人権啓発関係事業、フリースペース活用事業などを開催します。	4公民館で、「豊中の食生活いまむかし」等の食育推進事業を16講座16回実施し255人が、「シニアのための健康づくり講座 少しの工夫で健やかライフ」等の健康づくり推進事業を24講座40回実施し582人が参加しました。	開催する講座数及び参加者数が増加し、各事業参加者の満足度が高かったです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A		
195 図書館活動・すべての人への資料提供事業	読書振興課	暮らしの課題解決支援サービスの一つとして、岡町図書館に医療・健康情報コーナーを設置し、市民の身近な施設、図書館において、健康に関する情報提供を行っている。また医療や健康に関する講座、健康レクチャーを関係各課と連携し実施するとともに、関連の講座で資料の貸出やパスファインダーによる情報等を提供しています。	健康福祉部主催健康カレッジへの資料提供 医療健康情報レクチャー4回(岡町2回・服部1回・蛭池1回) 医療情報コーナーの充実	カレッジへの関連図書の展示や貸出、岡町以外でレクチャーを実施することができまし。また資料購入し、蔵書の充実を図りました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-A		
196 市民健康診査	保健所 地域保健課	市民への健康診査を実施しています。(内容)身体測定・血圧測定・尿検査・血液検査・医師診察	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。H25年度受診数:2,826人	生活習慣病を早期に発見、また生活改善が必要な人の相談に応じることで、生涯を通して健康づくりに貢献することができました。	継続							●	●	●	VII-B	
197 がん検診	保健所 地域保健課	市民への各種がん検診を実施しています。(内容)大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・前立腺がん	豊中市医師会と委託契約を締結し、医療機関での個別検診を実施しました。検診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団検診を実施しました。H25年度受診数:27,956人(大腸がん)・6,408人(胃がん)・5,050人(肺がん)・7,663人(乳がん)・13,135人(子宮がん)・8,117人(前立腺がん)	がんの早期発見を目的に、健康の保持・増進を図ることができました。	継続				●	●	●	●	●	●	VII-B	
198 骨粗しょう症検査	保健所 地域保健課	市民(女性)への骨密度測定を実施しています。	検査業者と委託契約を締結し、集団骨密度測定を実施しました。H25年度受診数:1,015人	骨粗しょう症予防のための骨密度測定を受診・指導を受けることで、生活習慣の改善につながりました。	継続				●	●	●	●	●	●	VII-B	
199 特定健康診査・特定保健指導	保健所 地域保健課	市の国民健康保険加入者を対象に健康診査および保健指導を実施しています。(健診の内容は市民健康診査と同様)。集団健診では、看護師が「高血圧」(高血圧者)、「たばこ」(喫煙者)、「アルコール」(飲酒ありの人)のチラシを配布しています。保健指導では、「全体」「運動メイン」「食事メイン」の講座や、保健師との個別での面接などを実施しています。	豊中市医師会等と委託契約を締結し、医療機関での個別健診を実施しました。健診業者と委託契約を締結し、巡回バスによる集団健診を実施しました。H25年度健診受診者:18,145人 特定保健指導 計396人(実施率18.6%) :動機づけ支援 350人 :積極的支援 46人、	生活習慣病を早期に発見、またメタボ該当者(ハイリスク者を含む)に指導を行うことで、生涯を通して健康づくりに貢献することができました。	継続								●	●	VII-B	I-A II-A IV-A V-A VII-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
200 保健事業(疾病予防費)	保険窓口センター 保険給付課	人間ドック・脳ドックの費用の7割を助成します。また、市民健康展において骨粗しょう症予防のための骨密度測定及び保健師による生活指導を行います。国民健康被保険者の健康の保持・増進を支援するための事業。(人間ドック事業については壮年期以降が対象)	人間ドック:1,348件 脳ドック:112件 セット:1,100件 市民健康展で骨密度測定時の保健指導:開催1回 参加人数:221名	受診により重大な疾病の早期発見につながり、健康の保持・増進に寄与していると考えられます。	継続				●	●	●	●	VII-B	
201 幼稚園幼児健康管理	保育幼稚園室	園児の健康増進、園の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	健康調査・健康検査など進めてきました。	滞りなく実施できました。	継続		●		●	●	●	●	VII-B	VI-B
202 小中学校教職員健康管理	教育推進室	小学校および中学校教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施をめざすため、定期健康診断の実施、がん検診等を実施します。	府費負担教職員定期健康診断、がん検診の実施と、それぞれの結果送付及び受診勧告を行いました。	検診未受診者に対する受診勧奨を強化し、要精検者には2回文書で勧奨することで、受診につなげることができました。	継続				●	●	●		VII-B	
203 妊婦健康診査	保健所 保健予防課	妊婦の健康管理として母子健康手帳の交付時などに受診券を発行し、かかりつけ医にて個別健診を行います。	妊婦健診受診数 3,668件 受診率 97.3% 妊婦健康診査公費助成額は平成25年度は81,100円に増額しました。	経済的負担の軽減と積極的な受診を促し、すべての妊婦が安心して受診できるようにしました。平成25年度増額について、妊婦や医療機関に情報の周知徹底を行いました。	継続	●							VII-C	VIII-A VIII-B
204 母子健康手帳交付事業	保健所 保健予防課	母子健康手帳の交付の機会を通じ、すべての妊産婦等と面接をすることにより個々の妊婦が持つ不安や悩み、喫煙や飲酒などを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介等の援助を行います。(妊婦相談、父親向け小冊子やマタニティーバッジ交付)	妊娠届出数 3,771件、専門職で面接。SBS(乳幼児揺さぶれら症候群)についての啓発。母子健康手帳交付時のマニュアルの見直しを行いました。	母子健康手帳交付時のマニュアルを見直し、面接の統一化を図り支援の必要な妊婦に対して早期から関わりを始めることができました。	継続	●							VII-C	IV-A V-A VIII-A VIII-B
205 助産制度	こども政策室	生活保護受給等の経済的な理由で入院出産ができない人を対象に、指定する病院で出産できるものです。	随時受付 入所者数 23名	相談及び受付を滞りなく行いました。	継続	●							VII-C	
206 青少年学習活動推進事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	青少年の文化芸術活動やスポーツ活動、その他さまざまな体験活動などの学習活動を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 497回 参加延人数 14,244人 野外体験活動やスポーツ活動等を実施しました。	事業を通して差別を考える仲間づくりを軸とした青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続			●					VII-D	II-B III-A
207 青少年学習活動推進事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	人権の仲間づくりを基盤とした文化・スポーツ・体験等の活動を通して、人との関わり、人とつながることの大切さを学ぶとともに、自分らしく生きる力や人権感覚などを育みます。	文化活動教室 実施回数 30回 延参加人数 240人 スポーツ活動教室 実施回数 99回 延参加人数 1,452人 体験活動教室 実施回数 36回 延参加人数 613人	継続的な活動を通して、子どもたちそれぞれの生きる力や人を大切にできる心が育まれています。例えば、障害児と健常児が関わる中で、障害児の保護者にとっては我が子自身の成長に驚き、周りの子どもたちが自然に受け入れてくれることを確認できる機会となっています。	継続			●					VII-D	II-B III-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
208 子育て支援事業	人権政策室 豊池人権まちづくりセンター	保護者同士がともに子育てを考えていく関係づくりや自主的に子育てを考える関係づくりをすすめるため、人権に視点を置いた子育て支援を行い、地域における子育てネットワークづくりと心地よい子育て環境づくりを推進しています。	事業実施回数 707 回 参加延人数 16,739 人 子育て交流広場、健康づくり学習会等を実施しました。	人権の視点から、子育てを支援するとともに、人権教育の推進に貢献しました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D	
209 子育て支援事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	子どもたちが、安全・安心な居場所として児童館を利用する中で、子どもの人権を大切にしたい子育てを考える学習会や、就学前の子どもと保護者を対象にした取り組みなどを通して、子どもたちの育ちを見守るネットワークづくりを支援しています。	轟レインボークラブ入会説明会 実施回数 5 回 延参加人数 76 人 親子交流会 実施回数 13 回 延参加人数 111 人 あそびの広場 実施回数 52 回 延参加人数 953 人 施設利用・遊具貸し出し 実施回数 291 回 延参加人数 30,655 人	あそびの広場においては子ども自身が選択をして居場所を作っており、生活習慣の一部としている子どもも多く見られます。生活課題や生きにくさを感じている子どもには、学校、保護者、各専門機関とも必要に応じて連携しながら継続した問題解決への支援・見守りを行っています。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-D	
210 豊能広域こども急病センター負担金	保健所 保健企画課	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行います。	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)における休日夜間等における小児一次救急の拠点としての豊能広域こども急病センターの円滑な運営を行いました。	豊能圏域(豊中市・吹田市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)における休日夜間等における小児一次救急の拠点として果たす役割は非常に大きいと考えます。また、センターの運営については経費のコストダウンに努めており、効率的で効果的な経営が行われています。	継続		●	●					VII-D	
211 健康教育(母子保健)	保健所 保健予防課	妊婦とその家族や産婦乳幼児などを対象に妊娠や出産、子育てに関する知識の普及を行います。(妊婦教室、お父さんのための子育て教室、離乳食講習会、すくすくよい歯の教室など)また、身体障害や小児慢性特定疾患などの長期療養児とその家族に対してピアサポートの場の提供や情報提供を行います。(障害児支援事業)	妊婦教室 83 回 延 1,037 人、お父さんのための子育て教室 12 回 延 989 人、離乳食講習会 48 回 延 1,442 人 すくすくよい歯の教室 26 回 延 680 人、母子健康教育 137 回 延 3,799 人、中学生を対象に、思春期教育 7 中学校、1,056 人 障害児支援事業 13 回 延 85 人	健康教育を引き継ぎ実施し、思春期の健康教育も増加しています。今後は地区活動として地域や学校の特性に応じて内容を検討し実施していきます。	継続	●	●	●	●				VII-D	I-A VI-A VIII-A VIII-B
212 乳幼児健康診査	保健所 保健予防課	乳幼児の疾病や障害の予防や早期発見・治療につなげるなど乳幼児の健康の保持増進とその家族の不安解消や必要な支援につなげるため、乳幼児に対して健診を行います。(集団健診の4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健診、個別健診の乳児一般健診、乳児後期健診)	集団健診として4か月児健診受診率95.3%、1歳6か月児健診受診率93.6%、3歳6か月児健診受診率88.6%、個別健診として乳児一般健診受診率86.4%、乳児後期健診受診率79.7% 職員のスキルアップを図るため従事者研修を開催。	乳幼児健診の受診率はほぼ横ばいで推移。中でも3歳6か月児健診の未受診者対策により受診率がやや向上しました。心身の発育発達の診査・虐待の予防及び早期発見・育児不安の軽減・相談窓口など情報提供については健診当日やその後のフォローにて、児と保護者に対し状況に応じた保健指導及び育児支援で対応しています。	継続		●						VII-D	I-A VI-A VIII-A VIII-B

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
213 二次健診	保健所 保健予防課	疾病や障害の早期発見・治療へつなげるとともに、乳幼児の健全育成をめざすため、医師や心理相談員による二次健診を行います。(にこりちゃん歯科健診、医師クリニックなど)また、乳幼児健診や二次健診の結果、精密検査が必要な乳幼児に受診票を発行し、医療機関の受診を促します。(乳幼児精密健康診査など)	にこりちゃん歯科健診受診率 48.6% 医師クリニック受診率 87.1% 療育クリニック受診率 87.8% 心理相談受診率 90.5% 精密健康診査受診票発行数 延 145 件	目的に沿った内容で対象児や保護者に応じた専門性のある診察・心理相談・健康相談・保健指導を提供できました。療育クリニックについて内容を見直した結果、新規・継続ケースともに減少傾向にあります。	継続		●	●						VII-D	VI-A
214 相談 (母子保健)	保健所 保健予防課	妊産婦・乳幼児の健全育成と安心して子育てができるように、妊産婦・乳幼児の保護者等の電話相談や来所による相談、健診後に育児状況などの確認が必要と思われる対象者に電話による保健指導を保健師等の専門職が行います。(妊娠出産子育て総合相談窓口含む電話面接相談、育児相談など)養育医療申請者を含む未熟児、身体障害など長期療養児とその家族の電話や来所による相談に保健師が応じます。(小児慢性特定疾患・身体障害児の相談)	妊娠出産子育て総合相談窓口含む電話面接相談 延 8,924 件 育児相談 173 回 延 1,051 件 母子保健サービス各事業の英語・中国語版を作成し、サービスの充実を図りました。未熟児や身体障害、小児慢性特定疾患、高度医療児等とその家族を対象とした育児・療育に対する相談を実施しました。	相談件数は増加傾向にあるため、小児慢性特定疾患・身体障害児への対応など相談窓口や母子保健サービスの充実を図りながら、育児不安の軽減に努めました。	継続	●	●	●						VII-D	I-A VI-A
215 訪問指導事業(母子保健)	保健所 保健予防課	安心して妊娠出産を迎え育児をスタートするために妊産婦や新生児に訪問を行います。(産婦新生児低出生体重児訪問指導等)子育ての不安や障害受容等必要と認められた人に対し保健師等の専門職が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や援助、受診勧奨等を行っています。虐待にならないようにサポートします。(妊婦、乳幼児、身体障害児や長期療養児等の訪問指導)	産婦・新生児・低出生体重児訪問指導 実 2,431 件 延 2,783 件 家庭訪問数 実 1,693 件 延 2,161 件 医療的ケア児の支援のために吹田市保健所と共催にて訪問看護ステーションに対して講演会を開催しました。	豊中市版特定妊婦、要支援児童のリスクアセスメントシートの活用が定着してきて、早期から発見・支援ができるようになりました。多くの訪問看護ステーションが小児の訪問・リハに関心を抱いていることがわかり参入へのイメージしやすいようにはたらきかけました。また慢性疾患児、医療的ケアが必要な児に対して必要な在宅支援が受けられるようにマネージメントに力をいれました。	継続	●	●	●						VII-D	VII-C VIII-A VIII-B
216 公害健康被害予防事業	保健所 保健予防課	15歳未満でぜん息やアトピー性皮膚炎などアレルギーの有症状で適切な治療を受けていない人に対して医師・保健師・栄養士が相談に応じたり、情報提供を行ったりします。(アレルギー講演会やアレルギー専門相談)乳幼児健康診査時に、アトピー性皮膚炎・ぜん息などの家族歴、有症状児に保健指導を行います。(アレルギー素因スクリーニング)	アレルギー講演会 3 回 114 人 アレルギー専門相談 12 回 83 人参加 アレルギー講演会でエビベン実習を実施。小中学校の全生徒へ夏休み前にチラシを配布。乳幼児、学童に関わる人材がアレルギーについて正しい知識を習得できるよう、ファミリーサポートの援助員へアレルギー講演会の案内をしました。	アレルギー専門相談への学童の参加が増加。今後も小中学校へのチラシ全数配布を継続します。乳幼児に関わる機会が多い、ファミリーサポートの援助員が講演会に多数参加しました。	継続	●	●	●						VII-D	VII-B

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
217 母子医療費助成事業	保健所 保健予防課	国庫補助(負担)事業である小児慢性特定疾患治療研究事業、未熟児養育医療給付事業、結核児童療育給付事業、不妊に悩む方への特定治療支援事業を実施しています。	小児慢性特定疾患治療研究事業申請者数:422人 未熟児養育医療給付事業申請者数:91人 結核児童療育給付事業申請者数:0人 不妊に悩む方への特定治療支援事業申請者数:567人	母子医療費助成事業を実施することにより、市民負担の軽減を図り、安心してすこやかな生活のできるまちづくりに寄与しました。	継続	●	●	●	●	●			VII-D	
218 乳幼児等医療費助成事業	保険窓口センター — 保険給付課	乳幼児等に対し医療費の一部を助成する安心して医療を受けることができる環境を整えることにより次世代を担う子どもたちの保健の向上と健やかな成長を支援する事業です。	(医療) 件数:363,914件 助成額:526,857,705円 (食事) 件数:2,214件 助成額:7,198,216円	乳幼児の医療費の一部を助成することにより、乳幼児が必要とする医療を経済的に保障し、その健康の保持及び福祉の向上に寄与していると考えられます。	拡充		●	●					VII-D	
219 ひとり親家庭等医療費助成事業	保険窓口センター — 保険給付課	ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成します。 ひとり親家庭等の生活の安定と児童の健全な育成を支援する事業です。	件数:80,303件 助成額:201,213,196円	医療保険の自己負担額の一部を負担することにより、受診を容易にし、健康の保持増進を図り、もって福祉の増進に寄与していると考えられます。	継続		●	●	●	●	●		VII-D	
220 冷房設備設置事業	保育幼稚園室	保育環境を整備し、保育内容を充実を図るため、冷房設備未設置園に冷房設備を設置します。	H24年度に冷房設備未設置の園に実施したので完了といたします。		完了		●						VII-D	
221 幼稚園施設運営	保育幼稚園室	市立幼稚園の保育業務が円滑に進むよう活動を支援します。	事業が幼稚園の管理運営に特化しているため、健康づくり関連事業としては完了とします。		完了		●						VII-D	
222 幼稚園子育て支援事業	保育幼稚園室	子育てに役立つ講座を開催したり、相談を行ったり、体験入園を行ったりし幼児の健やかな成長を助け、保護者の子育ての支援を行っています。 食育講座等も行っていきます。	子育て子育て支援講座…延 1,774人 子育て相談など…延 271人 体験入園…延 6,383 園庭開放…延 48,521人	多方面のジャンルで講座が行われ、子ども、保護者が各々参加しやすい状況でした。子育て相談も1対1で講師とゆったり話すことができ、好評でした。	継続	●	●	●	●	●	●		VII-D	I-C II-C VIII-C
223 放課後子どもクラブ運営	保育幼稚園室	放課後、帰宅しても保護者が仕事などで家庭に不在の市立小学校1年生～4年生(支援学級在籍児童及び本市に居住する支援学校在籍児童は6年生)までの児童に、遊びや学習などを通じて、自主的かつ自発的な生活態度や習慣を養うために必要な保護及び指導を行い、児童の健全育成を図ります。	平成25年5月1日の在籍数 2,854人 市内41小学校すべてで実施	クラブの活動中に、体を使った遊びを行うことで、体力づくりに資することができました。 全日開設日の弁当時に、食事マナーや食べ物の大切さを指導することで、食べ物と体づくりのつながりに気づくようになりました。	継続			●					VII-D	
224 保育(児童発達支援センター)	保育幼稚園室	体に障害のある子どもたちが地域や社会でのびのびと生活できるように支援しています。	親子通園で年齢に配慮したクラス編成を行い保育を実施しています。保護者や友達など人との関わりを大切にしています。	体調面などで通園回数が少ない子どもも多く保育の取り組みは大変な面もありましたが、表出が小さい子どもたちの“やりたい気持ち”を大切に保育することができました。	継続		●						VII-D	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
225 診察・看護・訓練 (児童発達支援センター)	保育幼稚園室	園児、外来児(者)の健康管理を行います。	体に障害を持つ子どもたちに対して、医師の指示のもとに理学療法、作業療法、言語療法等の訓練を実施しました。	機能訓練を実施することで、日常生活で本来子どもたちが持っている力を利用することができるようになり、子どもたちの生活の幅が広がります。	継続		●						VII-D	
226 私立幼稚園振興助成金	保育幼稚園室	1. 私立幼稚園振興財団の実施する幼児教育の向上のための事業補助を行います。 ①特色ある幼稚園教育 ②尿・ぎょう虫検査 ③教職員研修 ④園児診察料 ⑤連合会事業 2. 「地域に開かれた幼稚園づくり事業」各私立幼稚園が実施する幼児教育の充実および子育て支援のための事業補助を行います。 3. 「障害児保育助成金」各私立幼稚園で障害のある幼児を受け入れのためにかかる費用の補助を行います。	豊中市内の私立幼稚園 33 園 に対し、補助を実施しました。	各幼稚園で補助要件による事業が行われており、園児の幼少期の体づくりに資することができました。	継続		●						VII-D	
227 小学校医療費援助	教育総務室	学校保健安全法第 24 条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行うものです。	4,740 枚の医療券を発行しました。	援助を要する児童の健康促進に努めました。	継続			●					VII-D	
228 中学校医療費援助	教育総務室	学校保健安全法第 24 条で指定する感染症又は学習に支障を生ずるおそれのある疾病で、政令で定めるものの治療のための医療に要する費用について必要な援助を行うものです。	1,179 枚の医療券を発行しました。	援助を要する生徒の健康促進に努めました。	継続			●					VII-D	
229 図書活動	教育センター	児童生徒の自発活動を奨励し、個性の伸長をはかるとともに自主的で創造性に富んだ情操豊かな児童生徒を育成し、少年文化の向上をめざします。	図書ラウンジ活動を年間 280 回 行い、楽しいつどいを 91 回、おはなしと折り紙を楽しむ会を 3 回 開催し、図書活動の述べ利用人数は 7,670 人でした。	読書や制作を通じて、児童生徒の豊かな情操の育成に寄与することができました。	継続		●	●					VII-D	
230 子どもの居場所づくり (提案公募型委託事業)	教育センター	地域で子どもたちが遊び、憩い、学び、つながる場が必要とされています。このことから、地域とともに気づき、学べる場として、日曜日や長期休業中の地域における子どもたちの居場所づくりを行い、「子ども文化」をキーワードに未来に生きる子どもたちを健やかに育んでいく場を創出・提供していきます。親子クッキング、お菓子作りの講座も実施します。	休館日を除く毎週日曜日等に事前申し込み不要の図書ラウンジや卓球台開放、読み聞かせ等を行いました。また、親子クッキング、お菓子作りの講座を開催しました。	地域の子どもたちが過ごす居場所になるとともに、子どもたちを健やかで心豊かに育んでいく場を創出・提供することができました。	継続		●	●					VII-D	I-C
231 就学時健康診断	教育推進室	就学予定者の心身の状況を把握し、入学後の学校生活の円滑な実施に資するため、就学時の健康診断を実施します。	10 月末から 12 月中旬まで7会場で計 16 回実施した。未受診者には市立豊中病院で未受診者検診を実施しました。	聴力・視力、歯科・耳鼻科・内科・眼科の健康診断で健康状態の確認や、入学に向けての相談を行った。受診率は 96.2%と高率でした。	継続		●						VII-D	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
232 児童生徒の健康管理	教育推進室	小学校児童および中学校生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、毎学年定期的に健康診断を実施します。	①児童の定期検診(内科・歯科・眼科・耳鼻科)・尿検査・心臓検診・結核検診・ぎょう虫検査を実施しました。 ②生徒の定期検診(内科・歯科・眼科・耳鼻科)・尿検査・心臓検診・結核検診を実施しました。	心臓検診では1校につき2~3回巡回し未受診者を減らすことにつながりました。尿検査においては3回実施の機会をつくることで受診率の向上が図れました。	継続			●						VII-D	
233 学校災害給付(豊中市学校災害見舞金)	教育推進室	学校管理下におけるけが等に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行うことで、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点未満のけが事案及び障害見舞金にかかる申請に対して、豊中市学校災害見舞金の給付を行いました。	災害見舞金の給付により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続			●						VII-D	
234 学校災害給付(給付金)	教育推進室	学校管理下におけるけが等に対して、(独法)日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、児童生徒の健康の保持増進を図ります。	学校管理下における医療総額点数が500点以上のけが事案にかかる医療費支払請求を受け、(独法)日本スポーツ振興センターへの治療費等の給付手続きを行い、センターより支払われた医療費を保護者の口座に振り込むことにより給付を行いました。	給付金の支給により、保護者の負担軽減やトラブル回避にもなり、保護者の安心の一助となりました。	継続			●						VII-D	
235 学校配当	教育推進室	小学校および中学校の保健室で使用する医薬材料やプール薬品の配当を行い、学校の保健環境の向上を図ります。	医薬材料品については学校からの購入希望を受け、配当予算枠内で執行しました。プール薬品については、年度当初一括して購入希望数量調査を行い、市による契約・入札によって購入し、学校に配付しました。	保健室・プールをはじめ、学校の保健・体育環境の向上が図れ、児童の健康の保持増進につながりました。	継続			●						VII-D	
236 三世代交流事業	青少年育成課	シニア世代と子どもたち及びその保護者を含めた三世代が、自然の中で遊びながら自然について学び合います。	日帰り事業の実施(4回)	子ども世代、親世代、シニア世代が自然の中で交流しながら、思いやりや共感など豊かな感性を培い、青少年の健全育成を行うことができました。	継続		●	●	●					VII-D	
237 野外活動事業	青少年育成課	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。キャンプスクール、ジュニアサマーキャンプなどを行います。	ジュニアサマーキャンプ 3泊4日 小学校5・6年生 8人 キャンプスクール 2泊3日 小学校3・4年生 40人 青少年カーニバル 1日 市民 700人 ユースチャレンジキャンプ 4泊5日 15歳以上の若者 11人 サイエンスキャンプ 2泊3日 小学校3・4・5年生 25人	青少年が、豊かな自然環境の中で、集団活動による衣食住の体験を通して自己の健康づくりの大切さ、仲間づくりの大切さを実感してくれました。	継続			●	●					VII-D	
238 青少年自然の家施設運営管理	青少年育成課	民間のノウハウを活用した運営及び青少年健全育成に資する事業を実施します。	小・中学校や家族を対称に、自然の中で野外活動事業(野外料理等)・里山事業(植林等)等を実施しました。(利用団体数 338、主催事業数 17)	自然の家の利用者は、増加傾向にあります。参加者は、リピーターが多く継続した関わりができることにより、知識等の向上が図ることができました。	継続		●	●	●					VII-D	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
239 青年の家のいきま主催事業	青少年育成課	青少年に学習機会を提供します。プラネタリウムドームを活用し若者に活動の場を提供します。	夏休みの自習室開放や高校生以上のバンド活動や練習成果の発表の機会等を提供しました。延べ参加者 4,913人	バンド活動に参加するメンバーが自分たちで、ライブの企画運営を行うことで、さまざまな課題を解決していくことから学ぶ機会を提供できました。	継続			●	●					VII-D	
240 次世代育成講座	中央公民館	子育て・子育て親育ち事業や世代間交流事業など次世代育成に係る講座や講演会を実施します。	「親子ふれあい体操」等の子育て・子育て親育ち事業を4公民館で53講座111回実施し、4,000人が参加しました。	開催する講座数及び参加者数が増加し、各事業参加者の満足度が高かったです。	継続	●	●	●	●	●	●	●		VII-D	
241 子どもをとりまく読書環境整備の取り組み	読書振興課	図書館職員による読み聞かせと保健師によるお話や育児相談を行う「すくすくあかちゃんタイム」や図書館職員による読み聞かせと歯科衛生士による子どもの歯の健康に関するお話を行う「食育コラボ～みんなでは・は・は」など、子どもの体や健康に関する事業を実施。「みんなでは・は・は」は成人向けにも実施し、歯科衛生士による口腔機能の講座と、図書館職員による関連本の紹介・展示を行っています。	「すくすくあかちゃんタイム」は8館で実施。「食育コラボ～みんなでは・は・は」は乳幼児向けを6館・成人向けを1館で実施。	「すくすく」「ははは」とともに健康に関する講座だけでなく、個別に質問・相談もできるとアンケートで好評でした。	継続		●					●		VII-D	
242 ブックスタート事業「えほんはじめまして」	読書振興課	4か月児健診において対象者一人一人に言葉かけをして絵本を手渡し、家庭ですぐに絵本を開いて保護者と赤ちゃんが楽しみながらゆったりとしたコミュニケーションの時間を持つきっかけとしています。また乳幼児と気軽に利用してもらえる施設として、近隣の図書館や子ども文庫などを案内。ボランティア、図書館、保健予防課の三者が連携することで、地域で子育てを支援していることを伝える機会ともなっています。	3会場で48回実施。未受診者へは保健師の家庭訪問や絵本の引換券を通じて対応し、合計3,689人に実施。ボランティアを含めスタッフ間の研修や情報共有のためのスタッフミーティングは4回実施し、事業に対する共通の理解を深めました。前年に開催した「子育て座談会」を1回、「巡回写真展」を図書館を中心に7か所で行い、広く市民に周知しました。	今年度も健診の間に、赤ちゃんと保護者にリラックスして本と親しむ機会を提供することができました。事業の定着とともに、未受診者への対応件数も増え、地域で子育てを支援する体制へつなぐ機会となっています。スタッフ間の情報共有をすすめることにより、さらに細やかな対応や事業の改善につながりました。市民に事業の様子を周知することで、健診事業も含め、市が子どもの健やかな育ちへの支援をしていることを広く伝える機会となっています。	継続		●							VII-D	
243 ボランティアセンター事業	豊中市社会福祉協議会	1歳6か月児健康診査時の対象児兄弟姉妹への対応のためのボランティア活動の調整やボランティア体験プログラム等の継続により、ボランティア育成にも努めています。	派遣ニーズ受付件数 307件 ボランティア体験プログラム 113名(延べ173名)参加	様々なニーズに応えるだけでなく、ボランティア入門講座や体験プログラムを行うことでボランティアへの理解、育成しています。市民がボランティア活動に参加することで、自身の健康増進につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●			VII-D	VII-F

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
244 感染症予防事業	保健所 保健予防課	(普及啓発)HIVなどの性感染症やその他の感染症などについて、予防や治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。(検査・相談)エイズなどの予防・啓発・症状・感染・治療・療養生活について、医師・保健師が相談に応じ、検査を実施しています。(発生時対応)感染症発生時、患者や接触者の状況を把握し、感染拡大を防ぐための対応を行います。	HIV/AIDS 啓発事業・健康教育:6回、3,222人参加 感染症啓発事業・健康教育:4回、104人参加 電話相談:243人 HIV 抗原抗体検査(毎週火曜日実施):218件 HIV 即日抗体検査:年2回実施	HIV/AIDSについては、検査の勧奨を年間通して行いました。成人の日には、母子保健グループとともにコンドームの配布を行いました。 ノロウイルス感染症などの相談対応では、施設などへの訪問を行いました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-E	
245 結核予防事業	保健所 保健予防課	(普及啓発)結核の予防ならびに結核の早期発見と治療に必要な正しい知識の普及啓発を行います。(患者支援)結核患者等に医療費公費負担の申請、療養相談、日常生活について医師や保健師などが相談に応じます。家族・接触者への健診を行うことで結核のまん延防止に努めます。	啓発事業:10回 2,451人参加 家族・接触者健診:家族 143人、患者接触者 358人 患者療養支援:電話相談 1,249件	結核患者は高齢者が多いため、高齢者に接する関係者に対して結核についての啓発を行った。また、診断が遅れて感染拡大しないよう医療機関向けにもチラシでの啓発を行いました。 また、肺がん検診の受診勧奨をすることが、結核の早期発見につながることも啓発しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-E	
246 急性灰白髄炎(ポリオ)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:5,621人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●							VII-E	
247 日本脳炎予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:13,519人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●	●						VII-E	
248 インフルエンザ予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:44,197人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続					●			VII-E	
249 ジフテリア・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:1,807人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●						VII-E	
250 ジフテリア・百日せき・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:4,048人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●	●						VII-E	
251 麻しん及び風しん予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:6,932人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●							VII-E	
252 結核(BCG)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:3,127人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●							VII-E	
253 予防接種関連事業	保健所 地域保健課	予防接種事業を円滑に遂行するため啓発活動などを行います。	市広報誌、ホームページ、案内チラシなどで啓発活動を実施しました。	市民に対し、予防接種を円滑に遂行するため啓発活動を実施することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-E	
254 子宮頸がん予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:925人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●					VII-E	
255 インフルエンザ菌B型(ヒブ)予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:16,003人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●							VII-E	
256 小児用肺炎球菌予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数:15,525人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続	●							VII-E	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
257	ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎(ポリオ)・破傷風予防接種	保健所 地域保健課	感染症の発症及び蔓延を予防するための予防接種を実施します。	実施者数: 11,602 人 (豊中市医師会等と委託契約)	感染症の発症及び蔓延を予防できました。	継続		●	●						VII-E	
258	風しん予防接種費用助成事業	保健所 地域保健課	赤ちゃんの先天性風しん症候群予防のため、風しん予防接種の費用助成を行います。	平成 25 年度助成者数 2,069 名	赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防することができました。	継続				●	●	●			VII-E	
259	健康被害補償	保健所 地域保健課	定期予防接種による健康被害救済事業	定期予防接種による健康被害が生じた方に医療費や障害年金など、健康被害補償を実施しました。	定期予防接種による健康被害が生じた方に適切に健康被害補償を行うことができました。	継続		●	●	●			●		VII-E	
260	青少年自主活動支援事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	青少年の自主活動を支援するとともに青少年リーダーを養成する中で、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図っています。	事業実施回数 316 回 参加延人数 4,302 人 青年リーダー研修や学習クラブ等の事業を実施しました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●		VII-F	
261	青少年自主活動支援事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	小・中学生の学習習慣づくりと自学自習力の向上を支援しています。また、児童館事業での子どもとの関わりを通して、人権・同和問題を共に考える青少年リーダーを養成しています。	ボランティアリーダー 実施回数 118 回 延参加人数 139 人 インターンシップ・教育実習 実施回数 29 回 延参加人数 151 人 青少年指導者養成講座 実施回数 2 回 延参加人数 19 人 はなまるまなびのひろば 実施回数 32 回 延参加人数 150 人 学習クラブ 実施回数 96 回 延参加人数 460 人	講師や職員間の中で、誰が何に弱いのか、どんな手を差し伸べられるのかを確認し合えることにより、子どものやる気や集中力が高まっています。また、青少年リーダーとして役割を担ってもらうことで、人と人との関わり大切さを知る機会となっています。また、障害のある子どもたちも参加できる場となっています。	継続		●	●	●	●	●	●		VII-F	
262	地域交流活動促進事業	人権政策室 蛸池人権まちづくりセンター	さまざまな交流事業を通して、青少年の豊かな育ちを支援するとともに、地域での青少年や保護者の自主的な活動を支援し、豊かな人間関係づくりを促進しています。	事業実施回数 178 回 参加延人数 6,017 回 高齢者との交流や蛸池小学校・十八中学校との交流事業を行いました。	事業を通して、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることができました。	継続		●	●	●	●	●	●		VII-F	
263	地域交流活動促進事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	地域の団体や関係機関などと連携しながら、多くの子どもたちや保護者などが参加する交流事業を実施しています。また、この取り組みを通して、地域で活動するさまざまな世代の人や団体などとの交流を深め、子どもを取り巻く環境づくりの支援を行っています。	ふれ愛ネット関係 実施回数 18 回 延参加人数 847 人 夏まつり関係 実施回数 6 回 延参加人数 2,117 人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数 5 回 延参加人数 840 人 おはなし会 実施回数 3 回 延参加人数 27 人 自主サークル関係 実施回数 38 回 延参加人数 301 人 世代間交流活動 実施回数 12 回 延参加人数 155 人 保育教育協議会関係 実施回数 7 回 延参加人数 111 人 保小中連絡会 実施回数 6 回 延参加人数 26 人	地域の人が集う行事や活動に子どもたちが参加することにより、社会的な経験を豊かにしていく機会となっています。また、子どもの想いや生活状況に即した課題や問題について、小中学校との連絡会やふれ愛ネットの見守り等によりタイムリーな解決や対応ができる体制へと取り組みが進んでいます。	継続		●	●	●	●	●	●		VII-F	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
264 情報収集・提供等 事業	人権政策室 蛸池人権まちづ くりセンター	青少年の健全育成や子育てに関する 今日的課題について情報収集し、地 域における青少年や保護者の自主的 活動を促進する学習情報や人権に関 する情報を発信しています。	事業実施回数 39 回 参加延人数 487 人 児童館だよりの発行、事業実施案内の提 供、関係機関との意見交換を行いました。	人権意識の高揚と差別や偏見の ないまちづくりの推進を図ることが できました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F		
265 情報収集・提供等 事業	人権政策室 豊中人権まちづ くりセンター	児童館事業などの広報をはじめ、自主 的活動を促進する学習情報、人権・ 教育・子育て・子どもなどに関する情 報を収集・発信しています。また、人権 に関する学習機会の提供を行ってい ます。	小中学校地域学習 実施回数 7 回 延参加人数 337 人 じどうかんだより発行 発行回数 10 回 発行部数 24,100 部	情報提供により児童館事業に対す る市民のニーズが高まり、利用者 が増加するなどの成果が出ていま す。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F		
266 生涯学習事業	人権政策室 蛸池人権まちづ くりセンター	幅広く文化活動を行うことにより、地域 で一貫した生涯学習機能の充実を図 っています。	事業回数 466 回 参加延人数 6,492 人 識字教室や現代的課題講演会、登録サー クルの育成と支援を図りました。	人権意識の高揚と差別や偏見の ないまちづくりの推進を図ることが できました。	継続							●	●	VII-F	
267 生涯学習事業	人権政策室 豊中人権まちづ くりセンター	人権を大切にす豊かな人間関係と 文化創造をめざした生涯学習活動を 支援する事業を行っています。	識字教室 実施回数 33 回 延参加人数 379 人 サークル育成関係 実施回数 991 回 延参加人数 11,829 人 人権文化まちづくり講座 実施回数 6 回 延参加人数 366 人 人権パネル展 実施回数 8 回 延参加人数 2,614 人 地域体験学習支援 実施回数 6 回 延参加人数 111 人	生涯学習活動への支援を通じて、 差別や偏見のない一人ひとりの人 権が尊重されるまちづくりをめざし て、今後も継続して取り組んでいき ます。	継続							●	●	VII-F	
268 地域交流事業	人権政策室 蛸池人権まちづ くりセンター	人権を軸とした地域交流の推進と人 権文化のまちづくりを地域に寝付かせ るため、地域の関係団体・機関と連携 し、人権同和問題解決に向けた情報 発信をすすめています。	事業回数 22 回 参加延人数 6,937 人 総 合相談事業の充実、ケース検討会議、支援 方策検討会議等を行いました。	地域の関係諸団体と協働して事 業を行うことにより、人権意識の高 揚と差別や偏見のない人権尊重 のまちづくりの推進を図ることが できました。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F		
269 地域交流事業	人権政策室 豊中人権まちづ くりセンター	様々な地域の交流事業を促進し、共 に生きる地域社会の実現を地域の機 関・団体等と協働して進めています。	夏まつり関係 実施回数 6 回 延参加人数 2,114 人 人権まちづくりフェスタ関係 実施回数 11 回 延参加人数 982 人 世代間交流事業 実施回数 12 回 延参加 人数 417 人 克明ささえあいネット活動 実施回数 7 回 延参加人数 82 人	今後も、多くの関係団体と協働し、 人権尊重のまちづくりをめざし継続 して取り組んでいきます。	継続		●	●	●	●	●	●	VII-F		
270 健康福祉サービス 苦情調整委員会	地域福祉室	健康福祉サービス受給にかかる市民 等から苦情や相談を受け、調整を行 います。	健康福祉サービスの苦情調整を行いま した。苦情相談件数:39 件	利用者の権利擁護、利用者本位 のサービス選択、利用者支援に貢 献しています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F		

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
271 被爆者援護事業	地域福祉室	被爆者に対する健康相談等の相談事業を実施しながら会員の福祉向上を図るとともに、被爆体験の伝承を通じて、核兵器と戦争のない平和な社会の実現をめざします。	被爆伝承活動は小学校等からの依頼により年間13回開催しました。被爆者相談対応件数は、年間のべ498件でした。	原爆に関する各種行事や相談支援活動および伝承活動を積極的に進めており、成果は高いです。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
272 献血推進事業	地域福祉室	献血普及のための啓発、献血の計画および実施、献血広報活動、地域献血組織の育成等を行います。	市内の各地域において、献血推進協議会主催の献血事業を73回、その他団体主催の献血事業を59回実施しました。	献血者数は5,000人を超えた高値で推移していますが、近年は献血者数の減少がみられるため、より積極的な広報・啓発が必要だと考えられます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
273 社会福祉協議会事業補助	地域福祉室	社会福祉協議会に対して事業補助を行います。	社会福祉協議会の対象事業に対して補助金を交付しました。CSW配置事業支援相談件数:963件	補助対象事業に対し、十分な成果が出ています。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
274 地域活動支援センター事業	いきいきセンター 障害福祉課	・活動支援型:創作的活動、生産活動、社会との交流促進、食事・入浴等の日常生活における便宜の供与、機能訓練・社会適応訓練等を行います。 ・相談支援型:創作的活動、生産活動、社会との交流促進、福祉サービス・社会資源を活用するための支援、施設や病院から地域に戻るための支援、ピアカウンセリング、権利擁護のための援助、障害当事者活動の育成、地域住民ボランティアの育成、啓発活動等を行います。 (地域活動支援センタークム、サポートセンターへに委託)	活動支援型:延べ207人 相談支援型:延べ16,590人	障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な便宜の供与を行うことができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	III-B III-C VIII-C	
275 街かどデイハウス事業運営補助	いきいきセンター 高齢者支援課	要支援・要介護認定を受けていない高齢者に介護予防サービスを提供する住民参加型非営利団体等に対し、運営費補助等の補助金を交付します。(事業内容:健康チェック、健康体操、筋力トレーニング等の介護予防活動、給食、レクリエーション等の日常生活向上に資する事業)	延利用人数:15,029人 延利用時間数:83739.5時間	24年度途中から新規の街かどデイハウスが始まり、利用者は増えています。新しい講座の開催もあり、意欲的に活動しています。	継続								●	VII-F	
276 高齢者虐待防止ネットワーク会議	いきいきセンター 高齢者支援課	ライフセーフティネット総合調整会議の高齢部会を「高齢者虐待防止ネットワーク会議」として位置づけ、関係機関の連携を図ります。	ライフセーフティネット総合調整会議開催回数:1回	関係機関で意識的に、また計画的に高齢者虐待防止に取り組む、ライフセーフティネット総合調整会議を開催しました。	継続								●	VII-F	
277 保健医療審議会	保健所 保健企画課	市長の諮問に応じて豊中市の保健医療についての総合的な施策その他の重要事項について調査審議し、意見を答申することを目的に設置しています。行政職員を含め学識経験者、市民委員などで構成されています。(豊中市保健医療審議会規則)	3回開催。新型インフルエンザ等対策行動計画の策定を中心に、豊中市における健康づくりの進め方についてご意見をいただきました。	事業者や市民等の目線から意見をいただくことで、疑問を持たれやすい部分を解消しつつより充実した内容となりました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
278 地域保健等諸活動 団体支援事業	保健所 保健企画課	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会、豊中精神保健福祉協議会、豊中公衆衛生協力が地域のために 行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部を補助します。	左記団体が地域のために行う保健・医療・福祉の連携、健康教育、健康情報の発信、会員の資質向上等の活動に係る経費の一部について補助を行った。 【補助実績】 豊中市医師会(6,571千円)、豊中市歯科医師会(2,742千円)、豊中市薬剤師会(1,009千円)、豊中精神保健福祉協議会(151千円)、豊中公衆衛生協会(151千円)	各種団体による活動内容の継続及び充実が図れました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
279 難病事業(地域ケア システムの構築)	保健所 保健予防課	医療・保健・福祉等の関係機関と、連携会議や、研修会を通して、機関相互の連携を深め、難病患者支援システムの質の向上に努めます。	北部地域の保健所(池田・吹田・豊中市)で患者の療養支援体制づくりのために北部地域神経難病医療ネットワーク会議等を2回開催。関係機関向け研修会を3回開催。	ネットワーク会議では連携システム等について検討しました。関係機関研修会では、難病についての知識、技術等の情報提供に努めました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
280 休日等急病診療事業	保健所 保健予防課	(一財)豊中市医療保健センターに事業委託し、市立庄内保健センターにおいて、医療機関の体制が不十分である日曜日、祝日、休日、夏期(8月14日・15日)及び年末年始における内科、小児科、歯科の急病患者を受入れます。	庄内保健センターにおいて、延べ診療日数73日、延べ患者数2,143人の診療を行いました。	医療機関の体制が不十分な休日等に診療を行うことにより、市民の健康の保持に寄与しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	VII-F	
281 健康づくり推進員会 事業	保健所 地域保健課	市が行う保健福祉等に関する事業を市民の立場から普及啓発を行います。	・健康づくり推進員会:校区数24校区、推進員数181人 ・市民健康づくりフォーラムの実施:参加人数104人 ・校区健康教室:56回、参加者数1,469人 ・校区健康づくりサポート事業:67回、参加者数8,545人	市民の自主的な団体として、市民の健康づくりの推進と保健福祉の向上を目的に活動。小学校区単位に健康づくり推進員及び代表者を配し、保健行政と地域との連携の役割をも担います。	継続				●	●	●	●	VII-F	I-C II-C III-C VI-C
282 子育てつどいの広場 事業	保育幼稚園室	乳幼児とその親が集う場の提供や育児相談を実施します。	つどいの場の提供 2,886組 6,244人	保護者が相談しやすい雰囲気づくりを行い、参加人数を少なくして、ホットタイムを実施しました。子育て支援センターとの地域的な整合性を検討中です。	継続	●	●			●	●	●	VII-F	
283 子育て支援センター ほっぺ事業	保育幼稚園室	地域の子育て支援センターを統括する中核的な施設として、子どもの視点に立った子ども施策の企画調整、子育て・子育て情報の受発信や相談、子育て講座、地域の子育てを支援する人材の育成等を行い、さまざまな子育て・子育て支援活動をサポートします。 食育講座なども行っています。	子育て相談 2,023件 ほっぺ講座(食育講座を含む) 12回	子育て中の保護者から、授乳・卒乳・離乳食についての相談が数多く寄せられます。そこで、外部講師を招き『食育から学ぶ、良い加減な子育て』というテーマのもとに「ほっぺ講座」を実施し好評を得ました。	継続	●	●			●	●	●	VII-F	I-C II-C VIII-A

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野			
						妊	幼	少	青	壮	中	高					
284 地域子育て支援センター事業	保育幼稚園室	地域の子育て支援の拠点施設として市内16か所(てしま幼稚園内含む)において、子育て相談、情報提供、講座の開催、サークルの育成、あそびや交流の場の提供を行いません。子育て関係機関・団体と連携のもと地域の子育てネットワークづくりに取り組みます。食育講座等(はみがき指導)も行っていきます。	子育て相談 18,791件 センター講座(食育講座を含む) 168回	所内の畑で育てた野菜を利用して、保育所技能員と連携を図りながら講座を実施しました。日ごろは食べない野菜もたくさんの友達と一緒に食べましたという声もいただき、食に触れる機会となりました。	継続	●	●					●	●	●	VII-F	I-C II-C VI-B VIII-A	
285 寄り添い型学習・生活支援事業	教育センター	青少年の社会的自立に向けて、高校進学・卒業等への支援を行います。生活自立支援の一環として軽運動やクッキング等を実施しています。	中学3年生～高校3年相当年齢の青少年に生活支援の一環として、バスケットボールや卓球等の軽運動、コロッケや豚汁など身近なメニューを中心としたクッキングを実施しました。	対象の青少年が高校進学・卒業等に向け、心身の健康を考えたり、技能を身に付けてたりすることができました。	継続			●	●							VII-F	I-C II-A
286 修学旅行等付添看護師派遣事業	教育推進室	修学旅行等泊を伴う行事において、付添看護師派遣の助成事業を行い、子どもの健康管理及びけが・疾病への対応を行うことにより児童生徒の安全を確保します。	派遣要望のあった小中学校57校に対し、延べ60人の付添看護師への謝礼金及び旅費の執行により助成事業を行いました。	宿泊行事中の児童生徒全体の健康管理及び配慮を要する子どもへの適切な対応が行われました。	継続			●								VII-F	
287 各種負担金・補助金(保健振興費)	教育推進室	豊中市学校保健会総会・専門委員会研修会・豊中市中学校体育連盟の充実発展に向け、開催・指導調整を行います。	各補助金交付要綱に基づき、豊中市学校保健会に対しては研修会及び啓発・活動関係経費として、豊中市中学校体育連盟に対しては総合体育大会・種目別大会運営費としてそれぞれ補助金交付を行いました。	それぞれの独自性・専門性を生かした事業・活動を展開でき、保健会では今日的課題に応じた研修会の実施、中体連では各大会の充実につながり活性化が図れました。	継続			●	●	●	●	●				VII-F	
288 小中学校環境衛生	教育推進室	小学校および中学校の環境衛生の向上を図るため、各種学校環境衛生検査を実施し、適切な環境の維持に努めます。	学校環境衛生基準に基づき、飲料水・貯水槽外観検査・プール水質検査・教室の照度及び空気検査を学校薬剤師により実施しました。	学校薬剤師の指導助言のもと、各種の検査を実施することにより適切な環境を維持することができ、学校の安心安全につながりました。	継続			●								VII-F	
289 遊びのボランティア紹介事業	青少年育成課	竹とんぼや飛行機づくり、手芸やけん玉など、昔ながらの遊びを含め、様々な遊びの技能を持った市民や団体を登録し、派遣を希望することも、学校、PTA、児童会などの団体に紹介します。	登録団体数:16団体 登録人数:118人 ボランティア内容:人形劇、マジバルーン、マジック、こま回し、リコーダー、弟子将遊び、けん玉、玉すだれなど	12,000人を超える子どもたちが、伝承遊びの魅力を満喫したり、音楽をとおした情操教育の機会を得たものと評価できます。子どもたちにとってもボランティア活動の大切さを感じてくれたと考えられます。	継続		●	●								VII-F	
290 コミュニティソーシャルワーカー配置事業	豊中市 社会福祉協議会	制度の狭間を担う専門職として、介護保険の生活圏域ごとに2名ずつ配置。福祉なんでも相談のバックアップや、地域福祉ネットワーク会議の開催などに取り組んでいます。	なんでも相談窓口相談件数 403件 CSW支援相談件数 963件 延べ対応件数 4,086件 地域福祉ネットワーク会議 14回開催 延べ1,120名参加	地域福祉ネットワーク会議では各圏域にある高齢、障害、児童などの施設が施設同士、また地域との関わりを持てるよう支援します。	継続	●	●	●	●	●	●	●				VII-F	III-C V-C
291 地域福祉活動支援センター事業	豊中市 社会福祉協議会	市立のデイサービスセンター内に設置された地域福祉活動支援センターにおいて、ボランティアに関する講座などを実施。また、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、さまざまな福祉相談に応じています。	延べ来場者数 14,744名 講座開催 19回 延べ269名参加 作品展開催 24回 延べ3,325名 来場車いす貸出 16件	様々な講座や展示を行うことで地域の人たちの交流の場を提供しています。また、相談に応じることで不安の解消につながっています。	継続	●	●	●	●	●	●	●				VII-F	

Ⅷ.子育て・子育て

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
292	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ	赤ちゃんの入浴、着替えなどを体験することを通して父親が子育てに参加することの大切さを理解してもらい、父親の子育て参加を図ります。 (保健予防課との共催事業「お父さんのための子育て教室」)	6回開催、合計497組参加	育児を母親だけに任せるのではなく、父親も入浴、着替えなどを体験することで子育て参加を図りました。	継続	●			●	●	●			VIII-A	VIII-B
293	男女共同参画計画の推進	人権政策室	第2次男女共同参画計画に掲げる事業の進行管理を行います。 ワーク・ライフ・バランスを推進する一環として、育児に関する制度等の情報提供を行います。	出前講座において、男性の育児参加やワーク・ライフ・バランスの大切さを啓発。また、大阪府作成の冊子「すすめよう！ワーク・ライフ・バランス」や、すてっぷ作成のリーフレット「仕事中心の生き方からワークとライフの充実で自分の望む未来へ！」を配架。	継続				●	●	●			VIII-A	
294	人権ケースワーク事業	人権政策室	地域のセーフティネットとしての身近な相談窓口体制の充実を図るため、身近な人権相談に対する適切な助言なたびに情報提供や事案に応じた適切な機関の紹介、取次ぎ、人権侵害の実態把握を行っています。	毎週 月・水・金 9時～12時、13時～17時 第2・第4 木 13時～15時 相談窓口を開設。	継続				●	●	●	●		VIII-A	
295	コラボ事業	千里地域連携センター	市民との協働や千里文化センターコラボ内の施設間の連携による事業を実施しています。	(市民との協働) ・コラボ健康講座「骨粗しょう症と骨折」の開催 参加66人 ・親子向けコンサート、様々な世代の人が意見交換を行うテーマ型カフェの実施など各種交流の場の提供 (千里保健センターとの連携) ・コラボ祭りで健康イベントの開催 (千里公民館との連携) ・講座「あなたの家族が認知症になったとき」 ・料理に関する講座、親子ふれあい広場、ランチタイムコンサートの実施	継続	●	●	●	●	●	●			VII-A	I-A VI-A VII-A VIII-C
296	ファミリー・サポート・センター事業	こども政策室	子育てをしているすべての家庭を支援するため子育ての援助が必要な人と子育ての援助ができる人とを結びつける会員制の育児支援ネットワークです。 親のリフレッシュ目的での利用などもあり、親の心の健康にも繋がっています。	・会員数 1,773人 (内訳) 依頼会員 1,348人 援助会員 335人 両方会員 90人 ・活動回数 4,097回	継続				●	●	●			VIII-A	III-C

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中	高			
297 子育て短期支援 事業	こども政策室	保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について一週間以内や日帰りで施設に受け入れます。	ショートステイ延べ 340 日(日数×児童) トワイライト延べ 5 日	保護者の疾病や仕事、冠婚葬祭、レスパイトケアとしての利用がありました。母の出産時に上のお子さんを預かったり母子家庭の母が仕事で出張時の利用等困ったときに安心して預けられる制度として役立っています。しかし、施設の定員に空きがなかったり病気の流行等により利用できない時もあることが課題です。	継続		●	●		●				VIII-A	
298 育児支援家庭訪問事業 こんにちは赤ちゃん事業	保育幼稚園室	児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭を訪問して育児に関する相談や助言等の支援を行います。 生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握に努め相談や助言等の支援を行います。	育児支援家庭訪問 43件 85回 こんにちは赤ちゃん訪問 対象家庭数 3,775件	こんにちは赤ちゃん訪問時において、子育て支援の情報提供を行い、子育て支援センター、子育てサロン等への利用につなげました。 保健センターと連携を図りながら、保護者の子育て不安の軽減に努めました。	継続	●	●			●	●	●	VIII-A		
299 保育・療育 (児童発達支援センター)	保育幼稚園室	成長発達に何らかの課題をもつこどもに、それぞれの育ちにに応じた保育・療育を行います。園庭を開放し、地域の親子と関わることで地域の子育て支援につなげています。 成長・発達に関して電話相談や外来相談を行っています。	毎月1回午前遊びの計画を立て実施。園庭開放(自由遊び)は月～金午前中に実施しています。 園庭解放…延42人 電話相談…19件 外来相談…6件	子育てやこどもの成長、発達に関する不安や悩み等の相談もあり、次の支援につなげることができました。(保健師につなげる、くれよん教室や通園の紹介など)	継続		●						VIII-A	VII-D	
300 障害者虐待防止 対策支援	いきいきセンター 障害福祉課	障害者虐待防止センターにて、養護者、福祉施設従事者、使用者による虐待に関する相談や通報の受付、啓発活動を行います。地域における関係機関等の協力を図り、障害者虐待の未然防止、早期発見、養護者支援など、迅速な対応やその後の適切な支援を行います。	通報:31件 届出:5件 相談:5件	障害者虐待防止センターの設置により、地域における関係機関等の協力体制を図り、障害者虐待の未然防止、早期発見、迅速な対応やその後の適切な支援を行うことができます。	継続		●	●	●	●	●	●	VIII-B	VII-A	
301 児童虐待相談事業	こども政策室	児童虐待の通告及び相談の受理、調査、支援を実施しています。	児童虐待相談対応件数(人)が289人となり、前年よりも増加しています。	児童虐待の早期発見・早期対応を実施することで、被虐待児童の重症化を防ぎ、虐待対応件数の増加に歯止めをかける役割を果たしました。	継続		●	●		●			VIII-B		

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中	高				
302	児童虐待防止ネットワーク事業	こども政策室	児童虐待予防・発見・早期支援のための関係機関の連携・協力体制を確立します。	代表者会議1回、実務者会議14回(運営会議を含む)、ケース会議44回実施。	被虐待児童の援助内容の進行管理の徹底など児童虐待の防止対策を講じることで、被虐待児童の重症化や対応件数の増加の抑制に効果がありました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	VIII-B	
303	公立保育所施設運営	保育幼稚園室	児童の健康増進、所内の保健環境の向上を図るよう努めています。保護者への啓発も行っています。	健康調査・健康検査など進めてきました。	滞りなく実施できました。	継続		●							VIII-B	VII-D
304	教育相談・支援事業	人権政策室 蛭池人権まちづくりセンター	青少年の教育などに関する相談を行うとともに、学校や関係機関とのネットワークづくりをすすめ、青少年や家庭を支援しています。	事業実施回数65回 参加延人数545人 育児不安を取り除くための子育て相談や家庭教育相談を実施し、保育所との連携を強化しました。	地域の関係機関と連携した相談ネットワーク化の推進に貢献できました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	VIII-C	
305	教育相談・支援事業	人権政策室 豊中人権まちづくりセンター	子ども、保護者からの子育てや教育等に関する相談事業を実施しています。また、地域の関係機関等と連絡して支援を行っています。	延べ相談件数159回	相談窓口の受付時間変更により、電話相談の件数が減少しましたが、継続の来館、訪問相談の件数は増えており、相談者の話をじっくり聴くことができました。	継続		●	●	●	●	●	●	●	VIII-C	
306	子育て心の悩み相談事業	こども政策室	子育ての悩みや不安、子どもの心身の発達に関する相談を受け、必要な場合は支援サービスにつなぐための調整を行います。	相談人数301人、延べ1,547件 年2回のグループ相談「MYぐるーぷ」では、定員を大幅に上回る希望があった。	子育ての悩みや不安、乳幼児の心身の発達についての相談を受け、保護者自身らが課題に向き合っていくように援助。相談件数は前年と横ばいだが、この相談事業から児童虐待が発覚したケースもあり、虐待予防の役割も担っています。	継続		●	●						VIII-C	
307	民間保育所運営助成	保育幼稚園室	地域の子育て支援の為に事業補助を行います。	32カ所の民間保育所で行った世代間交流や、育児講座などに必要な補助を行いました。	補助を行った民間保育所数が、昨年度29カ所から32カ所になり、地域子育て支援活動実施保育所が増加しました。	継続		●							VIII-C	
308	キッズフェスタ	保育幼稚園室	子育て支援の一環として、関係機関と連携し、子育てに係る情報を提供するとともに、親子でふれあい、遊ぶ機会を提供しています。	キッズフェスタ…延1,601人	親子が楽しく触れ合う事業として楽しみにしている人が多く、定着しての参加がありました。	継続	●	●	●	●	●	●			VIII-C	I-C II-B
309	子育て支援ネットワーク事業	豊中市 社会福祉協議会	市内の子育てサークルの情報を一元化した「子育てサークルマップ」の発行や、子育てサークル同士のミーティングの実施、校区福祉委員会による子育てサロンを開催しています。	子育てサークルマップ 6,000部発行 わいわい子育てミーティングの実施	サークルマップを見た市民から多くの問合せがあります。子育てサロンでは悩みごとの相談やママ同士のつながりや情報交換の場としても役立っています。	継続	●	●							VIII-C	

第2章 各事業の進行状況

その他

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代							主な 関連 分野	その他 関連 分野
						妊	幼	少	青	壮	中	高		
310 外国人向け市政案内・相談窓口	人権政策室	来庁する外国人へ基本的な行政情報を提供するとともに、行政サービスに関する相談(通訳)を行っている。通訳業務においては、母子手帳、予防接種手帳の交付などに付き添う場合もあります。	案内・相談 1,290 件。うち、保健(出産・予防接種等)に関するものは 62 件。	医療・保健に関する相談も含め、前年度よりも相談件数が増加しました。保健に関する情報提供ができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
311 国際化施策の推進	人権政策室	豊中市国際化施策推進基本方針に基づき、事業を展開しています。とよなか生活ガイドブック冊子(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)では、母子保健に関わる行政手続きや、外国人向け医療情報などを発信しています。	国際化施策連絡会議 3 回開催、国際化施策推進会議 3 回開催、豊中市多文化共生指針を策定、とよなか生活ガイドブック改訂(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)等。	相談窓口を中心に、来庁した外国人へとよなか生活ガイドブック冊子を配布することで、医療・保健に関する情報を発信することができました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
312 自治基本条例に基づく取組みの推進	企画調整室	市民、事業者および職員への条例の周知、条例に基づく施策等の具体化を推進します。	平成 25 年 12 月に、市内全小学校 6 年生を対象に「豊中市自治基本条例の手引き【子ども版】」を配布しました。実際に授業で活用していただくことで、将来本市のまちづくりを担う子どもたちに、自分たちのまちに関心を持ってもらうとともに、市のまちづくりを進めるための基本的な考え方やルールを学んでいただく機会になることを目的としています。	実際に授業で「豊中市自治基本条例の手引き【子ども版】」を活用した小学校は全体の半数程度であるというアンケート結果が出ており、今後、教職員を対象として、授業での活用方法など自治基本条例についての理解を深めるための研修等を実施していく必要があります。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
313 広報とよなか等の発行	広報広聴課	「広報とよなか」の発行、テレホンガイドの発行、市街地図「とよなかまっぷ」の発行、外国人向け市政情報案内チラシの作成、広報誌・テレホンガイドへの広告掲載を行います。	広報とよなかを毎月発行し、全世帯、全事業所に配布。発行数月平均 193,517 部。外国人向け市政情報チラシを毎月発行。テレホンガイドを 8 月に発行。広報誌、テレホンガイドに広告を掲載しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
314 パブリシティ(報道機関への情報提供)	広報広聴課	報道機関へ行政情報や地域情報などの提供を行います。	405 件の行政ニュースや地域情報などを提供しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
315 映像情報の提供	広報広聴課	市広報番組「かたらいプラザ」を企画・制作し、ケーブルテレビで放送します。また、同番組のウェブ配信を行います。	市広報番組(30分番組、1日3回放送。10日ごとに内容更新)で行政情報や市内イベント、地域・市民活動等を紹介しました。	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野		
						妊	幼	少	青	壮	中			高	
316	インターネットを活用した情報発信等	広報広聴課	インターネットを活用した情報発信およびメールによる市民の疑問や意見の収集を行います。また、財源確保の一環としてバナー広告の掲載を行います。	フェイスブックで市の魅力を写真と文章で紹介しました。 市ホームページの「とよなかチャンネル」でYouTubeにより103本の魅力発信動画を配信。 (ホームページ全ページアクセス数月平均635,173件、総コンテンツ数月平均10,830ページ)	市政に関する様々な情報を発信しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
317	苦情・要望・陳情への対応	広報広聴課	投書箱、電子メール、郵送、面談、電話、ファクスなどで寄せられる市政に対する意見、陳情、要望を受け付けます。	市民の声受付件数 611件 陳情要望件数 13件	寄せられた市民の声の要旨と市の回答をホームページで紹介し情報共有しました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
318	施設見学・庁舎見学	広報広聴課	豊中市伊丹市クリーンランド、原田学校給食センター他約50施設を見学対象とし、市のマイクロバスで送迎します。平日の午前か午後、希望される市の施設2、3か所の見学ができます。また、庁舎見学では市の小学校3年生を対象に、屋上からの市内眺望と議場の見学を行います。	施設見学実施回数：4回、参加人数：91人 庁舎見学実施回数：8回、参加人数：709人	継続して市民の参加を呼びかけます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
319	出前講座	広報広聴課	約130のテーマの中から希望講座を選択。市の職員が地域に出向き、担当事業や制度内容を分かりやすく説明します。	実施回数：173回、参加人数：6,664人	継続して市民の利用を呼びかけます。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
320	意見公募手続制度の推進	広報広聴課	市の基本的な制度や事項を定める計画や条例案などを定めるにあたって、事前にその案を公表して広く意見を募り、その意見を計画や条例案などに反映させていきます。	意見公募件数：16件 意見提出者数：38人 提出意見数：150件	意見公募手続制度の推進を継続して行います。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
321	市民活動情報サロン主催事業	コミュニティ政策室	市民公益活動のための情報発信及び交流の場の提供、市民公益活動の推進に関する情報の収集・提供、相談、講座の開催、啓発の実施などを行います。	市民活動情報サロン来場者数 5,179人 団体情報掲載団体数 122団体	25年度より、新たな団体に事業の企画・実施とそれに伴う施設管理を委託。来場者数は24年度の6,046人から減少したものの、団体情報掲載団体数は、24年度の112団体から増加しました。課題は、市民活動情報サロンの認知度の向上です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	

第2章 各事業の進行状況

事業名	所管部局 関連団体	事業内容	25年度実施状況・実績	評価	26年度の 方向性	対象世代						主な 関連 分野	その他 関連 分野	
						妊	幼	少	青	壮	中			高
322 協働推進の公募制度	コミュニティ政策室	市が課題を提示し、市民公益活動団体から企画提案を募る提案公募型委託制度と、市民公益活動団体から自由な企画提案を募る協働事業市民提案制度を活用し、市と市民公益活動団体の協働を推進します。	1. 提案公募型委託制度 ①募集件数 3 件 ・市民活動情報サロンの事業企画・実施および施設管理 ・豊中まつりでの「くらしかん」周知・啓発の企画・実施 ・市民活動団体の実態調査企画・実施業務 ②提案件数 5 件 ③契約件数 3 件 2. 協働事業市民提案制度 ①募集説明会参加 4 団体 ②申込 1 団体 ③成案化事業件数 1 件 事業名：まちづくりにつなぐ景観調査	提案公募型委託制度新規事業は、24年度6件から3件の減少。 協働事業市民提案制度は、24年度に引き続き1件の成案化。 課題は、協働の意義や成果についての市民・職員の理解を深めること・市民と行政で地域課題の共有を図ることで、お互いに有益な関係づくりと、協働を評価するしくみづくりが必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
323 市民公益活動推進助成金制度	コミュニティ政策室	市民公益活動事業に必要な経費の助成を希望する団体の公募を行い、公開プレゼンテーション・審査を経て交付決定します。事業実施後に報告会を行います。	1. 助成金交付団体数 6 団体 2. 助成金交付事業 ①ラ ミュズイク マルシェ 2013 内容：千里地域を音楽あふれる街となるよう音楽イベントと屋外マーケットを開催。地域活性化を図ります。 ②和と洋でつながろう♪箏とベルの体験講座&成果発表 内容：地域の世代間交流を目的とした体験講座とセタコンサートを開催。 ③キッズ☆Kocho 内容：演劇を通して小学生の自主性や表現力を養い強い心を育む場をつくる。 ④カラフルキッチン とよなかま 内容：小中学生を対象に国際的なテーマの料理教室を外国人講師を迎えて開催。文化交流の場を提供します。 ⑤「能勢街道」周辺の景観調査 内容：能勢街道周辺の歴史的建造物および景観を調査。まち案内に活用し、豊中の魅力を次世代に伝えていきます。 ⑥とよなか子育て応援マガジン「SMILE」6,7号発行事業 内容：子育て中の親による、子育て情報誌を作成。また、読者や他団体と積極的に交流を図ります。 3. 助成金交付額合計 1,113,000 円	助成金交付団体数は、24年度の9事業から6事業に減少。課題として、市民活動団体が抱える課題やニーズのいっそうの把握が必要です。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	
324 専門相談等相談業務	市民窓口センター市民相談課	市民相談を受ける中で、健康に関する不安等あれば、健康相談窓口や、その他相談窓口を案内しています。	市民相談を受ける中で、健康に関する不安等あれば、健康相談窓口や、その他相談窓口の案内を行いました。	行政内の健康相談窓口やその他相談窓口の案内を行い、健康づくりへの総合的な支援が行えました。	継続	●	●	●	●	●	●	●	その他	

平成 25 年度（2013 年度）豊中市健康づくり計画年次報告書

平成 26 年（2014 年）12 月

豊中市 健康福祉部 保健所 保健企画課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6152-7309 FAX 06-6152-7328